臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行兼編輯人　前野和吉

發行所　臺北市榮町一ノ二　臺灣日日新報社

本紙一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・三ヶ月同金四圓八拾錢・六ヶ月同[illegible]・一ヶ年同[illegible]　日本内地及支那地方[illegible]料不要

廣告料　普通欄一行十五字詰八十錢　特別欄一行同　[illegible]　記事欄割込一行同[illegible]

振替口座臺北一〇番　私書函臺北三番

電話　代表番號三八〇〇番　[illegible]

臺日庭球服裝

堂々たる十二月號

中央公論

◇軍需工業論　有澤廣巳

今や世界は擧げて恐慌裡にあつて、而かも國際間の緊張は益々切迫しつゝある今日、戰爭の中心をなす石油事業についての研究に努めること十數年、帝大の俊鋭有澤氏の堂々たる巻頭論文は啻に劃期的大事業だ、見よその透徹した理論と明確なる論旨を！

◇戯曲　母親人形　長谷川伸

（作者に第五郎が提供した題材から掴んだ珠玉の一大戯曲）

◇創作　青年　林房雄

（文壇に多大な波紋を與へた青年前後の終結篇だ！巨石の堂々たる透徹である！）

◇軍人縱橫錄　荒木貞夫

（陸相荒木氏の武人としての政治眼、國家觀、戰局に對する抱負なる時局物だ！）

◇早慶スタンド・マネヂャー

◎くそ度胸をつくれ…廣津和郎

◎無形のベンチから…里見弴

アバタもエクボのひいき酔。天下を二つに割つてのワセダ。KOだ——まづこれは最もすぐれた素人監督。いや、ひよつとすると脚本、大下も冷汗を覺えはせぬだらうか？

◇滿蒙移民問題　高岡熊雄

◇世界經濟ブロック論　石濱知行

◇財政危機を孕む明年度豫算　牧野輝智

◇政界惑星物語……御手洗辰雄

◇西園寺公の少時　小泉策太郎

◇（ドイツ通信）パーペン内閣の死の舞踏　淺野正一

◇密輸入秘話　坪田耕吉

◇世界映畫街行脚　牛山虛彥

警官問答　末弘嚴太郎

◇創作　若い息子　野上弥生子

[illegible]

隨筆　爐邊陶談　山村耕花

◇妓夫太郎仁義　子母澤寛

◇ボーナス擬談　高田保

◇新聞時評　山川均

◇新大統領ローズベルト…清澤洌

◇蔣介石と國民政府の將來…田中忠夫

◇産業統制論　鈴木茂三郎

◇續のんびりした話…内田百閒

◇梅幸夜話……尾上梅幸

◇若き日のことども　谷崎潤一郎

◇隨筆　法律と常識……牧野英一

◇廣田弘毅論……馬場恒吾

◇長期天氣豫報の新發見…山本一清

◇（猟奇實話）S・Sベルゲンランド…牧逸馬

師走懺悔

米の一升買ひは愚か、生味噌を舐めて三日凌ぐ等々、顔々たる者の胸底に木枯の逆る過去の貧乏物語、本年回顧外の腰抱だ!!

◇鏑木清方
◇山田耕筰
◇吉川英治

芥川龍之介自殺の眞相

——一つの繪——　小穴隆一

文壇の鬼才、芥川氏は如何なる理由で自殺したか？　彼の死後數星霜、其の眞相に就ては揣摩憶測、各人各說の中に彷徨してゐた。突如！　餘りにも突如として、彼の親友にして、而かも唯一の心友、小穴氏によつてその眞相は發表せられた!!　一字を削り、一句を刻む文字通り骨を扶り、肉を削る苦心を重ねた百枚の血文字！　芥川氏の懊悩の深刻と苦悩と、而して彼を繞る多くの未知の女性現はれて氏の「自殺」の眞相自ら瞭然とす！　正に必讀す可き本年掉尾の貴重な大文字だ!!

十九日發賣　定價八十錢

中央公論社

森永ミルク

御愛兒には よいミルクを お選び下さい

[illegible]

大評判

毛絲編物集

主婦之友　十二月號の讀者へ贈呈　二冊づゝ

防寒用の毛絲編物集

寒さ知らずの溫かで便利な防寒用卅二種の編方

▲和洋服向き男女兒マントの編方
▲通學用男女兒防寒帽子の編方
▲和洋服に向く防寒用下着の編方
▲女兒用の防寒ズロースの編方
▲新案の婦人用防寒襦袢の編方
▲新型の防寒用ショールの編方
▲老人の防寒用室内肩掛の編方
▲着よくて溫かい羽織下の編方
▲足袋カバーと靴下カバーの編方

▲婦人の下着の編方
▲みやこ腰巻の編方
▲婦人ズロースの編方
▲防寒用腰巻の編方
▲婦人仕事着の編方
▲ちやん〳〵この編方
▲防寒胴着の編方
▲防寒ひざ當の編方
▲防寒の帽子の編方
▲防寒コートの編方
▲防寒ケープの編方
▲防寒ショールの編方
▲防寒下着の編方

簡單に編める溫かい防寒用ケープと帽子です

大賣行！！

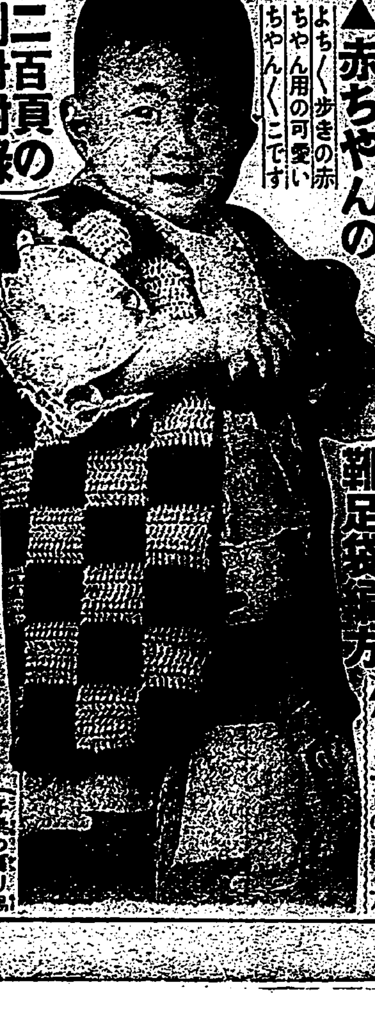
どうぞ賣り切れとならぬうちに至急におもとめ下さいませ！！

赤ちやん用の毛絲編物集

一流の先生方考案の可愛い赤坊物卅二種の編方

▲赤ちやん用の防寒着一揃の編方
▲赤ちやん用の防寒帽子の編方
▲可愛い防寒ちやん〳〵この編方
▲よち〳〵歩きの防寒着一揃の編方
▲和洋服に向くコートの編方
▲赤ちやんの防寒ケープの編方
▲溫かいおむつカバーの編方
▲赤ちやんの靴足袋の編方

▲ハーフコートの編方
▲ドレスの編方
▲赤坊用下着の編方
▲よだれ掛の編方
▲おくるみの編方
▲ブルーマの編方
▲ちやん〳〵この編方
▲帽子八種の編方
▲靴下三種の編方
▲おむつおさへの編方
▲ケープの編方



よち〳〵歩きの赤ちやん用の可愛いちやん〳〵こです

二百頁の別冊附錄

子供の病氣一切の手當法

子供の罹り易い病氣百五十種の豫防と手當法が一切發表された附錄

附錄三冊きつ五十錢（送料八錢）

東京神田駿河臺（振替東京一八〇番）

主婦之友社

東洋問題に不得手な聯盟
日本の對聯盟態度の淸算期

一

矢は既に弦をはなれた。今や日本の主張勝つか聯盟が我を押し通すかの大切な瀨戶際に立つのであつて之は獨り日本のみの、又は東洋のみの問題ではなく、廣く全世界の重大問題であり重大危機と言はねばならぬ。この時に當つて端なくも國際聯盟脫退論が我が外務省の少壯派から强調されるのは聊か意外とする所である。吾人は殊更らに强調する聯盟脫退論に對しては眉を顰めざるを得ないが、然し所謂幾ヶ國の若手外交官の主張する對聯盟の態度若くは日本の立場論については少からず共鳴の念を禁じ得ぬものがある。

二

國際聯盟脫退の件に就いては、聯盟が吾國の主張を容れず、不當なる報告の解決案に基いて、許すべからざる解決方法を吾に强要するに於て斷乎として採るべき吾國の既定の方針として決せられてゐる、しかしながら之は最後の切札であつて、充分に聯盟關係國の日支關係に關する認識を啓くべく最大の努力を先づ致すべく、敢て求めて孤立せんとするものではない。所が外務省少壯派の意見は此の脫退主張を以て手ぬるとし、却て日本の立場を有利ならしめる所以ではないといふのである。而もそれは實に左の如く確たる根據を持つといふのである。即ち名は國際聯盟であるが、實は歐洲聯盟に過ぎず、極東問題に就て發言の資格なしといふのだ。之は確かに吾胃で實際に今度の日支紛爭の解決に於て、聯盟は其の無能を暴露したのみか、却て遠交近攻を今尙國是とする支那の策謀の好餌食となり日本に對する一種の牽制機關となり、却て問題の解決を遲延せしめ、事態を惡化した觀がある。兎に角現在の歐洲諸國は東洋に對する認識に於て其無知なる派甚しきものがあり、而も認識不足の身を以て、之を解決しやうなどといふ事は元來出來ない話であり、リツトン卿一行の調査團派遣により漸く相當東洋の事情を理解し得るに至つたといふ程度に過ぎないのだ。

三

一方松岡代表は、ゼネバに於て東洋聯盟の確立の意圖を米國軍縮代表デヴィス氏に披瀝したるやで新しき話題を提供してゐるらしいが、之は東洋の事は、東洋に於ける國家が之を決すべく他の歐米諸國の容喙を許さないとするもので所謂東洋モンロー主義と稱される所であるが、それは實に必然性を持つてゐる。曾て中國の孫文は、大アジア主義を高調した、その精神は同じであつて、利害關係の最も緊密なる日本と支那とは、相提携して、國內日支親善の具現により初めて雙方の利益を全うし得べく東洋永遠の平和の爲めには此の東洋の事は東洋諸國が自ら解決するといふ筋のものでなくてはならぬ。殊に滿洲國が獨立してゐる今日、之を以て日本の侵略主義によるとなす偏見であるとする米國の主張をより多く支持して不當に滿洲國の承認を拒否せんとしてゐる、從來の聯盟の態度が今後に於ても改められざるものと假定すれば、今後に於て其不當なる壓迫を受け、國家として當然自由なるべき行動を束縛されるに至つ事は想像に難くない、松岡代表の東洋聯盟の主張は斯くの如き將來の事態を顧り、聯盟に何時迄も引きずられたり或は東洋の問題に歐米の程度を破れた容喙等を彰び得ぬものとして當然の我が根本的態度を闡明せるものであつて、この主張と外務省少壯派の歐米東洋不干涉主張とは一脈の相通ずるものあり快心に堪へない。

四

從來、日本ほど國際信賴を重んじて來た國はなかつた、或る場合に於てはソレが寧ろ愚直に過ぎる觀があつて國際會議に於て日本は屢々却て苦しき不利益を强ひられてゐる、九ヶ國條約に於ては支那の獨立國家たる事を明らかに認め、以て今の不利益な事態を招致した、幾つかの軍縮會議に於ても亦た然りであつた、惟ふに吾國は當初に於いて國際聯盟を買ひ被つた、曾て東京帝國大學に於て國際聯盟悲觀論を唱へた敎授は唯一人で攻擊論難を集中されたるエピソードがあつた位である。國際平和の維持、國際協力の促進といふ聯盟の目的に聊か眩惑された觀がなかつたか。戰爭といふ人類に於ける最も不幸なる狀態を惹起せざらんが爲めには、此の目的がそのまま實現される事は實に望ましい所であつた、然しながらそれは理想論に過ぎず、又聯盟關係國は日本程忠實ではなかつた、從つて其の組織の案外微力たると共に、國際聯盟の世界平和に對する貢獻といふものは懸け聲ばかりであつた、今度の日支事變に於て果して如何なる貢獻があつたか。多くは言はずして明らかである。固より光榮ある孤立を自ら求むるべきではなく、飽くまで國際親善、國際協調を以て進むべきではあるけれども其迄の聯盟の態度に徵するときは何時迄もお附合をしては益々日本の前途を不利ならしめるのみで東洋の平和を却つて害する惧がないでもない。今後の形勢によつては然るべき時に聯盟に對する日本國の態度を淸算する事は少壯外交官等の口を藉りる迄もなく當然考慮さるべき事柄であらうと信ずる。

聯盟事務局員の怪行爲
支那の演說草稿を保健部長が執筆
我國で注意人物としてゐた曲者
外人間にも非難の聲

【ゼネバ二十三日發電通】聯盟內部の最も信ずべき筋より確聞するに二十一日理事會に於ける亂暴な支那側の演說原稿は昨秋來上海に於て樣々な怪行爲に依り注目された聯盟事務局保健部長ポーランド人ライヒマン氏の手で造り上げ顧維鈞は顏惠慶と共に纔かに修正を加へたものだと言ふ事が判明するや、苟くも聯盟の要職にある者が自ら日本攻擊文書を造る如きは日支紛爭を日本對聯盟自身の紛爭たらしむる恐れあり、危險不謹愼至極な振舞とし日本のみならず外人筋まで難色を示す者も少くない

今週中に討議終了か
日本代表部は大警戒
次の方途を決するまでには
最少限度二回の會合が必要

【ゼネバ二十三日發聯合】日支問題討議の理事會は二十三日で第二日目の討議を終つたが、理事會が次にとるべき方途を決するまでには最少限度尙後二回の會合が是非とも必要とするものと見られてゐる、而して何れにしても理事會は是非とも今週中に討議を終了したいとの希望を有し此の方向に向つて審議が進められる模樣であり、此の點總會主義に反對してゐる日本は大警戒を要す

廿四日の拂曉まで
理事會對策を練る
日本代表が首腦部會議

【ゼネバ二十四日發電通】日本代表部は二十三日午後九時半から代表部會議を開き松岡、長岡、佐藤三代表、松平駐英大使以下各參與杉村聯盟事務次長等參集午前二時まで理事會對策を練つた、協議內容は

一、調査團の最終報告を受け我意見書まで提出させながら今日に至り報告書の變更點の有無を聽く如きは最後報告を蹂躪し、意見書を侮辱し、更に理事自身の體面を傷付くるものである、理事會がこの方針で進む時は日本は留保の趣旨に從ひ調査會は使命を終へたりとの見解で[illegible]

園公を訪問する齋藤首相

齋藤首相は明年度豫算編成の經過說明、國際聯盟に對する帝國政府の方針並に之に臨む決意を語れきし老公の諒解を求め懇談を遂げた（寫眞は東京驛を出發する齋藤首相）

問題の煩雜化は
デ議長の失敗
ド氏が議長と善後策協議

一、理事會の空氣好轉せぬ場合の對策、よし理事會が否認を强す

も小國筋で策動の滿洲國承認取消要求獨

立否認等が起らば斷乎既定方針に邁進

【ゼネバ二十三日發電通】聯盟事務局最高首腦部より確聞するに理事會第二日に至り不馴れなデヴァレラ議長は大失態で議長が打合せを無視して事態を紛糾せしめたため事務總長ドラモンド氏は大いに憤慨し散會後議長と善後策を協議したがその際左の如し

一、事務總長はサイモンイギリス代表等と協議の結果一旦問題を總會に移し、小國筋に開口の機會を與へて後十九ケ國委員會に移すか又は直接的利害關係國代表を以て小委員會を設け實質上理事會と大差なからしめて對策を講ずるを妥當とし成るべく二十三日中に理事會から總會へ問題を移さんと希望し議長にその旨打合せた

一、然るに議長は頗る下手な着廻し方でリツトン卿に發言を求めたので一層絡んだ調査團の新たな仕事を求めたこととなり、茲に於て松岡全權は時宜に適した留保をなし支那調査團の意見發表を侮に於て歡迎するも理論上委員會の意見發表の資格ありや否やを決する必要あり、且つその意見は調査團全體の意見なるを要すと確言せしめた

一、斯くて議長は先づ調査團再組織を理事會に求め調査團からリツトン報告書變更の必要の有無に就き答申を得ねばならない破目となつた

一、この結果リツトン卿等は二十三日午後九時協議を開き二十四日午前も續行のことゝなつた

斯くて二十四日の理事會は顏支那代表の演說後問題を總會に移し得ぬこととなり豫定より左の

煩瑣な

問題に數日間こだはらねばならぬこととなつた

二、右を手續問題にあらずして實質問題とする場合更にその決定が理事會の全會一致を要するや否やを先決する要あり

三、この協議で日本は理論を推し追究すべし

四、リツトン卿等の報告ある際その取扱は紛議を來さん

意見書の修正
必要はない
五委員の意見

【ゼネバ二十三日發聯合】二十三日理事會で報告書に關する既報の要求されたリツトン委員會の五委員は理事會散會後報告書に修正補足を加へる必要があるか否かにつき協議の結果委員の大部分は修正の必要なしとの意見に傾いてゐる如くであるが、更に廿四日も協議する模樣だが、調査委員會は決して內部的に一致した意見でないので二十三日の理事會でデヴァレラ氏が說明した如き意味の調査團をしての意見表示は到底出來さうにないと見られてゐる

デビイス氏
突如、松岡氏に
會見を申込む
二十四日會見に決定

【ゼネバ二十三日發電通】軍縮會議米代表としてゼネバ滯在中のノルマン・デビイス氏は廿三日突如松岡代表に會見を申込み來つた、松岡全權は之を快諾し二十四日午前十時半から會見する事となつた、松岡、デビイス兩代表の會見內容は

一、聯盟脫退の場合日本の執るべき道、即ち東洋モンロー主義に就ての松岡代表の考へ

一、不戰條約と九國條約の滿洲問題關係

一、理事會の經過に對するアメリカの判斷

等と主要部分と推測されてゐる

宣傳員に
成下つたり卿
對米放送につき
ヘラルド紙の論評

【ニューヨーク二十三日發電通】ヘラルド・トリビューン紙はリツトン卿が二十日に行つた對米放送演說を批評して左の如く述べてゐる

リツトン卿は何故か公平な調査員の立場を棄て宣傳員となり終つた、卿の對日非難一論がアメリカに向けて爲され、事に日本の反動分子を憤激せしむべく、このアメリカーに對する[illegible]れがある

即時總會を
支那は希望

【南京二十四日發電通】特派外交委員會では聯盟理事會の日支紛爭問題は即時總會へ移す方針を決定し二十三日夜ゼネバの支那代表部にその旨打電した

ヒ大統領に
ヒ氏回答

【伯林二十三日發電通】ヒトラー氏は二十三日午後六時半ヒンデンブルグ大統領に大統領提案の條件で議會の過半數の支持を得る內閣を組織する事は不可能であると回答した、然しヒトラー氏は猶獨逸國民の意思を捨てず半獨裁政府組織を許して組閣せしめられたいと提案したと傳ぜらる

永野軍縮全權
壽府著

【ゼネバ二十三日發電通】軍縮會議海軍全權永野修身中將の一行六名は二十三日午後四時ゼネバに到着した

中川總督
廿九日門司發
十二月一日歸任

在京中の中川總督は拓務省官邸同乘る二十八日午後一時退京、二十九日門司より蓬萊丸に乘船、十二月一日歸任するが臺北着時刻は午後二時五十五分の豫定である

小濱內務局長
廿六日神戶發

【東京支局特電二十四日發】小濱內務局長は二十四日正午總督官邸の自邸より歸任の途にのぼつたが、關西方面で用務を足した上二十六日神戶發の朝日丸に乘船するはづ

公債二億圓を發行
滿洲事件其他に當てるため

【東京二十四日發電通】大藏省發表、政府は滿洲事件費鐵道事業費及び朝鮮事業費にあつるため日銀引受で公債二億圓を發行することとなつたが、一般市場金利低下、公債價格の騰貴の趨勢より見てその利率は四分半とした、發行要綱左の如し

公債名稱　四分半利國庫債券（イ號）

發行額　額面二億圓

內譯

滿洲事件費分　一億五千六百八十萬五千八百圓

鐵道事業費分　三千萬圓

朝鮮事業費分　一千三百五十九萬四千二百圓

發行價格　九十六圓五十錢

償還期限　昭和十九年六月一日まで

利率　年四分五厘

利廻步合　四分九厘[illegible]利四分九厘七毛

潛水艦を驅逐する
驅潛艦二隻を建造
潛水母艦一隻と共に
海軍の明年度計畫

【東京二十四日發電通】海軍の明年度追加豫算第二次補充計畫四年總額四億六千萬圓は閣議で三年以上繼續を認めざることとなつた結果、海軍では名を捨て實を執り初年度分經費として特務艦三隻經費千五百萬圓を取り、二年度以降は改めて要求することになつた、右千五百萬圓は多年の懸案たる潛水艦其他で潛水艦を驅逐する驅潛艇（五、六百噸）なる特務艦二隻と潛水母艦一隻を建造する筈

モラ延長を
米政府は拒絕
英佛大使に回答

【ワシントン二十三日發電通】フーバー大統領とルーズベルト氏及び兩院首腦部の會談は二十三日を以て終了した、アメリカ現政府の態度は十二月十五日の戰債年賦金支拂延期を許容せぬ事に決定したが國務省は二十三日午後駐米英佛大使に對しこの旨回答を行ふと發表した

【ワシントン二十八日發聯合】對米戰債年賦金支拂延期並に戰債問題全般の再審議を要求した佛政府の通牒に對し二十三日午後スチムソン氏は駐米佛大使クローデル氏に右に關する米の回答を手交した內容は發表されぬが二十三日發表されたフーバー氏の戰債問題聲明に徵し米の態度極めて强硬でモラ延長は拒絕される事は疑ふ餘地はない

意見交換機關
必要なし
ルーズベルト氏は語る

【ニューヨーク二十三日發電通】戰債問題でフーバー大統領と會見したルーズベルト氏はワシントンよりニューヨークへの歸途左の如く語る

戰債に關し債務國との意見交換機關を設置する必要はない、寧ろ外交機關を通じてなすべきだ、貸付金は無條件に支拂はねばならぬこと、債務國とは個々に交涉することに關しフーバー大統領と完全に意見一致した

三百四十萬擔に
過剩糖激減
糖界改善の跡歷然

【大阪二十四日發本社特電】聯合協定の結果は着々安に拍車をかけられ連日新高値を顯しつつある狀態であるが、新糖に對して會社筋は大體平均分蜜の十三圓五十錢を以て理想値としてゐるやうであるが、何分原價採算不足五圓十二錢の點安であるため、無理な

高値を[illegible]ことは會社筋の立前上面白くないとして、現在十三圓臺に四月物として手當を行ふ有樣で現に帝國、鹽水、臺灣等少數ながら賣物を出してゐる有樣である、翻つて當業の需給狀態を見るに最近に發表された合計內二十七萬五千擔は、大體二月迄を限度として市場に賣が出てゐるが、在庫上期の中今月まで繰下し遞減したものも相當多いので結局十一月十六日以降來年三月末日までの分期間に於ける供給總額は二十萬四千擔と

推算され、今後の出廠豫定を十一月下半期に於て二十萬擔、十二月四十萬擔、一月三十五萬擔、二月三十萬擔と內輸に決定しても、三月末の供給量は二萬四千擔しか殘らぬ勘定となり、約三十萬擔の不足狀態となるから需給的には何等の懸念すべき餘地がない一方、本年二月までに累積せる過剩糖五百七十九萬擔は三月以降今日までに於て當局者安に聚し海外に輸出されたもの百八十萬擔の多きに達してゐるので約四百萬擔に

激減し

その後今期二番糖不足分の補充として三十萬擔が繰下しされ更に前述中次不足分推定を約三十萬擔と限定してこれを補助繰下しするとすれば殘る過剩糖は三百四十萬擔見當となり糖界改善の跡歷然たるものがある

宇垣總督
廿四日東京發
歸任の途へ

【東京二十四日發電通】宇垣朝鮮總督は一部政客の期待に反し上京後政治的行動を避けてゐたが用務を果したので二十四日午後一時東京驛發歸任の途に就いた

預金部新官
制を公布

【東京二十四日發電通】預金部新官制は二十四日の官報を以て公布、之と同時に大藏省內人事異動が發表された

川越氏が
預金部長

【東京二十四日發電通】辭令

大藏書記官（理財局決算課長）　川越丈雄

任預金部長（一等）

米穀統制の
對策を研究

【東京二十四日發電通】中央政府では[illegible]は二十五日午後一時より鐵道ホテルで協議會を開催する

鐵道運賃と
電報料値上
國府が匪賊の
討伐費として

【上海二十四日發電通】國民政府は匪賊討伐費として全國鐵道運賃と電報料に附加稅を課するに決し二十三日發令した

一、鐵道運賃一等四十錢二等三十錢三等五錢を賦課す

二、電報料は料金の二割を附加增徵す

三、期間は六ケ月とす

人事

▲加藤寄東氏（臺北州警務課長）マラリアにて臺北醫院入院中

▲小笠原總督府技師　二十四日夜行にて高雄に出發

▲服部武彥氏（中研技師）　二十五日南投及埔里方面へ

シナチク

大阪市の中川二郎、桑名凡平といふ兩名の主唱で日本美術工藝品展覽會といふのを組織し世界を股にかけ主なる國々二十三ケ國を自動車行脚しやうといふ計畫が進行してゐるさうで當島の方面へも出品勸誘をして來た、賞狩安の折柄だけに一寸面白い目論見らしい▲展覽會へ出す品は鄕土藝術品、竹や木や土細工、主として人形や玩具等の小品が適當とのこと、更に日本畫の色紙、短冊、日本映畫、日本音樂（レコード）日本柔道等の紹介をも計畫してゐるといふ▲主唱者側は、滿洲事變以來、日本に對する諸外國の感情も餘りよくないので此の期を利用して諸外國の感情融和の一助ともなり又商業貿易に日本の美術工藝の紹介に大いに此の展覽會を有效に利用したいと言つてゐる、時節柄面白い試みだ成功させたいものである。

購買公告

一、電信引込線　六、五四七九

十二月五日午前十一時競爭入札執行詳細八十一月二十五日府報參照

臺灣總督府內務局

工事入札公告

一、鳳山溪治水工事護岸工事外五項新築工事

二、舊文溪治水工事機械工場外五棟新築工事

十二月五日競爭入札執行詳細八十一月二十五日府報參照

臺灣總督府內務局

臺北十一月十日現在
臺北 北投 草山
ポケツト電話帳
臺灣日日新報社出版部
電一八六八

內務省許可『新臺灣』
眞に面目一新の本誌は
來春初頭より世に現はる
各地支局長御照會を希望
向は至急御照會を乞ふ
（電話四一六九番）
臺北市大正町　新臺灣社

スワロー印霜降毛糸
臺灣代理店　見本呈送
臺北市太平町三
日北糸店
電二五一五

カクテル餅
水月堂

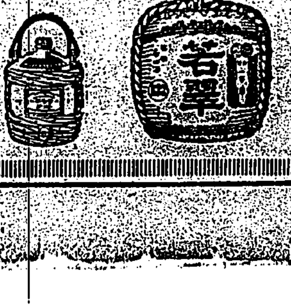
登錄商標
白鶴
極上
本店

臺北から臺東まで↓一日！
臺東線晝夜急行增發（十一月二十日より）
臺北發 午前八、四六 列車
蘇澳發 午後一二、三〇
花蓮港發 午後一〇、〇〇
花蓮港著 午後〇、一〇 自動車
臺東著 午後六、〇五 急行
名勝
海……臨海道路
山……タロコ國立公園候補地
湯……瑞穗 安通 知本

基隆
八堵
臺北
蘇澳
タロコ
花蓮港
瑞穗
安通
知本
臺東

花蓮港鐵道出張所
ジャパンツーリスト・ビューロー
花蓮港案內所
電話三五番

若翠の樽酒
生一本の芳醇
高級酒は榮養品に代り適量の晚酌は心氣を養ふ
今や酒界の寵兒 人氣集る的
臺灣專賣局指定酒



時間改正
來る十二月一日から蘇澳花蓮港間乘合自動車時刻を左の通り改正致します
下り 蘇澳發 午前九時 花蓮港著 午後二時十分
上り 花蓮港發 午前八時 蘇澳著 午後一時[illegible]
◎鐵道との連絡 ◎臨時[illegible]
昭和七年十一月二十五日
東海自動車運輸株式會社

臺灣唯一の專門店
メダル徽章カツプ
臺北市京町四丁目三番地
マスダ徽章商會臺灣支店
本社 東京九段中坂下

嘉義名產推奬
嘉義の美味
鳳梨饅頭
光
嘉義市
圓[illegible]

株式名義書換停止
自昭和七年十二月一日至定時株主總會終了日
臺灣軌道株式會社

株式名義書換停止公告
昭和七年十二月一日ヨリ第二十二回定時株主總會終了迄名義書換ヲ停止候
臺灣運輸株式會社

株式名義書換停止公告
昭和七年十二月一日ヨリ第二十一回定時株主總會終了迄名義書換ヲ停止候
臺灣運送荷役株式會社

大阪商船基隆出帆
扶桑丸 門司神戶行 十一月廿七日午後四時發
瑞穗丸 十一月廿九日午後四時發
蓬萊丸 十二月五日午後四時發

近海郵船基隆出帆
吉野丸 門司横濱行 十一月廿九日午後四時發
朝日丸 十二月二日午後四時發
大和丸 十二月七日午後四時發

大連汽船基隆出帆
大連直行
山東丸 十二月二日午後五時發
代理店 丸一組

臺南ゴルフリンク開き
―上修祓式(下)今川知事の始球式

黄牛二頭、酒二石

川中島蕃の大饗宴

先住蕃バイハラ蕃へ感謝のため

川中島社蕃は昭和五年六月霧社より移住以來既に一年有半ひたすら謹慎の意を表してきたが本年の秋收も終り生活も全く安定し永住の決心ついたとて官の厚き保護に對する謝恩を兼ね移住後なにかと懇切な援助を與へてくれた先住眉原蕃を招き二十日午後三時より宴を開いた、八角警察課長も特に參列し一場の

訓話　をなしその殊勝な心掛を賞揚するところがあつたが眉原老幼男女二二四名の來客に對し川中島蕃は黄牛二頭を屠り酒二石餘を供してもてなし夜に入るも宴尚盡さず深更まで喃々として飲み且つ踊り興ぐましき友情を示した之が嘗てはあの怪蕃の眠りを醒した殺戮の同類であつたかを疑はしむる程であつた、因みに眉原蕃でも非常に感激したものの如く近く此の厚意に酬ゆるため川中島蕃を招いて御馳走をせねばならぬと云つてゐた

時代に適應した 合理的討伐をやる

瀬野尾警視屏東で語る

【屏東電話】十四日屏東より入山關山越にて十二日目に屏東郡へ下山した瀬野尾警視は語る

臺東廳の捜査隊員が氷の張りつめた溪谷のやうな氣温と不便とを凌ひしかも地勢の惡い現場で行動してゐるのには同情した、今度の入山で犯人はタロム兄弟であるといふことは十中八、九自分がさうなのであらうと思ふまでゞある

とて深くを語らず言葉を轉じ

タロムにして如何にしても**兇行の**　情況は必罰を如實に示すためでもそれには充分な調査を必要とする、過去のやうな手取早い討伐であるとか、大掛りな手段を用ゐることは啻ばかりでなく時代に適應しない蕃人も今日では餘程進んでゐるし從つて兇行者の捜査も無理のないやう證據を集め合理的につき止める次第でもありそのため多少遲れる次第である

唯一の財源門松賣を 嘉義郷軍へ讓る

キツパリ氣前をみせた消防組

【嘉義電話】臺北市に於て門松廢止の烽火が揚げられてゐる時嘉義市に於ては門松設置を消防組の手から在郷軍人の手に移しその利益を在郷軍人會費の一部にあてやうとの計畫が進められてゐる、この計畫は先般紀元祭神社の祭典に際し在郷軍人會員が請負續きをしたが經費のない所からの勞務も出來なかつた事に同情した町委員渡邊市が消防組の

門松設置　を在郷軍人會と協同して利益を折半しやうと云ふ打合せを爲し二十二日加藤嘉十郎氏が町委員を代表して消防組長を訪ねこの由を告げ消防組では直ちに幹部會を開き二十三日加藤氏に向け

「折半等しなくても宜しい、全部さし上げませう」

とあつさり出たので町委員の方でも意外に感じ二十四日夜更に

打合會を　開く事となつた、右に對し在郷軍人分會では諾否何れとも返事を與へてゐない樣であるが在郷軍人會も會員から直ちに會費を徴收する外特別の後援者から一年五圓宛の寄附を受くる等で財源に苦しんでをり、消防組に於ては市の下請負として特に八年度及び年度の砂利採取年收約三千圓を唯一の財源とし市の補助金等も前年より

減額され　て一萬二千二百六十一圓となり、之に門松から上る收益約七百圓がその財源とされてゐたが砂利採取權は州の方針として近く市に取り上げらるゝ事となり、今又門松設置からくる收益もなくなつては消防の設備完全な活動を阻害する樣な事になりはしないかと懸念してゐる向が多い

勅語奉安庫を

金庫と間違へた男

擧動不審で檢擧さる

【嘉義電話】本年五月二十一日の夜中に嘉義郡水上公學校事務所に何者か忍び入り勅語奉安庫を金庫と間違ひ開かうとしたがあかなかつた爲め幸ひに事なきを得た事件があつた、その後犯人探査中の所二十三日夜水上派出所員が同所部落で擧動不審の老本島人男を檢擧し嘉義郡役所刑事田尻司法主任取調べの結果右は本居番同郡水上庄水上二六九番地[illegible]と云ひ前記の不敬事件犯人なる事が判り取調べある見込で取調べ中

南投婦人會員 臺中視察

【臺中電話】南投街の婦人會員五十餘名は古本同街長に伴はれ二十四日午前八時四十四分中南驛着自動車數臺に分乘して臺中神社參拜後公園、水源地、記念館、第一市場、軍隊、公會堂、刑務所、盛進商行、市役所、圖書館、驛前郵便局、臺中支局工場等視察の上午後三時二十分中南驛發歸途についた

技術員の 茶業視察

新竹州にては本年度總督府補助に依つて十八街庄に配付した茶業技術員を十二月一日から一週間の豫定を以て州下の主要茶業地を視察し左の要項に就て研究調査を爲すと

一、茶園復興方法　二、品種の更新　三、肥培管理　四、茶園の合理的管理經營方法　五、各街庄に於ける茶業獎勵方法　六、農民の茶葉改良

漢藥で墮胎

發覺して送局

【澎湖】澎湖廳湖西庄隘門五一四戸主洪拱發女洪氏月娥(二)は附近某の不義の胤を宿し遂に密會の結果去る十月八日馬公某藥種商[illegible]に來診を求め墮胎藥を貰ひ受け同九日午前四時自宅に於て墮胎したる事件を探知した所となり馬公支廳の知る所となり澎湖支廳部補の手に依つて嚴重取調べ中であつたが去日共犯者と一件書類は臺南法院に送致された

野球見物の歸途 自轉車に轢かる

西子灣トンネル内で

【高雄電話】臺南市高町一丁目蔡木青(二)は二十三日午後五時頃高雄市西子灣グラウンドで全高雄對全臺南の野球試合を見物して歸る途中西子灣トンネルの中央で後方から來た自轉車に轢き倒され、右膝關節挫傷治療七週間の重傷を負つたが加害者は何者とも判明せず被害者は渡邊醫院で治療の後臺南に歸つたが可成の重傷である

自轉車泥棒 送局さる

澎湖廳湖西庄良文港一二八番地無職許[illegible](二)同兵山四三四王[illegible](三)同洪[illegible](二)の三名は相共謀して出張先の高雄、臺南と本島地にかけて手當り次第に多數の自轉車を失敬し何食はぬ顔をして居る所を隊で受持警察官に怪しいと睨まれて出張先に於て逮捕される原事の一端が暴露して嚴重取調べに依つて驚くべき多數の自轉車窃盜事件が發見され共に去日臺南法院に送致された

深耕競技會

新竹州竹南郡にては十二月一日頃分出にて各庄の深耕競技會を開催すると

馬武督農林 水稻品評會

新竹郡馬武督農林會社にては二十五日午前十時から小作人の水稻立毛品評會褒賞授與式を擧行すべく郡から伊藤郡守、宮崎技手等臨席すると

花蓮港、臺東間の

記念道路區々に完成

全體としての連絡は未し

【花蓮港電話】花蓮港、臺東間を縱貫する御大典記念道路各區間は區々に完成を告げてゐるが溪流の關係又は工事の遲延等により完全に全線の連絡がとれぬ狀態で玉里、安通間の新路線が二十三日竣工になつたので三、四日後には自動車運行が出來ることになつた

搭載船　も出來上つて居るが溪流の如きは渡船連絡の外ないため自動車を船に積んだまま彼岸に連絡するやう納してある始末で、各區間とも橋梁に於て直接施設すべき箇所の如きは大部分竣功してゐるがこれを繋ぐ道路が遲れ勝ちの有樣である、花蓮港、鳳林間八里半に就て完成し木瓜溪、萬溪、チャカン溪は各玉石積道路として工事中であるが近日中に自動車を通ずることが出來るまでになつてゐる

水害除去の 嘆願書廳へ 廻付す

【花蓮港電話】既報新興街方面の在住者二百餘名の連署により同方面の水害除去に關する嘆願書は下地官舍外三名により街役場に提出されたが役場より廳土木係へ右嘆願書が廻付されたがこれは當然街役場に於て或る程度の成案を得た上此限方法等につき廳と指揮の上適當の措置をとるべきであるが街役場に於ては目下何等の成案を有せぬものの如く斯では來年の出水期までには萬難を排して排水路を長さ二間擴張し排水を充分ならしめ洪水を免れるやう腐心する由であると

七八回も盜まれて しらぬ呉服屋

稀代の萬引男檢擧

【臺中電話】臺中州[illegible]生れ[illegible]汪炎(二)は本年になつてから臺中市に屢々出て來り市内の呉服屋を殆んど餘す所なく荒し廻り盜品は賣拂ひ又は入質してゐた事が判明し臺中署刑事に逮捕されたが盜まれた呉服商等は七八回も彼に見舞はれてゐるのにそれにも氣付かぬと言ふ店もあり、取調べた刑事も呉服屋の呑氣さにはあきれてゐた

烏來蕃社行(一)

新店溪岸の秋色

命を保障しない臺車

大屯坊

臺北郵便局同人ども、總勢十一名、新店通ひの遊覽バスで臺北から一番近い蕃地「烏來行」を試むる議が纏まり、土曜日の午後、一行十名、新店通ひの遊覽バスを買ひ切り朗かに出發した。口に殺のかからぬ遊山だけに、ラヂオの三面記事位のすさまじさが早くも車中に展開する。

× ×

新店へ着くと吉田郡守や長田山林主事なども一行と同行するとのこと。恐縮してしまふ。三臺の臺車を連ねて秋の野を新店溪に沿うて川上へ川上へと上つてゆく。大屯坊の臺車は初めての事とて興味津々。第一氣に入つたのは新店から秋風に白くなびいてゐる蘆の穗で、ゆくりなくも[illegible]。溪岸の山村の會地で「頭の防蕃」ばかりしてゐる蕃には是非とも時々この風の保護の必要さを痛感する。

× ×

發電所の邊を過ぎると臺車は山地にかゝる。紅葉が淡い山を彩つて遠くの方で鴉が午後の陽の眠かさを誘つてゐる。間もなく新店溪に架せられた高い高い釣橋にかゝる。すてきに高い。見ると平山樹とある。此の中途に空がかゝると、臺中に浮かんだ飛行機上にある思ひで暫時分の恐しさを充分に想像させた。斷崖をはらはらさせながら臺車は滑る樣に走つて三井の臺車路と接續する區域へと移した。

× ×

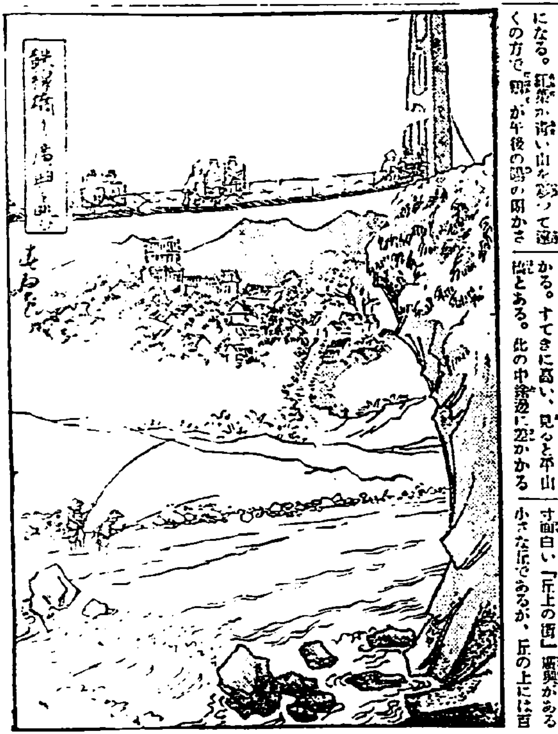
三井の出張所主任の好意で、明日歸る時は同所から船で新店まで下る約束をし三井の臺車に乘替へて一路烏來へと向ふ。この附近に一寸面白い「丘上の街」と云ふ所がある。小さな街であるが、丘の上には百七十戸からの家が街をなしてゐる。丘上凡て一家として土蕃を防いだ昔物語りなどを聯想しつゝ山へ山へと分け入る。此の邊から奧は三井の森林地帶で松や杉檜などが五六年前に見た時とはすつかり違つて鬱々と成長してゐる。久方振りに內地の山へでも入つた樣な氣がする。

× ×

夕方烏來に着く。新店から三時間餘、何しろ生命を保障しない非營業線の臺車だけに恐つとする事も少くない。臺車の梶に力をこめてしがみ付いてゐた爲めであらう皆まで痛い。此の臺車旅行で上いのは、新店溪と終始一貫して流るゝことで山と川との風景は臺北市上から遊覽し得る所にある。警察官その他に出迎へられて公共浴場に入る。烏來に始めての連中、歡聲を擧げて「ワア、佳いなア」

× ×

この行、紅葉を見、烏來の蕃社近くへ來ると桃の花を見、黄ん色な橘の實を見、櫻の花や躑躅が咲いてをり、更に公共浴場附近にはバラだ、カンナだ、菊だと殆ど四季の花を欲め得た。これも蕃界ならこそである。同人等[illegible]



不正役員送局

【馬公二十四日發電】信組不正[illegible]

タロコ觀光團 雄大を絶讚

廿三日歡迎會に臨む

【花蓮港電話】東京ジャパンツーリストビユーローのタロコ觀光團は既報の通り二十二日タロコに入峽、パタガンに一泊二十三日午後三時花蓮港驛著吉野村、豆蘭を視察したが午後六時半から昭和會館における東臺灣勝地宣傳協會の歡迎會に臨んだ、出席者は官民有志五十餘名今井宣傳協會長歡迎の辭を述べたに對し團員の謝辭あり九時散會したが一行十三名の中に四名の婦人あり、山川サク子さん(七十五歳)と云ふ

老齡の　人もあり、パタガン大斷崖も徒歩で通つた程の大元氣で一行は日本全國大概の勝地を見てゐる由であるがタロコの雄大に比すべきものはないと等しく雄大を激賞してゐたが同夜常盤館に一泊、二十四日午前八時官民多數の見送りをうけて臺北に向つた、尚花蓮港婦人會員も多數見送りした

北上艦上で

草鹿、金子兩 大佐送別宴

【馬公二十四日發電】草鹿北上艦長金子第二十五驅逐隊司令は昨正午山內、鈴木兩司令官、本間艦長三輪街長、水戸參謀長以下各部隊長片岡防備隊司令外各幹部瀧川大隊長山崎少佐以下各中隊長、近藤[illegible]病院長、白濱憲兵分隊長、加治參謀、橋、楠本、淺生各隊長其他主なる地方官民を軍艦北上に招待して送別午餐會を開いた、草鹿艦長の挨拶に對して鈴木司令官の謝辭あつて閉會後本間艦長の發聲で萬歲三唱盛況裡に一時散會した

今川知事が

市區改正工事 を視察督勵

【臺南電話】今川知事は林文書課長を隨へ二十四日午前中市區改正工事の各線現場視察をなし從事員を督勵した

利用者なき

蘇澳の天然炭酸水

郡では經營者を物色

【宜蘭電話】蘇澳庄の町はづれにある天然炭酸水は世に有名なもので總督、長官をはじめ巡視者に視察の一部とされてゐるものであるが、之を原料にサイダーを製造してゐるものは竹中氏一人で盛んに湧出する四ケ所の如きは誰も顧みるものなく今日に及んでゐる所甲木郡守は蘇澳發展の産業上より見て甚だ遺憾とし中央研究所に依頼し試驗を乞うた結果によると百分中炭酸ガス九十五を含み若し之を液體炭酸にして廣く市場に出す事になれば庄の財源をして頗る有利となれど企業家が現はれるものならば無償でこの權利を讓渡する方針であると

金同春埤圳

修祓式を擧行

【宜蘭電話】三十日午前十時より宜蘭郡[illegible]庄新城地に於て宜蘭水利組合で計畫中であつた金同春埤圳改修工事がこの程出來たので之が竣功式の一部として修祓式を行ひ更に第二次式場たる宜蘭公會堂にて工事報告組合長式辭、祝辭、祝賀等催される

屏東の競馬

三日目の人氣 愈よ白熱化

【屏東電話】屏東の秋季競馬は二十六、七兩日で終るが第一日目の[illegible]第四日目の優勝競馬に出場する者數がある。それも三日目の二十六日の結果でタイム[illegible]

臺中椪柑

販賣斡旋員 決定す

【臺中電話】臺中州聯合會の內地におけるポンカンの販賣斡旋については産地の事情に精通したものを內地に駐在せしめて、その衝に當らしめる事となり選定考慮中の所今回東京の斡旋所には彰化の山田三平氏(員林七ケ)、神戸の斡旋所には員林郡の高橋技手が夫々ゆく事となり近く夫々任地に向け出發の筈

射擊會打合せ

【臺中電話】來る二十七日三井射擊場において第十兵隊六十年記念射擊會の件につき二十五日午後一時から關係者市役所會議室に集まり打合をなす

宜蘭郡下街庄 聯合の 區委員大會

【宜蘭電話】十九日午前九時より宜蘭公會堂に於て自治行政の刷新と向上を圖る趣旨により郡下街庄聯合區委員大會を開く筈

臺中製帽界の 景氣回復す

廿五日檢査員打合會

【臺中電話】臺中州では州下の帽子檢査員七名を州に召集し二十五日帽子檢査に關し打合會を開く事となつたが、最近に至り製帽界は多少景氣を回復し來り一時杜絶えてゐたビスコース帽の販賣も相當あり又紙帽の八分物、六分物、五分物の入荷もあつたのでこの際檢査を嚴にし粗製品の根絶をはかる事となつた

屏東街の 慈善袋募集

屏東街では社會事業記念日行事として方面委員夙委員が廿日各戸に慈善袋(助成袋)を配付し二十六日までに取纏める事になつて居り內山方面委員の如き二十二日までに本町、末廣町を集めて廻つたが何れも喜んで應募し主催者に感謝して居るが別に金額を定めた譯ではないが平均三十錢乃至五十錢位

派出所落成式

【臺中電話】過般來新築工事中であつた市內[illegible]派出所は二十四日古澤市尹、松村署長其他關係者臨席し落成式を擧げた

高雄郷軍射擊會

【高雄電話】高雄在郷軍人分會主催の秋季射擊大會は二十三日午前七時から桃子園射擊場で開催したが當日の來賓は村上要塞司令二驅隊長、澤邊中佐、樋口中尉、小林市尹、安達地方課長其他で會員の參加者約四百餘名に上り正會員、來賓、婦人賞、中、女學生、青年訓練所生等の競技あり四時半盛況裡に終了した

全島國語演習會

來月三日開催 三課長も出席

【嘉義電話】第十九回全島國語演習會は來る十二月三日午前八時より嘉義小學校講堂に於て開催される事となつた、出演者九十餘名同日は總督府三原視學、高雄社會[illegible]

新竹郡保正會議

新竹郡にては十一月三十日午前九時から新竹公會堂に郡下の保正を召集し諮問事項

一、保甲規約中改正を要する點を問ふ

二、保甲制度の改善に關し其他的意見を問ふ

外協議事項希望事項を協議すると

青訓へ補助金

【花蓮港電話】花蓮港廳下青年訓練所に對し二十二日總督府より左の通り補助金の交付があつた

吉野村青年訓練所　二百八十圓

林田村青年訓練所　二百十一圓

豐田村青年訓練所　二百四十三圓

高雄州の

判任文官分 限委員任命

【高雄電話】高雄州では先に勅令をもつて公布された判任文官身分保障に關する文官普通分限委員會委員五名、豫備委員三名を決定、二十二日附左の如く發令した、二十五日午後二時から審査手續きに關する審議會を州會議室にて開催すると

交通局技師　山下　[illegible]

醫院醫長　大井　司

州事務官　小林　長彦

稅關事務官　高橋　尚秀

州事務官　佐々木金太郎

文官普通分限委員會委員を命ず

地方理事官　安藤　左京

交通局技師　木原賢次郎

糖業試驗場技師　鈴木　幸三

文官普通分限委員會豫備委員を命す

州屬　佐藤　金一

同　吉長　昭邦

文官普通分限委員會書記を命す

臺中の臺展

廿三日閉會

【臺中電話】臺中における臺展は二十三日午後閉會したが入場者四日間で五千餘人であつた

北濱下水溝 外道路工事

田村組落札

【花蓮港電話】花蓮港街新北濱の下水及び道路新設工事は第二號標より南濱へ通ずる路線新設工事は五千五百八十圓で花蓮港街田村組に落札三四月中に工事に着手來年度末終了の豫定である

阿緱神社へ

篤農家獻米

阿緱神社では二十三日新嘗祭を執行したが東港郡萬丹庄新庄子の李勞と言ふ人から新米一斗を奉獻した右に就て高橋社司は語る

近頃珍らしい事です、尤も從前でも農村本島人の奉獻には潮州郡內埔庄の鍾鉦郎と云ふ人から年々ありますがこれは督府評議會員なり庄長なりの意味で農家よりの獻米は之れが始めてでありそれだけ一般に神社崇敬の念が湧いて來たものとも言へませうと云々

新豐郡下の

水稻耕地 蓬萊種獎勵

【臺南電話】新豐郡下の水田耕地は安順庄の約一千甲が増加した爲總面積七千甲に達したが大部分が在來種田であるので向三年來蓬萊米の植付獎勵をなし本年は五百甲に達し來期は七百甲に増加するが向三年後には三千甲の蓬萊種植付けを目標として指導獎勵する方針である、在來種甲當り平均十二石蓬萊種は二十石以上の記錄あるも假りに十五石としても約十萬石の增産となる計算である

彰化の實業團

合併を計畫

彰化街實業界の團體として既に商工會の設あり最近又實業協會が出來たが目的は同一であるからして街當局は夫れを合併せしむべく協議して居る

屏藺講習修了式

新竹州竹南郡南庄にては蕃地家婦女子に對し藺製細工に關する技術を習得せしむる爲十三日から講習會を開催したが講習生十八名あり好成績を收め二十日午前九時から矢野郡守臨席の下に修了式を擧行した

金山

納稅宣傳　金山庄役場では庄組合組織した金星ハーモニカバンドでは二十一、二十二、三の三日間庄内各部落の大行進をなし、大いに納稅宣傳に努めた

乘合自動車　去る八月二十四日の大暴風雨で不通になつた中角字磺水の磺溪橋は二十二日正午に漸く工事完成したので久振りで金山、磺水間の乘合自動車の姿が見られた

百日咳 小兒鎭咳劑 チミツシン

百日咳に對する本劑の效力は、既に周知の事實である！

あの執拗頑強なる症狀を、普通の半分乃至はそれより短かき時日に經過を短縮せしめ、且つ發作症狀を可及的輕微ならしめて、肺炎、氣管支炎等恐るべき餘病の併發を防ぎ得ることは既に多數の實驗が確證するところ……

然し乍ら、最も賢明なる處置は、百日咳の前、乃ち加答兒期にこれを與へて症狀の惡化を未然に阻止する事である！

百日咳そのものに對し、最も有効に作用する本劑が、豫防的に用ひて効果を發揮すべきは多言を要しない

しかも本劑は、小兒に與へて全く無害。味は蜜の如く甘味いかなる藥嫌ひの幼小兒も、これのみは喜んで服用するを常とする。

百日咳・肺炎の流行季は來た！

輕微なる咳嗽とて小兒の場合は、これを放置することが、既に危險の第一歩である。本劑を初期に與へて、怖るべき雜症への移行から、小兒を擁護すべく、貴重である。

二〇瓦……一圓八十錢
一二五瓦……一圓
誤用小瓶もあり　到る處にあり

發賣元　株式會社 田邊元三郎商店
東京日本橋區本町

說明書の一讀は良く安眠を得せしむ

ラヂオ欄

今日の番組

－J・F・A・K－

十一月廿五日（金）

午前の部

【五・三〇】國際放送（ゼネバより中繼）「國際聯盟會議に關する特別講演」

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操今日のお天氣のお知らせ…臺北測候所發表

【八・〇〇】全國氣象通報（東京）

【九・三〇】家庭百科問答▽臺灣に白雲を撮影したいと思ふ▽臺北放送中マニラを聽くには▽總督府圖書館の讀書印について

【一〇・一〇】家庭料理獻立　皿…牛肉の時雨煮、椀…菠薐草の卵とぢ汁

【一一・〇〇】日用品小賣値段　臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表

【一一・五九】正午の時報、氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表

午後の部

【〇・一〇】放送局編輯ニュース

【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード演奏）浪花節　一、義士兩國勢揃－吉田奈良丸　二、大高源吾－東家樂燕

【五・〇〇】子供の時間（東京）お話「磁石」（コドモのテキスト十九ページ）大貫頼次郎

【五・二〇】子供の新聞（東京）村岡花子

【五・二五】英語講座（東京）初等科第二十七講－岡倉由三郎

【五・五五】カレント・トピックス（東京）ハロルド・パーマー

【六・〇〇】子供の時間（臺北）獨唱その他－國民幼稚園園兒

夜間の部

【六・三〇】博物館特別講座（臺北）「滿鮮博物館觀察談」堀川安市

【七・〇〇】少女歌劇（大阪）「未定」寶塚少女歌劇月組生徒

【七・五〇】連續浪花節（東京）第二席－早川燕平

【八・三〇】連續講談「孝子の犯罪」（第二席）邑井貞吉

【九・二〇】時報、氣象通報、臺北測候所發表、臺日ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺北のみ）公示並告知事項、明日のプログラム發表

連續講談

孝子の犯罪（第二席）

【午後八時三十分】－臺北－

怖しい恩人殺しの嫌疑！

捕へられた幸太郎は？

◇…邑井貞吉…◇

三島幸太郎が母の病苦を救ひたいと、吉岡銀行頭取の紙入をスリ取つたが、家に歸ると母が死んでゐるので、その金を使はずに自首して出でた孝心を感じて、頭取が典獄に頼んで三島を引取り手許に置いて使ふことになり、傍ら學校にも通はせる、成績もよく二十一歲で監督も出納の事も三島に委せる世間の評判もよいし、男振りもよいし弁も立つので後には代議士にでもなれる人物、吉岡頭取には一人の娘があつて名を花子と云つて十九歲、これが一人娘、末は三島を聟にと思つてゐるとこの吉岡頭取が或夜何者かの爲めに殺された大事件が起つて、その犯人として三島幸太郎が捕へられた、大恩人吉岡氏を殺して此の三島幸太郎が殺したのかどうか－！

博物館特別ニュース

【午後六時三十分】（臺北）

滿鮮博物館觀察談

臺北第二師範學校　堀川安市

今日の博物館特別講座は、先に滿洲及朝鮮等の各地の博物館を視察して來られた第二師範の堀川安市氏の講演で、同氏は臺北の博物館の顧問をしてゐられる人である

英語講座（東京）

【午後五時二十五分】

▼初等科

－第二十七講－

岡倉由三郎

少女歌劇

【午後七時より】（大阪）

▲未定

寶塚少女歌劇月組生徒

連續浪花節（東京）

【午後七時五十分】

▲第二席　早川燕平

晝間娛樂時間

【午後零時二十分】（臺北）

▼浪花節

一、義士兩國勢揃　吉田奈良丸

兩國橋のそば屋くすの屋の二階へ後から後からと集つた四十有餘人天野屋利兵衞が頼むの一字をよく守り、襷へ上げた夜討ちの道具、うねり山形だんだら筋の火事裝束黑とろめんの踏込みに白山足袋に穴草鞋、兜頭巾が鎖付、呼子の笛に至るまで揃つた討ち入の裝束揃ひの一席

二、大高源吾　東家樂燕

此處は本所松坂町吉良の屋敷の門前を、ゆきつもどりつ大高が、竹や竹やと呼び歩いて居たが、自分の姿を見て囁き合つてゐる人のあるのを知つて、道を轉じて兩國の橋の半ばに來かかれば、戻る船あり下る船、屋形屋根船チョキ傳馬、雪見の船が首尾の松、折しも降る大雪を、蛇の目の傘でよけながらすすみ來つた一人の男－－それは寶井其角だつた　例の兩國橋の上で　明日待たるるその寶船と書き殘す一節

お話『磁石』

（東京）【午後五時より】

（子供のテキスト第十九ページ）

大貫頼次郎

磁石と云ひますと、皆さんは懷中時計の鎖や水筒のふたなどにつけてあつて、方角を調べるのに使ふあの小さな磁石を思ひ出されるでせう。しかし磁石にはなほいろいろ變つたものがあります、磁鐵鑛と云つて天然の石で磁石の性質を持つたものもあります、之は昔の人が方角を知るのに使ひました、その外便利な電氣を用ゐた電磁石といふのもあります、電信電話は云ふに及ばずラヂオの擴聲器でも電車でも、エレベーターでも、其の他電氣の力を利用する所では必ず磁石のおかげを受けてゐるのであります、この磁石のお話を簡單にお話しいたします

子供の時間（臺北）

【午後六時より】

國民幼稚園園兒

▲唱歌

一、上るお日様

二、金魚

三、人形

四、おうしモー

五、ダリア（獨唱）

ダリア、ダリア、ダリア、あかいダリア大きなダリア、私の頭とくらべて見たら、わたしの頭より、大きなダリア、まつかなダリア

五、可愛い小猫

七、花よ花よ

八、シャボン玉

九、銀の星（獨唱）

父さま、おやすみ、グッド・ナイト、きらら小星の、ふるよさは、坊やのお夢もほしの夢、坊やのお夢もほしの夢

十、牧場の歌

十一、のきばの雨だれ

十二、星の光つた夜

十三、魚よ魚よ

十四、きれいな花（獨唱）

きれいな花よ、のはらの花よ、雨が降り日が照つて、そよそよと風が吹き、かうして綺麗に、咲きました、きれいな花よ、のはらの花よ

十五、雪よふれふれ

十六、子守唄

十七、お國の歌

子供の新聞（東京）

【午後五時二十分】

村岡花子

カレント・トピックス（東京）

【午後五時五十五分】

（英語のニュース）

（ハロルド・パーマー）

ゼネバからの非常時國際放送

【午前五時三十分】

▼國際聯盟會議に關する特別講演

ゼネバより中繼

家庭料理獻立

【午前十時十分】（臺北）

高良節發表

▼皿、牛肉の時雨煮

牛肉	四〇〇瓦
玉葱	大二個
桔根生薑	少量
味噌	八〇瓦
酒	少量
味の素	少量

▼椀、菠薐草の卵とぢ汁

菠薐草	二束
煮出汁	〇、九立（五合）
味の素	少量
醬油	大匙半杯
食鹽	少量

家庭百科問答

【午前九時三十分】

▼臺灣に白雲を撮影したいと思ふ

▼臺北放送中マニラを聽くには

▼總督府圖書館の讀書印について

柿の實

－良寛和尚の自然觀－

川副佳一郎

柿の實が美しくなる秋、高い梢の小枝に百舌鳥が鋭く鳴き出す聲をきくと、私は何時も靜かで水のやうな、又晴れ澄つた秋の空のやうに清い心の持主良寛和尚のことを想ひ出す

口

良寛和尚は自然が好きである。殊に實れる秋の自然が大すきであつた、緑の樹林に圍まれた國上山の五合庵から、里の方を見下すと村の木立も黃葉の眺めも美しい、朝霧に包まれて、豌豆稻を見るやうに輝いて居る、田には勇ましい百姓達の收穫に忙しい姿が手にとるやうに望まれ、村里からは歡聲が陽氣に聞えてくる、かうした時には、良寛の心は生々した力と喜びに滿ち溢るる此の秋の村里の光景に引きつけられ立つて居た足元は何時のまにかぐらぐらと動き出すのが常であつた、けれども、彼は刈り入れ時の百姓達の忙しさを十二分に知り盡して居た、里に行つたら色々な話の爲に忙しい百姓達を困らせ、迷惑させるに定まつて居る。かうした時に、良寛は我と我が心を抑へつつ、じつと動きたがる足を靜かに庵の中に留すのであつた

口

或る日のこと、美しい秋の日も西に傾いて暗い田の面には、早くも夕霧の色が濃く漂つて居た、村里なつかしく、里人戀しさの心に耐へかねた良寛はふと身支度をして山を下りて行つた、八兵衞や七藏の家には、今しも釣瓶落しに沈み行く夕陽を浴びて大きな柿の實が鈴なりになつて居た、高い枝には百舌鳥が鋭い聲で切りと鳴いて居る

「何といふ柿の熟し方だ」わしはあの柿の實の赤く熟した色や姿を見るとたまらなくなる」心の躍るのを覺える

獨語しながら村の小路を步いて居ると向ふの方から粗末な衣物をきた百姓の女の子が泣きながら走つてきた「好きなものは、一に子供、二に鞠つき」といふほどの子供ずきな和尚、何で默つて見て居られやう、早速女の子の傍に駈け寄つて慰めながら、そつと泣くわけを尋ねてみた、すると子供は、涙でよごした顏を良寛に向けながら、やがて片手で高く空を指した柿の實が欲しいのである

『お柿が欲しいのか、よしよしわしが此徒とつてやる、泣くぢやない、泣くぢやない』

女の子をなだめながら、良寛は矢庭に笠や杖を投げ捨て、猿猴のやうにすんすんと傍らの高い木に上つて行つた

口

上るにつれて、良寛の眼にはあたりの自然が次第に美しく映つてくる、國上、彌彥の山嶽は、繪のやうに夕映雲に色どられて居る、百姓家から煙勢よく煙が立ち上る、良寛の胸は此の美しい、生きた秋の自然に吸ひ付けられて、木の股に腰を下したまま恍惚として暫し此の美しい自然の姿を見入るのであつた、良寛はふと美しい大きな柿の實が眼先にぶらさがつて居るのに氣がついた、そして思はず片手を伸ばして其の大きな柿の實を口にした、沁み入るやうな甘さと溶けるやうな其の風味、良寛は思はず二つ又三つと續けざまに賞味した、そして地に落ちるものは、小さな柿の皮とへたばかりであつた、待ちあぐんだ女の子は到頭へかねて又も大聲をあげて泣き出した

口

子供の泣き聲に我に返つた良寛和尚、一體自分は何の爲に此の柿の木に上つてきたかを考へ始めたそして女の子が木の下で柿の實ほしさに首を長くして待ち焦れて居る姿を想ひ出した、かう分つてくると良寛はもう暫らくもじつとしては居られなくなつた、やがて渾身の力を揮つて柿の枝を強くゆすぶつた、柿の實は幾つとなく地に落ちて大きな音を立てた、子供に對する使命を果した良寛は、急いで木を下り、夢中になつて柿の實を拾ひ集むる女の子を滿足げに微笑み眺めつつ笠と杖とをもつていつの間にか村里の夕の靄にかくれてしまつた

口

かうして良寛は何時も子供の良い友であり又百姓達に親しい惠み手であると共によく自然を理解し自然の中に終始一つとなつて生活した人であつた（をはり）

新刊紹介

▲受驗英學生（創刊號）文句なしに受驗生に本誌をすすめる、筆者は何れも大學、專門學校の權威者で解說の親切、譯文の洗練された點のみでも他の雜誌とするに足るものがある、實益部の外國雜誌の英文物は勉強に疲れのした頭を慰めるに效果があらう、紙質の優秀と印刷の美麗が特に目立つ（金三十錢）（東京市神田區駿河臺袋町一六四　研究社發行　六十二頁）

▲案內なかだち▲

求職　一件一回　[illegible]
其他　一行一回　[illegible]

募集　五名　男卅五歲より十六歲迄市內在住の方に限る　委細面談　西門町　丸新

看板に經驗ある者二名入用　本町二ノ二六（中央市場前）商業美術社

貸家　宮前町　派出所右側　[illegible]　同所　四疊半　木下

貸家　佐久間町二ノ四　同三ノ二　[illegible]

藥店　有名藥局　[illegible]　天地　電三六二六

賣地　[illegible]　西門町　電三二〇七

金融　小口　[illegible]

青年の運命を破滅する

手○の害

包莖、發育不全、弱小

肉體－血色衰へて痩せ

頭腦－ボンヤリ馬鹿になる

小學校に通ふ頃は、怜悧な子だと人に賞められ兩親は一人前の男子になるのを樂しみに育つたが、十四五の時から、惡友のため不自然行爲の惡癖に陥り、中學時代には明らかな元氣は何處へやら、何となく陰鬱になり、顏色も蒼白く視力弱く肉體は發育不良の如く衰弱し、記憶力減退となり、苦しんで勉強する甲斐もなく成績が惡く、漸く卒業して後、上級學校の入學試驗に落第しブラブラするうち花柳界に足を入れる樣になつた頃は、彼の生殖器は發育不全、機能障害で男性一人前の資格を缺いで居たが、それでも人におだてられて無益な金を使ふので、兩親も深き心配の中にアノ世の人となり、其後財產がますます腑抜けになつた彼は、人にだまされて種々辛苦の親の遺產を蕩盡し一度逆落つた運命にも逃げられ、遂に寄るべなき零落の身となり前途を果くところさへなくなつたが、誰も是れは人事でないウカウカして今日他人の身の上が、明日吾身の上とならぬ樣に人に云はれなくとも早く自覺して、斷然從前の不自然行爲を悔み、男子の元氣、弱力、精力の根であるところの生殖器の弱小を發達發育せしめ、前途幸福成功の基を造ることが急務であるが、それには專賣特許ホリック眞空水治器を、自分で祕密に直接局部へ使用して物理療法を行ふと、本器の優秀すべき眞空吸引力により發育的に發育し同時に神經を極度に強めてなるエンツンデェング作用により、作用を恢復し、手淫、遺尿の害、過精、夢精、早漏、陰萎、勃起力減退、局部彎曲を回復し、ますます機能を健全にし五圓內の器具で短日內に弱小を發達發育せしめ、精力氣力をも增進し日常の氣分まで朗らかになつて、誰云ふとなく惡癖的好評を得るが如し早速進んで御實驗あれ。

醫學博士　六十餘名　實驗推奨

專賣特許　ホリック眞空水治器　金四圓五十錢（送料臺灣內地共五十錢代金引換十五錢增）です。又

◇包莖が切らずに立派に治る

專賣特許　ホリック包莖矯正器　金三圓八十錢（送料內地十五錢）

東京　新療法研究所　大阪

非賣品

無代圖入說明書

性的新知識、多數醫者の赤裸々なる實驗的告白文付

◎ハガキで御申込あれ無料郵送

東京市芝區神谷町仙石山　電話芝三三　振替東京七三一九

大阪市北區ビル三階　電話北八三六　振替大阪五七六八九

學生募集

東京女子齒科醫學專門學校

●文部大臣指定　●卒業後無試驗開業

●無試驗入學許可

●東京市品川區大井水神町

中學

何かの會員で立派に中學卒業！今すぐハガキで申込めば「中學講義」立身法つき見本」を無代呈進

東京市神田區一ツ橋二ノ六

帝國教育會出版部

感冒にトランシン

頭痛にトランシン

齒痛にトランシン

公認　東京寫眞學校

規則送呈　東京品川驛前

ラヂオの御仕入は是非！

東京で一番安く賣る弊店を御利用下さい

同業者に限り卸商報進呈

聯合電機商會

もう直ぐ暮は目前

御贈答に

化粧函入　味の素

函代無料

小瓶二個入・三個入

特小罐二個入・三個入

小罐二個入・三個入

中罐二個入

澤山出荷して御註文をお待ち申して居ます

宮內省御用達　味の素本舗　鈴木商店

月刊雜誌「味」

味に關する、面白いトピック・ニュース、研究資料を滿載。本號に懸賞募集があります。

發行所「味」編輯所

東京市京橋區寶町一丁目七番地　味の素ビルディング內

振替口座東京七七〇番

定價一部五錢、年五十錢、郵稅當方負擔

Ajinomoto
ESSENCE OF TASTE
味の素
AJI-NO-MOTO
味の素

11—1

第一回米穀統制調査會總會開く
―諮問案提出さる―

【東京二十四日發電通】第一回米穀統制調査會總會は二十四日午前十時より首相官邸に開會齋藤會長後藤副會長以下六十三委員出席議事細則を決したる後諮問案を提出荷見米穀部長から米穀顧問會の經過を說明し正午休憩午後一時再開審議を續行した

諮問案　米穀統制に關する方策如何

（說明）　米穀需給の調節は從來米穀法に依り之を行ひ既に三回同法の改正を見たるも內地朝鮮及び臺灣に於ける米穀需給情況の變化等各般の事情は尙米穀法統制の方策に就き深く攻究を必要とする情勢にあり依つて玆に本諮問を提出し之に對する意見を求むる次第なり

日支關稅協定は來年五月で滿期
先方では既に引上畫策中
我綿絲布には大打擊

【大阪二十四日發本社特電】日支關稅協定は明年五月六日を以て滿期となるので該協定の更新については兩國間に何等特別の諒解があるわけでないから、期限到來と共に支那側は完全に關稅自主權を回復し、最後に殘された日本より輸入される綿絲布、小麥粉、織物類等の協定稅率の適用を受けねばならない、上海總領事館關係者は市商業會議所を通じて目下政府に對し關稅自主權の回復を機に自國產業保護獎勵のために綿絲布協定稅率の引上げ方を陳情中である、財政部においても尨大な赤字財政を補塡すべく既に砂糖人絹、酒類等の輸入稅の引上げを應急的に實行して引續き關稅稅率の一般的改訂引上げを計畫中で特に綿絲布の如きは華商紡績業者の猛運動もあることなれば日支關稅協定の滿期と共に現行綿絲布協定稅率の引上げをなすであらうと觀ぜられてゐる

鹽糖の今期產糖
百三十九萬五千擔見込
甘蔗の濃度は昨年より高い

鹽水港製糖の今期臺糖第二回調査の結果は作付面積九千七百四十二甲、收穫見込十億三千六百二十四萬二千三百三十斤、甲當收量十萬六千三百六十斤、步留一割三分六毛として產糖百三十九萬五千擔を見込まれてゐる第一回調査に比し

作付面積 で三甲減、收穫高で六百八十三萬三千餘斤を減じ甲當收量で六百七十斤の減を示してゐるが步留を一釐二毛方多く見積られてゐるので結局產糖高では第一回豫想より四千擔の增加となつてゐる、今期の甘蔗は一般に莖長短かく莖周も稍ら細いが乾燥狀態極めて少く枯病莖の如きは前期の三分の一に過ぎないので甘蔗そのものの質は前期に優り成熟濃度、幾分高目となつてゐる、即ち十一月初旬調査の

成熟濃度 は次の如くである

工場名	本年期	前年期
新營	一八、二〇%	一七、八〇%
岸內	一七、五〇	一七、五〇
溪州	一六、四〇	一四、八〇
旗尾	一三、五〇	一三、五〇
大和	一四、一〇	一三、五〇

次に各工場別作付面積、收穫見込高を示せば

	作付面積	收穫見込
	甲	千斤
△新營製糖所		
一般	一、三五九	一六六、二五一
自作	五〇四	五五、四六六
計	一、八六九	二二一、七九九
△岸內製糖所		
一般	一、八〇三	一九九、一九九
自作	四〇四	四五、六〇四
計	二、二三三	二四五、一五四
△溪州製糖所		
一般	一、八〇四	一九一、一八六
自作	五六五	四〇、〇八一
計	[illegible]	[illegible]
△旗尾工場		
一般	九〇五	八〇、四四一
自作	四四五	四九、一四三
計	一、三五〇	一二九、五八四
△大和工場		
一般	九〇四	八七、九五〇
自作	[illegible]	八二、二五三
計	[illegible]	[illegible]
合計		
一般	六、六五八	六四一、三三九
自作	三、〇八四	二九四、九六三
計	九、七四二	一、〇三六、二四二

次に步留と產糖見込を工場別に示せば

	步留見込	產糖見込
新營	一三、一〇	二五三、〇〇〇
岸內	一三、〇〇	二四一、〇〇〇
溪州	一三、一〇	三五九、〇〇〇
旗尾	一三、八〇	一八一、〇〇〇
大和	一三、七〇	二三九、〇〇〇
計	一三、六〇	一、三九五、〇〇〇

原料收穫高前期に比し著減したので今期は特に製糖開始を遅らし新營、岸內、旗尾、大和の各工場は何れも一月十日より、溪州は一月十五日より開始し新營の四月三日終了を第一著として他は四月下旬に終了することになつてゐる

管理ではないが統制への第一步
大藏當局の談

【東京二十四日發電通】大藏當局談　今回の命令は爲替管理の第一步と言ふのではなく最近爲替銀行筋に於て思惑をやつて困るやうな節あるやうに思はれたので報告を取つて見るだけである爲替統制とはならうが管理の一步とは思はぬ

黃金の漫談
―中研―　硅溪子

人間との關係に於て黃金程古い歷史のある金屬は外にない。西曆紀元前二千五百年の大昔の埃及古墳の中に石英をくだき黃金を探つてゐる所を圖材にした壁畫が見出されたことや又他の埃及古墳から發掘された遺品の中には西曆紀元前千三百五十年頃の同地方の產金區域を示した地圖があつたことなどから考へると歷史以前に既に盛んに黃金が貴び用ゐられてゐた事がわかる

▽―△

之は一つは黃金か夫自身燦爛たる美しさで自然に出て來ること殊に文化發達と關係深き河川の砂の中から容易に得られる關係が其原因をなしたには違ひない昔の記錄に見るとヌビア、印度、小亞細亞、東アフリカのオフィール等が產金地であつたらしく中古に及んでスペイン、ポルトガル、ボヘミア等其後ペリユー、カリフオルニア、オーストラリヤ、トランスヴァール、クローンダイク等が黃金の產地として名をなした

▽―△

世界の黃金の年產額は年代によつて違ふが大體次の樣なものだ

一五〇〇年頃	一六〇〇貫
一七〇〇	三〇〇〇
一八三〇	七〇〇〇
一八五〇	三五〇〇〇
一九〇〇	一〇四〇〇〇
一九一三	一八〇四〇〇
一九一九	一四七〇〇〇
一九二五	一五八一〇〇

此黃金は殆ど石英脈の中にポツポツ存在したものを何等かの方法によつて寄せ集め製錬したものので時には大きな塊で出て來る場合もないではない。曾てカリフオルニアで見出された金塊の中には一個で二十三貫目も目方のあるものがあつたと云ふ。自然金は多くは銀、銅等を含んでゐるのが常であるが之も時には非常に純粹な形で出て來ることもある。曾てコロラドのクリツプルロツクで出た金塊の如きは其純度九九・九％であつたとか云ふ。近頃タフキリ附近に出る金塊は大體八〇乃至八八％位の純度らしい

▽―△

黃金は一般殆どあらゆる所にあるもので花崗岩中には平均一噸分の三十七砂岩中には一噸分の三石灰岩の如きも約一噸分の一はある。殊に海水中に金の存在することは數十年前から注意を惹いた事實で先年獨逸の化學者ハーバーが日本へ來た其往復に方々の海水に就て試驗をやつたが其結果海水中の金の含量は不定で時により一トンの水中に四〇ミリグラムもあることもあるが如何なる所で如何なる深さからとるのが良いかが分らないと云ふ結論に達した

▽―△

現代の技術程度に於ては黃金を採る鑛石含金率の限度に砂金ならば約五百萬分の一塊金ならば先づ百萬分の二以上を要りとすると云ふ

爲替思惑の取締
政府愈々乘出す

【東京二十四日發電通】大藏省より發表された爲替銀行の届出命令全文左の如し

本月二十四日以後國內各店に於て他の銀行を相手として外國爲替の賣買を爲したる時及び在外支店に於て銀行を相手として國爲替を賣買したる時は左記事項を報告すべし

（甲）國內各店の分
一、取引の年月日
二、相手方銀行名
三、通貨別賣又は買
四、受渡期
五、爲替相場
六、取引を必要としたる理由

（乙）在外支店の分
一、取引の年月日
二、金額

報告書は國內に於ては本支店分を本店に於て取纏め翌日中に日銀に提出すべし在外支店分は電報にて報告を爲し本店より遲滯なく日銀に提出すべし

右は昭和七年大藏省令第十二號資本逃避防止法に基く命令の第十三條に依り命令す

爲替賣買に資本逃避防止法適用
大藏省より命令

【東京廿四日發電通至急報】大藏省發表、政府は最近の爲替情勢に鑑み本月二十二日本邦に於ける內外主要爲替銀行に對し二十四日以後に於ける每日の爲替賣買、海外支店に於ける銀行を相手としての國爲替を賣買したる時はその內容は翌日中に日銀經由政府に報告すべき旨命令を發した右命令は昭和七年大藏省令第十二號資本逃避防止法に基く命令の件第十三條の適用に依り行はれたるものなり

鳳梨共販
專務の後任

【臺北電話】臺灣鳳梨販賣會社では星野專務辭任に伴ふ後任銓衡に關して十三日午前十時半から同社樓上で重役會を開催し種々協議の結果星野氏の辭意は最早動かし難きこと明瞭であるのでこれを承認する事に決し而して後任者の

選任 は內部的にも對外的にもよ頗るデリケートな關係があるのでその銓衡は可成愼重視されてゐる關係から[illegible]社長鳳梨同業組合長たる野口高雄州知事の兩者に一任しその間暫定的に社長の

輔佐 役二名を置いて社務を熟案せしむる事となり輔佐役は取締役中より社長自ら選定する事となつて午後三時頃散會した

阪神米報

丸糯戰展望
割安が漸く訂正された
神戸折田合資　折田正雄氏談

今年の丸糯に對しては最初から樂觀して居た一人であるが產地からは徹頭徹尾弱いことを言つてくるので實は躊躇してゐた所である、所で十六日には遂に八圓の

關門 を突破した許りでなく四十錢ヶ際さへも聞くに至つた此の堅調を續けるとは思はれないが明に弱氣筋の見る所が訂正されねばならなくなつたことだけは他說でないかと思ふ、一體丸糯の値段が今迄は安かつた、之は現在に比較して米自體に就ても言へることであるがその安い米に比して丸糯は割安かつた、從來丸糯は朝鮮白米とそこそこのものであつたのが最近は大分鞘がついてゐた、それに內地糯は割高だつたし關東地方は不作だと云ふのでどうしても丸糯は吊上しなければならない

實情 に置かれてゐた、東京筋、名古屋方面が一際買うてゐるのは多少思惑もあつたらうが一部は近畿の消息に通じてゐた爲であらう、五十萬袋と言ふ大增收も消化の懸念はない現狀にある上に殘存在米商は丸糯には好條件だと言つてよからう、今年のやうに品のよい丸糯なら內地糯そつちのけで消費者の歡迎する點は間違ひないし商人にしても內地糯は却々纒まつて商賣が出來ないが丸糯なら幾らでも出來るので需要の節約が出來年々取扱ひを增してゐる、

期米 にしても從來の安値を要するに丸糯にしても揃えて買つて出れば此の塲まだ高値を追ふことになりはしないかと考へられる

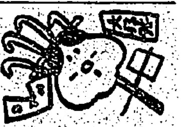
來期溶糖數量

【大阪二十四日發本社特電】砂糖供給組合では來期溶糖數量に關し協議の結果左の如く決定した

一、來年一月十五日までの溶糖數量五十五萬擔但し內四十五萬擔を本年內に十萬擔を來年一月四日頃より出荷すること
一、溶糖開始期十一月一日
一、賣出標準價格製糖一擔につき二十三圓

爪哇糖新販賣機關設置會議

【バタヴィア二十四日發本社特電】ジャワ糖新販賣機關設立に關する會議は二十五日より蘭領東印度總督官邸に於て開會され現在のジャワトラストに代るべき新トラストの組織につき決定する事となつた尙先般小糖業者會議に於て大會社・銀行筋と正面衝突をした小製糖業者は政府に對してその新しい販賣組織案を提出した



東西南北

某誌の文壇前君が大阪神戸在の元文士谷崎潤一郎氏の所有してゐた家屋土地を買收住宅を增築中であることは曾て南北子が綴へたことがあると思つてゐるが實際谷崎氏の家と云ふのは流石に文士ならではと思はれる設計であれならば當時十萬圓かかつたなんて云つたが本當だらうと思はれる家である▲文前氏も谷崎氏の志をついで出來るだけ設備をその儘とするつもりらしいが何しろ谷崎氏が設計した一室だけは……とあつて之を取壞ひ增築中で既に八部通り出來年內には出來上る見込らしい▲谷崎氏の家の方は鬱蒼たる樹木の影にあり沈思默考に適するかと思へば目下增築中の方は二階造りで天氣の日には淡路から紀州迄も見えやうと云ふ地の利を得てゐる上にとても朗かな設計▲所でその設計者は名は忘れたが日本でも有數な設計家だそうで谷崎氏の家との均衡或はそこに用ゐてある木材等を考慮しそれに最も近代味を加へた、迚も素晴らしいもの▲一例を云へば電氣設備と水道裝置に各三千圓宛もかけた、總費はもつと餘程掛つてゐるんださうで電燈の如きは各所押入れにもあると云ふのだから贅澤さも想像もつかうと云ふものだ▲それに材木は凡て臺灣檜で中には七間半ぶつ通しの廊下を間でつがずに一本の檜でやると云ふこり方▲此の七間半の檜は四十年前臺灣から來た檜で名古屋の材木屋にあつたのださうであるが一時は臺灣にこんな大木があるかと疑問▲それが文前氏自らの抱く疑問とて臺灣に關係を深くする趣味から一室を臺灣風にしたいとあつて近く之が吟味に旅立つするとのこと▲斯くして衣食住共に臺灣ぐるみとしやうと云ふのだから臺灣とはどうしても切れない緣だ……との話

丸糯賣約七十五萬
年內物の早積傾向

二期丸糯の移出は去二十一日迄に十四萬四千百餘袋に達し尙二十三日の大利丸、廿五日の扶桑丸と辰馬汽船二、三艘にて大移出が行はるる筈で十一月中の移出は二十五萬袋以上に上る形勢である、二十三、四兩日は基隆到著米は四百八十七車の多きに上りその三分の二が丸糯で二十四日の丸糯在庫は六萬五千六百十六袋と休日前より二萬三千餘袋を增加したが天氣續きの爲め出廻り增加を豫想すべく移出商としては現物の入荷一巡後のことゝて十二月十日積年內積の契約品に充當し早渡しを行ふ方針らしく今月末以後之等早積品が內地に發出された後內地の市況に如何なる影響を與へるかは注目されてゐる、內地移出契約高は約七十五萬袋に達し內東京向け六十五萬袋、名古屋、阪神各五萬袋づつの割であるが東京に於ける買手筋に聊か買過ぎの嫌もあるので其の一部は當然他市場に轉賣せらるるものとみられ、又年內百萬袋の移出を要するに對し內地として受取り得る程度は先づ七十萬袋位に止まるから差引三十萬袋は內地の買思惑者が貪入れするか內地移出港にストックするより外なく從つて十二月の需要期に案外荷捌れ賣崩れの惡目を出すのでないかともみられてゐる、因に最近東京深川の某筋から臺北某移出商へ次のやうな入電があった

並一般商況何品も稍買崩れ氣味にて一時より總て熱度が冷めた、一般に材料待の形である、丸糯は相變らず但關係家買惜みにて氣移りし易く買氣一時に集中したが昨今では大分貪着氣味の所へ年內先物契約へ弗々早渡しされつつある故現品到著と共に一段の押目現れざるべく最早沖値八圓五十錢以上絕對買りかと思ふ

大阪丸糯市況―
安値より一圓だけ
底値訂正と見らる

【大阪二十四日發本社支局特電】休日に押目を見せた丸糯も相變らず東京筋の堅行詰めに株式初め環境冴えざる期米にも不拘一押の買ありて買氣は何れも見送り氣味で商狀甚り丸糯沖の八圓二十五錢見當への較りに稍持ち直しの氣がある地出廻り急增を入れて一般に見る程でもあるから八圓そこそこは買と見てゐるが至東京筋の買氣を刺戟しる向多く安値よりは一圓だけ底値訂正と見られてゐる

商況（廿四日）

米況

臺中米價（廿四日）

蓬萊米一期六、九五錢、二期七、四〇錢、丸糯一期八、一五錢、在來米（兩袋）九、一〇錢、出來高蓬萊米二二、九〇四袋、丸糯一六、六七〇袋（臺中電話）

臺米現物相場

（基隆穀物商組合調べ）　前日對比

一期在來米	六、〇〇	一〇高
二期在來米	六、二三	二〇高
北部一期蓬萊米	六、八〇	[illegible]
北部二期蓬萊米	七、二五	[illegible]
中部一期蓬萊米	七、〇〇	[illegible]
中部二期蓬萊米	七、三六	[illegible]
南部一期蓬萊米	七、一〇	[illegible]
北部二期丸糯米	八、〇六	[illegible]
中部二期丸糯米	八、二三	[illegible]
南部長粒米	六、八〇	不申

基隆在庫米（前日現在）

（正米市場調査）
一期蓬萊米　一四、[illegible]

高雄在庫米（二十四日現在）

（正米市場調査）

一期蓬萊米	一、七六四袋
二期蓬萊米	六〇、六一六
一期丸糯米	一、四〇二
二期丸糯米	一、五六一
二期長糯米	四三九
一期在來米	二、七五二
二期在來米	三、一二七

合計　蓬萊米（二月分）四八十車、五、九[illegible]

正米市況（後場）

續いて小綺り

▲二期蓬萊米　前袋　中袋　先袋
不申　七、三六　不申
三八　三六　三五　三六

▲二期丸糯米　二十五日限　三十日限　五日限
不申　不申　八、一五
二十日限　八、一五　十五日限　八、一二　一四　一五
十四日限　八、一二　一三
一月五日限　[illegible]

臺灣正米取引に引続り蓬萊中限二十五日限、二月六日限七丁高、十五日限三丁高、出來高蓬萊七車、丸糯五日限十六車、十日限三十六車、十五日限二十車、二十日限一車

大阪期米

▲後場

節	當	中	先
一	二二、七四	二三、二四	二三、七九
二	二二、七九	二三、二五	二三、七九
三	二二、七七	二三、二〇	二三、七四
四	二二、七七	二三、一七	二三、七六
五	二二、七七	二三、一三	二三、八〇
六	二二、八〇	二三、二〇	二三、七九

東京期米

▲後場

	當	中	先
始	二二、八二	二三、一七	二三、八〇
止	二二、八一	二三、一五	二三、八三
高	二二、九一	二三、一八	二三、八六
安	二二、八一	二三、一一	二三、七九

神戸期米

▲後場

	當	中	先
始	二二、八九	二三、一九	二三、七七
止	二二、九九	二三、二〇	二三、七七
高	二二、九九	二三、二〇	二三、七三
安	二二、八六	二三、一九	二三、七二

各地正米

大阪（中の島保合、道修町十錢安）
東京（神田川一、二十錢安、深川十錢安）
神戸　保合

大阪中の島正米

市場標準相場

蓬萊二期丸糯八、五五

堂島前場先限主なる手筋

賣方　東京筋（工藤、田中實、中東筋栗林、新規賣（北川）正米筋系（田中五、岡光、米客筋小畠、香川等）
買方　東京筋（岡派、岡米、賀谷（小河）地場乘替（上田）地場手筋（芳賀、福山）

堂島米況前場

【大阪二十四日發電通】環境不勢に人氣引立たず正米筋、東京筋賣り朝鮮筋、地場マバラ買ひ二十三圓七十錢と寄り中東筋賣に六十二錢と崩落したが東京筋派の買進みに六十九錢と見せ再び內に行悩へ留、中不勢ながら先にマバラよく買ひ七十二錢と氣強く大引

株式

東京短期

▲後場　寄　引
[illegible]

東京長期

▲後場
[illegible]

大阪短期

▲後場　寄　引
[illegible]

大阪長期

▲後場
[illegible]

東京株況前場

【大阪十四日發電通】休日明の市場は內外の弱材料多く商情不良化し何れも下押し外貨安に連れ商品界は一齊崩落を演じ聯盟祭じもあつて買人氣加はり賣方の手仕舞から諸株一齊軟化した即ち紡績株は綿絲大暴落に依るその割に下げず鐘紡一圓七十錢安、新鐘一圓安、その他小安く砂糖株は原料割高に神經質で新一圓十錢安、新一圓安、新一圓安、帝糖一圓九十錢安、新一圓安その他一般に安く雜株では東電新一圓十錢安その他不味東株は一圓十錢安新東一圓七十錢安と崩落した、短期は買人氣強く百七十五圓四十錢と寄り後期下値りに踏落付き賣方の手仕舞相當崩んだが押目買に六圓七十錢と戻した、鐘紡は綿絲八、九圓方の崩落に二百二十四圓まで割り雜株は氣配小緊の裡に頑強かつた

東京銀行實株

日銀	五一五、〇	同新 三四八、〇
正金	一七四、〇	同新 五六、五
臺銀	七七、五	同新 二〇、一
勸銀	七六、二	同新 一四、八
鮮銀	六一、八	

ニューヨーク株式

スチール株　三三弗二分一
アナコンダ株　九弗

公債

東京國債

甲號五分利　九八、三〇
第三五分利　九七、二五　九七、三五
第一四分利八八、四五　八八、四〇
第二四分利八八、五〇　八八、五〇
二十八年物九九、五〇
二十一年物八八、三〇
[illegible]　一三二、五〇〇圓

銀塊

倫敦現物　一八片八分一
同先物　一八片一六分三
紐育現物　二六仙六三
同先物　二七仙七七

▲前場
大連現物一〇六、二五　一〇五、三五
同先物一〇六、六五　一〇五、八〇

爲替

ニューヨーク爲替

米日爲替　二〇弗十五仙
米英クロス　三弗二五仙一六分九

神戸日米爲替

寄　二〇弗二分一四
　二〇弗八分五ヶ
引　二〇弗八分七四
　賣手出へず

砂糖

玖馬　一弗一六分一
爪哇　[illegible]

直	五盾九十仙二分一	
十二月積	六盾	
一月積	六盾	
二月積	六盾	
三月積	六盾	

穀肥

大阪現物

三泡（OBB）　一七圓六〇錢
分蜜（M3）　一七圓七十錢
精糖（製）　二二圓四八五錢
同（得）　二二圓一〇錢
同（日）　二三圓一〇錢
耕地白糖（A双）　二二圓七十錢

大阪定期

▲前場
[illegible]

シカゴ小麥

十二月限　四二仙四分三
三月限　四七仙二分一
五月限　四八仙四分三
出來高　四千萬ブッセル

神戸豆粕

▲前場
[illegible]

大連特產

▲前場　寄　引
[illegible]

神戸市中相場

大豆現物六、七五　同先物六、[illegible]
豆粕現物一、八七　同先物[illegible]
[illegible]

絲況

大阪綿絲

印米　綿　一四安
　　　綿　一十五、[illegible]
▲前場
十一限　一九四、一〇　一九五、九〇
五限　一八八、九〇　一八九、〇〇

大阪棉花

▲前場
十一限　一九四、三〇　一九二、一〇
五限　一八八、四〇　一八七、八〇

橫濱生絲

▲前場
十二限　四六、九〇　四六、八〇
十二限　四七、〇〇　四七、〇〇
四限　九一、〇〇　九一、八〇
四限　九一、九〇　九一、三〇

農家の現狀より生れ合理化せる肥料販賣をモツトーとする
各種肥料　直買
共和商事合資會社
臺北市建成町一ノ一三二
代表者　湯鼎琳
電話三九九〇番

無稅證明付
[illegible]
原料八強七四分牌特鋼…
型錄進呈　郵券二錢
大阪西區北堀江　ヤマト商會

洋服
純毛セビロ　A十圓　B十五圓
黑サージセビロ　A十圓　B十五圓
セビロ　三ツ揃金十圓・同詰衿上下金八圓
モーニング　上衣チヨツキ黑（サテン裏）A廿圓　B八圓
オーバー　黑スコッチ　A五圓　B八圓
トンビ　サテン裏　A十圓　B廿圓
財團法人　大阪洋服學校
大阪中之島
洋服裁斷講義錄

家具金物　建築金物　タンス金物　製造卸
加藤商店
大阪市西區

輪ゴム　ゴム管　卸商　專門
村林ゴムバンド製造所
大阪市西區

萬十錢均一品　卸商
約千點在庫品豐富
新型錄出來　二錢切手要
鈴木光雲堂

男女サック
◎絕對に破れぬ最優秀品

▲フイツシユスキン　▲婦人用子宮サック

あか船とは……？
日本一有名な…店よ！
とても珍らしい品があつてよ……あら？あなたも御存じなの……！
ホホ！知つてよ……
お陰で……家庭は至極圓滿なのよ……？

男子專用珍具
婦人專用珍具
男子若返珍具
男女若返妙藥
エボナイト製男子早漏防止器
包莖安全治療器
瑞喜クリーム
和合クリーム
妻悅粉
[illegible]

◎男子早漏防止藥
◎男女安全擁防サックに勝る避姙藥サンセー
◎產兒調節要具

珍書珍本
珍品珍具　家庭和樂草紙

支店小賣店募集
總發賣元
御避姙具元祖
廣瀨式[illegible]局
●大阪市梅田櫻橋交叉點前西側
振替大阪八六八三番

曙光

（167）

生方敏郎作　中野修二畫

新婚旅行（二）

老女中は中澤からさされた盃を一息に飲んで、盃洗で濯ぐと、すぐその手で彼に返盃して。

「さ、私は頂きましたよ。見事に飲んだでせう？そこで若旦那にもこちらの話を聞いて頂きたいんですよ。今晩何うしてもと、若旦那は仰有るけど、それぢやあんまりお孃さまが、お可愛さうぢやございませんか？」

「いや、本當に今夜は向ふに約束があるんで、實際僕の勝手にならないんだから……」

「向かふにお約束があつたら、それをお取り消しなされば、いいですよ。さうしてこちらで、もつといい約束をなさいませ。」

「そんなことといつたつて、さうは行かないんだよ。」

「いえ、いきますよ。先樣はお斷りなすつて、ここに今晩からお泊りなさいませ。」

「困つたなあ……」

と、中澤は、また眼を盃に落さたり拔いたりしながら。

「ぢや、僕歸りに寄らう。それだけ今から約束して置かう。」

「いけません〳〵。歸りにお寄りなさるくらゐなら、何も今お泊りになつても差支へございますまい。折角、この座敷までお上りになつて、一晩もお泊りなさらないでは、それぢや、それほど毎月待つてらしつたお孃さまを、何うなさいます？ねえ、先生。」

と、老女中は春田の方にいつて、更に。

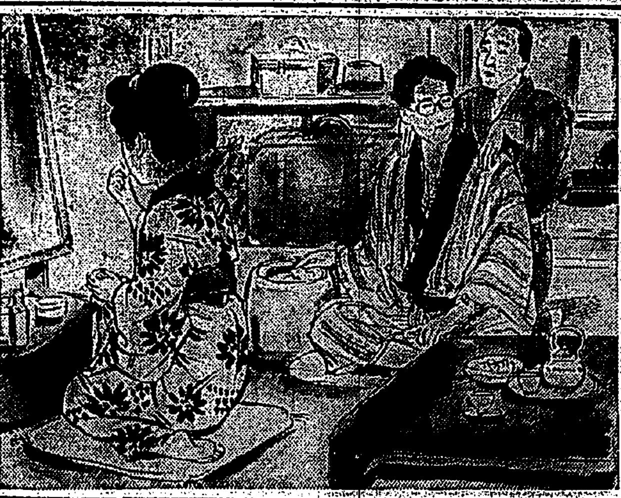
「丸一年半といふもの、若旦那に戀焦れてゐらつしやるお孃さまのお心も、少しは察してやつて下さいましよ。」

中澤は塞んで、赤い顔を一層赤くして。

「バカなことを、もうそんな話は止して酒を飲まう。」

「さあ、召し上れ。」

と、老女中は中澤の盃にも、春田の盃にも酌をして。



りかかる長い黒髪を片手で撫で上げた。

春田は默つて、二人の話を聞いてゐたが。

「中澤君、何だか傍で聞いてゐると、羨ましい話のやうだぜ。大阪へ歸るのなんか、すつぽかして、今夜は泊つちやあ何うですか？僕だつて初めて來た土地で淋しいから君が一しよだと大に心丈夫だ。一そのお嬢さんと皆で面白くやらうぢやないか？」

「それがその……僕が今夜行かないと……」

「分つてますよ。」

と老女中は、中澤の言葉を中途から引き取つて、いつた。

「御事情は分つてますけど、今夜はそれはそのままそつくりにしておいて、ただこちらだけで、若旦那のお家へ知れさへしなければいいことですもの。本當に私はお孃さまがお可愛さうでなりませんから、今夜一晩だけでもこちらへお泊りなすつて、明朝早くお發ちになつたら、およろしいおやありませんか？」

と、たゞ老女中はくどくどと說いた。中澤は、酒の冷えた盃を前に置いたまま、火箸を灰に刺し

「バカなことおやないですよ。殿方から考へれば、バカなことかも存じませんが、女にとつちや命より大事なものは無いですよ。此人をと一旦思つたら、女といふものは一生たつても忘れるものぢやないんです。それが何うしてもかなはない晩は、運河へ身を投げたり猛藥を服んで死ぬ人さへ、決して珍らしい事ではないんですからね……」

「そりや、まあ、男だつて同じことだが……」

と、春田は女中に調子を合せたが、中澤の心持がその女に對し、何の程まで進んでゐるのか解しかねるので、傍から何とも言つてみるわけに行かなかつた。

中澤は、チョッキのポケットから金鎖の時計を出して、時を見計らつてゐた。そして。

「ぢや、もう汽車の來る時間ですし僕失敬します。また歸りには本當にお寄りしますから、若住所を控へるやうでしたら、大阪のここまで知らせて下さい。」

と、いつて、名刺の裏面に大阪新聞社留置と書いて春田に渡した。

そして、姐さんの呆れたやうな顔で見上げる間に、彼は立ち上つて廊下へと出た。

現代化學の大衆化

橋田惠二

サイエンティフィック・ジョーナリズムに忠實であるところの月刊科學雜誌の一二はかなり古い存在であつて、相當な讀者層に食ひ込んで、自然科學の面白さを一號一號と詳解させてゐる。大衆に科學の徹底はスフィンクスだがけふ今年日本の[illegible]時代の科學記事を下面でものつけて介紹せねばと一般ジョーナリズムはサイエンスといふものに寧ろ[illegible]しい觸手を差しのべてゐることは、大抵の雜誌新聞を通じてもうなづかれる。十一號の雜誌から片づけてゆくならば『中央』には今村明恒氏（東大教授）のものする「地震に依る地球内部の打診」と「鐵の本多」とまで來られた本多光太郎氏（東北帝大總長）の「鐵鋼に關する常識」が目立つ、ニュース價値からいふと後者はちと古いが前者にはまだ何パーセントかのバリウはあるとみていい。だが、科學はそんなニュースバリウを目標とする片々たる輕々なものであらうはずがない。そこで今、僕は靜かに今村教授の「地震」を再讀して、それが素人筋の馬の耳に終らぬやう自分自身にだけでも呼びかけたいと思ふのだ。

◇

教授はその結論において「地震豫知問題の研究や耐震構造法の攻究はどれも震災防止を目的としたものだが、その目的は他にある」と說かれ「それは中央氣象臺を中心とした觀測網によりなされつつある地震の統計的事業と研究でそれこそ世界に冠たるものだ」としてある。天氣豫報さへろくに當らぬ氣象學なんだから地震の豫知などの知識に不幸ながら素人さへ分つてゐる。だから「地震の統計的事業」が今の所、この方面の科學でのモンブランであるのは當然。だのに素人筋は理學者を無能呼ばはりするのは怪しからんと思ふ。いふまでもなく地震學は日本で開拓された科學である。大森房吉博士の地震波の數學的研究は世界的にも斷然光つてゐる

◇

今村教授は次に、地震と電氣を混同する向きの少なくないのは困るといつてゐる。自然現象がカクテルのやうな風味を持つてあらうと一般は錯覺してゐることは悩ましいだ。そしていよ〳〵教授の本論に入いると「地球はオレンヂの如き丸いものではなく雞卵の如きもの」との推理を科學的に推し進める。地震波地震觀測の國際的連絡で南米チリーの地震、南大西洋の地震などから教授は地球の内部が雞卵のやうなもので丸くはないと斷じた

◇

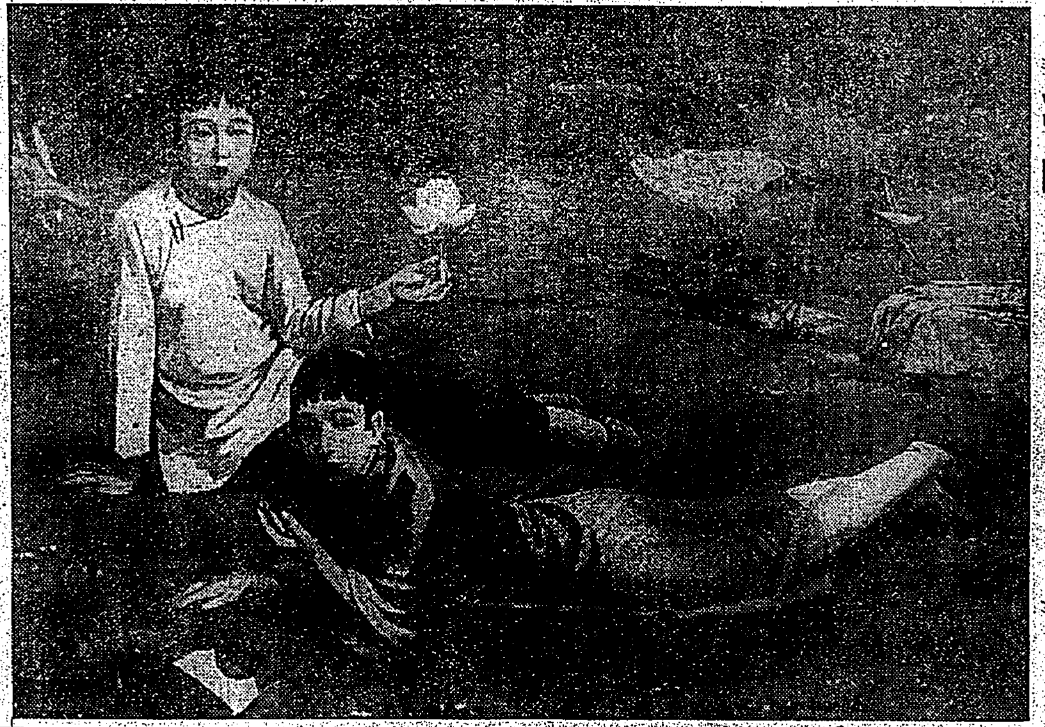
一方本多教授の「鐵鋼」にこれも關聯してサイドラインをつけてゆく。まづ冒頭に「鐵の人生」を掲げ日常家具にはもちろん一切の機械的メカニズムを占據し盡してゐる今日の鐵の價値に人生に不即不離の存在であるを說き、鐵工業の消長は一國の文化消長にも關するといふ一般的な叫びを見せ始め、文明はまづ鐵鋼からといふことを力說されてゐる。「昔は鋼といへば、單に鐵と炭素の合金であつたが近年更に他の元素を加へて特殊の性質を發揮せしめた鋼がある」としてニッケル、コバルト、マンガン、シリコン等、夢の少量を鋼に加へて「特殊鋼」の進出を超文化の機械に具へ得たことを何よりも科學の勝利だと紹介してゐる

◇

更に、非常時への華やかな飾り物として發動機、不銹鋼、磁石鋼などの鐵鋼研究物を教授の研究上から說明し「鐵の本多」の偉大さを見せてくれる。この防彈鋼は既に少しの炭素、ニッケル、クロームを加へた強大な抵抗力を示すところの特殊鋼であり、僅か一、二ミリの厚さの鋼板で實に四百メートルのところから放たれた小銃彈をくひ止めるといふ努力。次の磁石鋼は飛行機、電信、電話、自動車等の用ゐる將來の磁石のものとして強大恒久性にしたもの。不變鋼はどんな溫度に出遇つても形に變化の來ないものであるから、今までの時計の振子や測量用のレンチ、ファインダー等を全くよいものとする前衛的役割を持つ鑛物である

◇

本多教授の立てこもる金屬研究所の存在は餘りにも世界的だ。陸海軍部の知識階級とさへいはれる。「鐵の本多」がどんな難しいものをその非凡極まる手腕から編みだすであらうことに列強が無關心でをれるはずはない。かく今村、本多の如き現代學界のアウトーレンが象牙の塔からジョーナリズムの波の上に「地震學研究」をかなぐり捨てて鮮かなタクロールを見せて下すつたことにえりを正したい



池畔（帝展入選）　窪田照三

身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

同性愛は永久的のものでせうか

私は十七歲の女性でございますが本年十九歲の一人の女性が常に頭の奧深く刻まれてゐるので御座います。同性を慕ふ心、此心は到底言葉では言ひ表はし得ません、異性愛には觸れない私も此の狂ひさうな同性愛にはどうする事も出來ません、彼女は理智に富んだ人格を重んずる女性です、私の目から見ては本當に理想的な方で御座います、勿論私の心を打ち明けたのですが何時も冷靜な態度を示します、普通の女の樣に浮氣めいた所もなくそこが又一層私を引きつけるので御座います、私は永久に此の女性をお慕ひしやうと思つてゐます、永久に……お互ひに口では言ひ交してゐます、しかし[illegible]同性愛は果して永久のものでせうか、自分から永久に……とは言ふものの信じられぬ時が來るでせうか、私は心の儘進んで宜しいでせうか、誰にも打明け得ぬ事もでき御相談申す次第で御座います（十七歲女）

彼女の人格を尊ぶ程度に止めよ

異性と同性との別なく他を愛するといふ心は貴いものです、若しこの愛が利己的の愛になると醜しくなります、あなたの年上の同性に對する愛は、未だ汚れのない清淨な愛、人格高く理想的な女性としての觀念の愛とも解されます、その意味で決して世に言ふ[illegible]同性愛とは區別しなくてはなりますまい、所謂プラトニック・ラヴ[illegible]ますが然し斯ういふ純な氣持を持つ事は、あなたが十七歲位の年頃だからで、もう二三年經つと之が利己的の愛に變るか或は全然彼女に興味を感じなくなりませう、從つて決して之は永久的のものではなく女性が何者かを愛せんとする愛の芽生えと見る外ありません、僕はあなたの此の純な同性愛を頭から好しからぬものとは決して申しません、あなた位の年紀の頃には立派な人物に接すると心を吸ひ付けられて了ふものです、立派な人格に對する愛であり恐らくあなたの[illegible]ないからこの愛の爲め[illegible]性を失ふ程になつてはなりません、先[illegible]

八大樂聖の傳（上）

―洋樂に親しむ人の爲に―

洋樂が隆盛となつて、各種の音樂會、レコード、ラヂオ等によつて一般の人々も音樂に親しむことが出來るやうになつたが、音樂の常識として之等の人々の爲め八大樂聖の傳について語ることにしやう

音樂の父バッハ

今日から二百四十年程前に現はれた、バッハは近代音樂の父である、彼以前の音樂は可成幼稚なものであつたのが、彼の努力によつて旋律偉大の今日の西洋音樂が始めて生れ、それ以後の音樂家は皆バッハによつて育てられたと言つてよい程である。バッハは主としてオルガン曲を作つたが彼は樂器の改良に努力し、幾多の新しい型を用ゐて新しい音樂を創造し、奏鳴曲、交響樂、舞踊、組曲等、今までに見られなかつた新鮮の感情を盛ることに成功した

×

バッハは又宗教心の深い人で宗教的音樂に多大の貢獻を成した彼の教會用のカンタータ受難樂、聖樂、讃美歌等は彼の型も偉大な作でその中には彼の感情、思想、精力等の最高のものが充ちて居り、それ等の大宗教樂に、彼の[illegible]深い人格の反映である。バッハ[illegible]八十[illegible]ドイツのアイゼ[illegible]として立ち、その後作曲に專心、一七五一年名聲と窮の中に長逝した。

モツアルト

「フィガロの結婚」で、我我に親しみの深い、モツアルトは音樂の化身だ、音樂上の驚異の天才である、太陽から光が流れ出るやうに彼の頭腦からは旋律が流れ出した。彼の音樂の特徴は極めて温和な優麗な美に富んでゐることである、アーサー・シモンズの評によると『欲望を持たないで喘ぎに滿足し、且つそれ自身であらうとしたもの』である

×

明朗な平和な、光輝ある美がモツアルトの音樂の全てである、彼は一七五六年ザルツブルヒに生れ、早くから音樂の神童として知られ七歲の時既に最初のソナタを發表しヴァイオリン、オルガン等の演奏を公衆に試みた。音樂の才は年と共にすすみ長じて、彼は歌曲交響樂の名曲を極めて多く發表したが、然し物質には惠まれず、夫婦共に家政に無頓着であつた爲、常に借金で首が廻らなかつた「可哀」「ドンジオヴァンニ」等の作品をのこし、一七九一年、三十五歲で悲惨な一生を送つた

ベートーベン

洋樂について何かと知つてゐる人でベートーベンの名を知らぬ者はあるまい、彼は異常な天才であつたが、然し彼の場合特筆されねばならぬことは彼の成功の一面にはその深刻な思想の體驗によつて得られたものであるといふ事である、彼はあらゆる不幸と戰つて、偉大な意思の力によつて終に光明を得たので[illegible]

×

音樂家としての彼は革新者創造者であつた、けれども彼の革新は破壞せんがために行はれたのでなく心の滿足を得んがために行はれたのである、ベートーベンの溢れる熱し易い性格は因襲的の音樂の形式に滿足が出來なかつた。彼は自らの深遠な樂想を發表するために、自ら新しい音樂を創造したのである

×

ルードイッヒ・ベートーベンは一七七〇年ドイツボン町に生れた彼の父は貧しく酒飲みでいづれかと云へば無賴の徒であつた、幼い頃のベートーベンは音樂を好まなかつたと云ふことである、やや長じてから愛好の念が燃え始め、十二三歲の頃には既にオルガンの名手となり、又劇場の管絃樂隊に混つてピアノを彈くまでになつてゐた。長ずるに從ひ非凡の樂才は現はれ始めたので音樂家として立つべく決心し、十七歲の頃からハイドン其他當時名ある音樂家について作曲を學ぶこととなつたが、解放不羈の天才青年であつた彼はどこの教師にもあまり喜ばれなかつたとのことである

×

彼は二十五歲の頃から續々千古不朽の名作大作を發表し始めた、而も不幸な事に其頃から耳が彼を襲ひ始めた。彼の私生活はどうであつたかと云ふに名聲は一作毎に擧がつたけれど、物質的に惠まれる所はなく、常に甚だしい窮乏の生活をし、耳の苦痛は彼を粗野な氣短かな人間とし、その行動、感情の粗放の故に、社會から離れて孤獨の生活をしなければならなかつた。熱狂的な性格の彼は又強い戀を二三度經驗したが身分の賤しさ生活の貧困、態度の粗野等から常に敗北者となつた、晩年の生活は更に悲慘で、重い風邪の中に五十七年の生涯を終つたが、それは音樂の都のウインに暴風雨の荒れ狂ふ恐ろしい日であつたと云ふ

シューベルト

シューベルトはリード（歌）の大家として知られるリストは彼を『空前の詩的な音樂家』と呼びシューマンは又『シューベルトの歌は月の光の中、日の光の中に浸されてゐる』と評した。一七九七年ウインナの郊外に生れた。家は貧しかつたが、その家庭は音樂すきであつたため、幼にして音樂的才能に芽ぐまれ十六歲の時より作曲を始め、六百にあまる歌、器樂曲や歌劇曲を作つた彼の出世作は『魔王』である彼も亦その才能と多大の努力にも拘らず生活は極めて貧しかつた、不幸にも當時のウインナ人には、彼の曲はあまりに高遠優雅に過ぎたのである三十一歲の時病死した（續く）

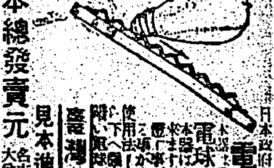
近代味豊かな
ライオン日記

昭和八年度の日記も、それ〴〵新裝して店頭に出た、夫々特色を持つては居るが、さて『近代味』といふ點からは、何と言つてもライオン齒磨本舗發行のライオン日記が一番だらう、その裝釘からして、全く素晴らしい新鮮さを吾々に味はして呉れる。これは、確かに一九三三年の感覺だ、紙質、印刷など申分なく、殊に其附錄に到つては、ライオン日記の最も誇とするところで、内容は年每に改良され新時代に呼吸するものにとつての必要事項は、悉く收めてあるといつても過言ではないだらう、定價は大家向の皆々版（四六版）が五十錢、婦人向、小形（菊半截）が五十錢、[illegible]

ツクとカバン
アイシン印
TRADE MARK
山下芳松商店
本店 大阪市住吉區昭和町中三ノ一〇
販賣部 大阪心齋橋南久寶寺町大丸分ビル

大阪市立衛生試驗所長 山口博士發見創製
肺結核内服新治療劑
イプシロン

日本一の菓子
グリコ
運動に勉強に

世界的大發明

日本政府認可新案特許第二二〇〇號
電球線強弱整理器
電球の生命は約一千時間也
臺灣一手販賣店を求む
見本進呈
日本總發賣元 名古屋市東區大曾根町八ノ一四 山本商會

效果百%
專賣特許 肺病内服新藥 ネオトーン
喘息新藥 [illegible]
大阪市東成區大今里町三〇九 小林藥學實驗所

◇開運に導く◇
新口第六回割引二十四券
十二月くじ 第三回割引廿圓券
簡易貸付の便宜あり御利用を願ひます
大黒天和讀進呈
振替大阪七六六八番 電話本町八〇五番
大阪市東區安土町堺筋 小尾兩替店

各帝國大學病院指定常備藥
補血強壯增進劑
ブルトーゼ
BLUTOSE

産婦人科とブルトーゼ
無月經―子宮發育不全症の如き體質的缺陷あるもの殊に姙娠時の貧血―大手術後の恢復期等に體力增強劑として盛んに賞用されてゐる
適應症
貧血症の婦人に
病中病後の衰弱
産前・産後
榮養不良
株式會社 藤澤友吉商店
本店 大阪道修町二
支店 東京 京城

衛兵の銃を奪つて自殺を企て及ばず

高波部隊に救ひ出された下枝少佐チチハルで語る

【チチハル廿四日發聯合】拜泉に於て楊胡子のため監禁されてゐた下枝少佐は我軍の入城と共に九死に一生を得て二十三日午前五時チチハルに歸つたが、足部の重傷と疲勞に耐へ乍ら左の如く語つた

九月二十七日拜泉に到着した時楊胡子の態度が怪しいと思つてゐたが、十月十一日の朝突如楊のためにピストルで足部を擊たれ、多數の兵に捕縛され、司令部の梁にくくられ銃床で毆られ非常に亂暴を受けた、余は帝國軍人として彼ら如きにと齒を喰しばつて一言も發しなかつた十三日衛兵の隙を見て銃を奪ひ自殺しやうとしたが、遂に果さず、この時から手足を鎖で縛られ十五日楊が泰安鎭攻擊に出發の際には公安局の監獄に投込まれた、十一月三日鄧文が入城し七日には殺されんとしたが劉團長の好意によつて漸く助かり十五日には楊の侍從長入城し劉と心を合せ余を保護したが、十七日夜中鄧文は先づ劉團長を血祭りにあげ我軍を迎擊すると言つて出て行つたが、この時は殺されるものと覺悟し却つて平靜であつた、十九日鄧文は我軍のため散々破られ拜泉に逃げ歸つたが、高波部隊の時を移さぬ進擊により鄧文は自分を顧るひまなく逃去つたので命を拾つた譯である、かくて十九日高波部隊の拜泉入城と共に救ひ出された次第である

爆擊機二十數臺と精鋭武器輸送さる

米國から支那へ─

引續き輸送さるとの確報

【東京二十四日發電通】その筋に達した情報に依ると最近長江を航行した米國ダラー汽船でアメリカの爆擊機二十數臺と精鋭武器多數が到着した、之と前後して米人航空將校二十餘名も到着し何れも杭州に向つた、一方張學良は杭州で軍政部長何應欽、長江要塞司令官、杭州航空校長と會見し何等か協議したるあり、之に就ては國民政府外人顧問等が有事の際日本は必らず長江各河海を出動すべく支那國防の急務は長江沿岸要塞を新鋭化し空軍を充實するにありとの主張を爲すに鑑み長江防備北支空軍設備等に付き重要協議を遂げたものと觀測されてゐるが、尙引續きダラー汽船に依り米國から飛行機その他の兵器が到着するとの確報あり之等の折衝は今春米國に特派された前商工部長、實業部長孔祥熙が當つてゐるものと見られ注目を惹いてゐる

日貨を買つた支那商人を慘殺

廣東の救國會員

【廣東二十三日發電通】當地支那商人鄭穀は日本製隱花紙十四梱を買つた廉で抗日救國會員に逮捕され即日槍殺された、右を聞き知つても司法官初め官吏は一言も發せず傍觀してゐる

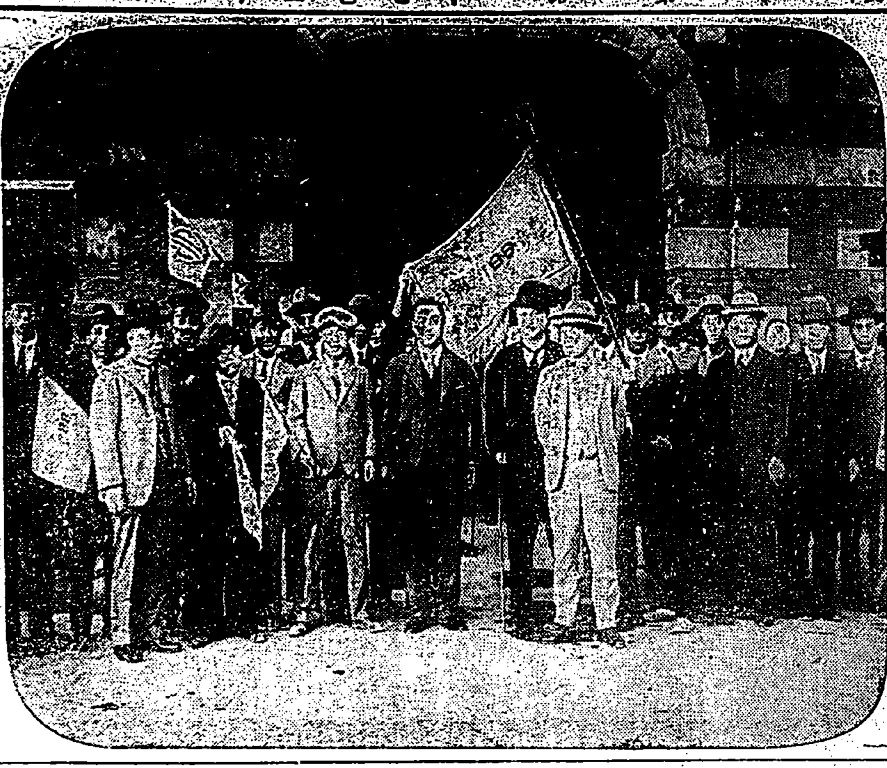
金同春圳竣功式

三十日に擧行

中瀨知事臨席

中瀨臺北州知事は兼て工事中であつた宜蘭郡員山庄の金同春圳の竣功式に臨席のため二十九日午後零時四十八分臺北驛發列車で宜蘭に向ひ三十日午前中竣功式に臨み午後は圳事務所を視察し十二月一日基隆郡下に出で中川總督を迎へ歸北の豫定である、尙金同春圳は組合員が一文の補助金も受けず自力で十二萬五千圓を投じ最新式の方法により竣功せしめたもので地下水を利用するため總督に穴を掘つて湧水せしめ如何なる旱魃が來ても先づ水が涸れるやうなことはないといふ自慢のもので本島としては稀有のものである

歸臺した上田慰問使



（きのふ臺北驛で）

「討匪の一線にも「臺灣の慰問袋」」

（下）

山城鎭にて　小濱生

山城鎭で歩哨が白い包みを擁いてゐる。見れば、なつかしい臺灣の同胞から贈られた慰問袋だ予に早速聞いて見た

『君その慰問袋いつ着いたのだ』

『只今配布を受けたのであります』

と上等兵殿に云ふ

『臺灣からのだらう』

『さうであります』

『一寸拜見……』

私に何んとなく嬉しさに[illegible]袋を手にした

『何か感想はないかね』

と聞いて見ると、臺北醫の兵隊サンは互ひに顏見合せて笑つてゐたが

『遠くして遠い所から誠心籠めて同胞して下さる人達に感謝して居るのであります』

と一等兵君の言葉は簡單だが感謝が溢れてゐる

◇

何しろ[illegible]

討伐の奔命に疲れてゐる將士連の心を慰めるにどれ程大きい力となつたか知れない、予は昨秋の事變以來各所の戰線に從軍して、將士が慰問袋の配給を受けて遠い故郷の便り、同胞の厚い[illegible]

◇

月の夜の陣營の感激を遙く西方に想定せしめてストーブに暖をとり、慰問袋を解いて朗かに談笑されてゐる、予も珍らしいジャスミンのお裾分けを受けて、臺灣煙草の味を知るを得た、予は本社に送る北の從軍記を書くべく有合せの紙片を取れば分遣隊長木島憲兵軍曹は

『通信の中に我々が感謝してゐることを書き添へて下さい』

といふ

◇

次はその口頭してゐる

臺灣の同胞の皆樣

厚い心の贈物、ある慰問袋は匪賊討伐の命を受け[illegible]に出動中、我々に只今配[illegible]れました[illegible]

御安心下さい、到る處兇暴な匪賊を掃蕩しては皇軍の武威を遍く發揮して居ります最初からの滿洲は覺い深く寒さの苦しさが想像出來ない以上に寒くなるのです、けれども關東軍の將兵は大した元氣です、日本の軍人らしい働きを續けてゐることを想像せられて御安心下さい

山城鎭の陣營にて　木島軍曹

◇

此の手紙が私の紙片によつて書き認められた時、けたたましい電話だ、一人の上等兵が受話器を取つた、そして報告を受けて

『或方は異常ありません』

と切つた

『何かい』

木島軍曹はきいた

『只今、新岡口（當地より二つ目の停車場）分駐所からの報告、ありません』

『どうも御苦勞』

『通信の報告によりますと、[illegible]つて南下したさうであります我分遣所では殿軍警戒すべしといふのであります終りッ』

『さうかそりや面白い、すぐ守備隊に報告して來い』

『はッ…』

上等兵殿は出て行つた

『來さうかね』

予はペンを止めて聞いた

『何あに來れば面白いんだが、滅多に來ないよ、然し萬一といふことがあるから用意は必要だ』

木島軍曹は一人の部下に

『戰鬪の用意して置け、それを第一線、歩哨に云つて來い』

『はッ……』

部下は出て行つた

◇

ただ明けた[illegible]明日は愈[illegible]が始まるさうだ

◇

月冴える陣營の夜は何んとしても眠れない、分遣所の人達も事變以來の思出話に花が咲いて眠らうともしない、予は新見上等兵を北隣に見出して昨年十二月廿五日の夜、遼西中央?始まつて以來ない市街戰を演じた日の夜の田庄臺を追懷しながら語り合つた、今夜のやうに冴えた月の夜中であつた。今夜と同じやうに分遣所で一夜を明したのであつたが、一年後の田庄臺に[illegible]、今ぢや同地の人々[illegible]、北[illegible]のだ、そして王道樂土に徐々に[illegible]されて行くのだ（完）

島民の熱意に對し軍隊は感動感謝

上田本社慰問使は語る

【基隆電話】二十四日基隆入港の吉野丸は豫定より一時間遲れて午後一時中正外港、今日も又引續きの好天氣で氣溫は華氏の七十五度を示し港内は微風にさざめく波頭のしぶきのみで空に浪も晴れ渡つた朗けさである、船客合計二百九十九名、うち一等船客は近藤勝次郎氏、日本海運取締役城山保次郎氏並びに一年振りで來臺の天勝一行の賑やかな娘子群である、滿洲の曠野に酷寒と匪賊の掃蕩に身命を賭して日夜となく**奮戰し**つつある皇軍將士に對する全島在住民の熱烈なる慰問品の使を爲した上田本社慰問使は左の如く語る

日滿議定に基く在滿部隊の懸命たる苦心により滿洲國の治安も着々と進捗して居ることは同慶に堪へぬことと思ふ、軍隊の**困苦の**狀態は事變當時より今日の方が寧ろ深刻であるが慰問品は當初に於る程第一線には送られて居ない本月四日私が吉林の長谷部○團を慰問した時の軍旅團の附近に在つた兵隊さんが『一ケ月振りに慰問品を貰つた、アッ煙草だ』と大喜びで袋を開いて居るのを見て私は人の同情が之が位掛け引きなしに受け入れらるる事はあるまいと思つた、これは取も直さず同胞を思ふ故眞な心情がピッタリと合致したからであらう、新京でも同宿してゐた鐵道警衛兵の下士が『慰問品ですよ、おあがんなさい』と又臺灣から送つた**罐詰の**食べ殘しを私に差し出し二人で食べるのに勿體ない』と言ふので思はずほろりとさせられた、見ら關東軍での話によると全日本の地方でこれ程位贈つた慰問品を贈つた例は無いさうで島民の熱誠は軍全隊にわたり深く感動感謝を寄せられてゐる

吉野丸サロンニュース

內地に於ける麥酒の需要

本島と同じ傾向

近藤勝次郎氏談

ビール共販設立の本年度の移入は十一萬四、五千函及び島酒約五萬で二十萬にはまだ間がありますが何分にも一般的に消費節約の時に應つて、特に無理強いせぬと云ふ點もあります、來年度の共販計畫といふことについてはまだ別段に考へてはゐません、內地に於ける需要傾向も大體本島に準じた模樣でした、共販外の流入については目下相手方と訴訟中で一切は弁護士に委任してゐるのでどんな狀態になつてゐるか判りません

疑雲に

天勝一行も同船で來臺した、又同船で夫婦者心中をした女の身許については依然疑雲に包まれてゐたが同船が去る二十七日神戶入港の際女の父の親戚と云ふ明田元之助なる人より同船事務長宛十藥の郵便で問合せが來たのみであつたが右は京都府立大病院で看護婦をしてゐたといふ明田貞子（二三）と判明し、遺死體引取等につき事務長より一應の說明を聽いて納得そのまま歸着したと

上田慰問使きのふ歸社

臺北驛頭には官民の多數が出迎ふ

朔北の地の皇軍を慰問する使命を帶び渡滿した上田本社特派記者を載せて列車は二十四日午後四時十五分無事臺北驛に到着した、驛頭には本社旗を先頭に大澤主筆、長谷支配人その他社員多數手に手に小旗を翳し出迎へたが、市からは西澤市尹、川添助役、督府からは新田殖產局長、今田警務、王野保安、森田衛生の各課長など其の他岡酒組長代理や在鄉軍人會、國防婦人會の美人座の女給群など色とりどりの歡迎で天勝一座の着北と時も同じな爲め非常な賑ひであつた

新竹州學校美術展

けふから公開

【新竹電話】新竹州學校美術展出品數は學校職員部に一般有志百二十點、小公學校兒童四百四十點、中等學校四十五點にて二十二日迄に搬入を終り、二十三、四の兩日審査を行つた結果特選學校職員五點、入選學校職員三十一點、一般四點、兒童三十點、生徒十點を選出した、二十五日午前八時半から女子公學校にて發會式前に賞品授與式を擧行し同日から三日間一般に公開すると

二番線開通

海底線切斷のため去る十月二十七日より不通になつてゐた長北二番線（長崎臺北間）は修理中のところ二十四日午後六時修理完成全通した

來臺した天勝一座の娘子軍

松旭齋天勝一行は二十四日午後四時十五分賑々しく臺北に乘込んだ、一行は五十餘名で娘子軍は二十三名、臺北著と同時に自動車數臺に分乘して所定の旅館に行李を下したが天勝のみは基隆から自動車で臺北に來た（寫眞は娘子軍一行）

臺北州の水產試驗船

本年度末までに竣功の豫定

水產試驗船の建造に關聯漁業調査のため內地各府縣出張中であつた臺北州の中谷技師は二十一日歸臺したが新試驗船は岡山縣宇野の三井玉工場において既に建造に着手した、臺北州では農林省の技師を囑託とし三井では農林省の漁撈主任技師であつた兵田氏を囑託として理想的試驗船を建造すべく努力中で本年度末までには竣功せしむる豫定である

同工場は約十年前から宇野地方の船田を買收して設立したもので其の設備においては民間では日本一の稱あり、目下一萬噸級の巨船建造中であるが水產試驗船を建造するのはこれが初めてで臺北州試驗船の入札には他の造船所は十四、五萬圓から十八萬圓位と入札してゐたのに三井では特に十萬圓以內で落札したが之が非常な評判となり從來三井は農林省の監視船建造等には入札に參加せしめてゐなかつたが之を機會に農林省はじめ各府縣とともに參加せしめることとなり三井は非常に有利な立場となつて來たと

基隆珊瑚市

空前の盛況

六日間に五萬餘圓

【基隆電話】基隆に於ける本年最終の珊瑚市は去る十八日より六日間と云ふ例のない日數で二十三日終了したが、この賣上高は之を內地を通じて例がない五萬五千七百餘圓と云ふ**多額に**上つた、久しい間の手持品や個人組合若くは水產會等の擱保品も約六割方の處分が出來た爲之に伴ふ漁業者側にあつても充分な彈力がついた譯である而して今後のカジキ漁業その他冬季漁業に要する資金も相當の融通性がつく事となつた結果、之より年末にかけて基隆を根據とする漁業者一般に亙つてかなりの**活氣を**招來するものと見られてゐる、尙今回の珊瑚市を通ずる價格は豫想より平均二割五分方の値上りであつて本年一ケ年を通ずる總賣上高は三十萬七千七百餘圓に上つた

十時半當地に到着する豫定であつたが途中に下車し自動車で秘かに當地入來、驛頭一萬の民衆は待ぼけを喰はされた

刑務所作品即賣會

來春一月開催

臺北刑務所作品即賣會は來春一月二十日より二十三日まで四日間臺北、臺中、臺南及び新竹の四ケ所で開催される事に決定した

公金二千圓の拐帶犯捕はる

宜蘭郡警察課で

臺北州宜蘭郡警察課では數日前より擧動不審の一內地人を引致取調べ中であつたが、右は京都府下下鴨某役場助役仲大路留二（二七）といひ公金二千圓を拐帶逃走中のもので下鴨警察署より係官が出張護送した

女房の縊死

臺北市下奎府町四の三八陳林氏晛（二五）は二十四日午前一時頃臺所で細ひもを以て縊死してゐるのを夫陳郡山が發見屆け出たが右は病苦による厭世自殺である

機關車に撥飛され內地人女が即死

二十四日午前九時五十五分頃宜蘭線基隆起點一粁附近（基隆、八堵間）に於て第五〇六列車進行中基隆市入船町三の六田中カメ（五〇）なるもの線路を橫切らんとして機關車にはねとばされ即死した

國防青年團巡講

新日本國防青年團の發起の事業として田中、二氏は二十三日基隆にて第一聲を擧げ二十四日は花蓮港にて以下次の日程にて各地を巡講する由

二十六日夜臺東公會堂、一日宜蘭、六日夜馬公

桃園郡警察課職員の秋季射擊大會

【桃園電話】桃園郡警察課職員の秋季射擊大會は二十四日午前八時より郡山庄の新射擊場において郡下各派出所及其他多數來賓參列の下に開催されたが先づ日原警察課長の開會の辭があり、次に松尾郡守より職員一同に對し新設の挨拶並に熟官に對する希望を述べて直に開始、午後三時無事終了しそれより優秀者に夫々賞品の授與あつて盛會裡に散會した

馬那邦山登行

臺灣山岳會では左の日程で郊外の登山と本島理蕃史上に輝く英靈を弔ふ意味に於て新竹、臺中在住各會員と共に新竹州大湖郡大安溪右岸連峯中の一峰馬那邦山（標高一、四〇六、三六米）登行が企てられた、同好各位の參加を希望する由

十一月二十六日（土曜）午後一時二十分臺北驛發、同日午後四時三十一分苗栗驛着、同夜大湖警察泊、二十七日早朝大湖發登頂、同日午後六時四十一分苗栗驛發臺北の豫定、尙新竹驛二十六日午後三時三十五分發、臺中驛同日午後二時五十分發とす、旅費臺北一人金七圓五十錢、新竹一人金五圓、臺中一人金六圓

臺北州下傳染病

【二十二日の分】

▲腸チフス　臺北市福住町三三番地內野テイ子（二〇）

▲腸チフス　臺北市龍口町三の二三番地西村商行（二七）

▲腸チフス　臺北市川端町四二番地坂田ハナ（三二）臺北醫院

▲腸チフス　臺北市御成町四の五番地長谷秋子（二七）赤十字醫院

▲腸チフス　臺北市日新町一の一一六番地黃放安（六二）赤十字醫院

▲腸チフス　基隆市明治町三の九番地林聰明（四）臺北醫院

▲腸チフス　七星郡北投庄北投六八〇番地王松林（六）赤十字醫院

▲ヂフテリア　七星郡新莊街頂恩心子字七六番地李錦氏鶯

▲ヂフテリア　臺北市旭町一四番地架楠共（三）臺北醫院

▲ヂフテリア　臺北市大正町一ノ一二番地鐵田恭子（六）自宅

【二十三日の分】

▲腸チフス　臺北市有明町一ノ五六番地姚氏辛（二五）赤十字醫院

▲腸チフス　臺北市榮町二ノ二番地劉永茂（三）赤十字醫院

▲腸チフス　臺北市御山町三六番地根田ツユ（三二）臺北醫院

▲腸チフス　臺北市龍口町女子高等普通學校內蘇氏桂妹（一八）赤十字醫院

▲腸チフス　臺北市泉町一ノ三番地商田森太郎（六四）死亡

箏曲演奏會

【基隆電話】二十六日午後六時から基隆劇場で生田流箏曲師匠原砂見俊子刀自の司會で演奏大會を開催門下諸姫十五名が交る交る秘技を弄ぶが入場無料一般の來聽を歡迎すると

東本願寺で報恩講

東本願寺臺北別院では二十四日より二十八日まで左の如く宗祖親鸞聖人報恩講を催すこととなつた

△二十六日午後七時御傳鈔拜讀△二十七日午後七時改悔批判△二十八日午後二時、八日午前十一時御齋二十七、八日午後一時より午後四時まで、何眼原宏道及副長大心院氏の說敎もある由

第九回婦人講座

第九回婦人講座は二十六日午後一時半から樺山小學校講堂に於て開催さるるが當日は「產婦人科の知識」に就て臺北醫院產婦人科醫長迎諧氏の講演がある筈

義太夫納會

二十六、二十七兩日午後五時半から南門公會堂に於て素人義太夫納會を開催するから多數の來聽を希望すると番組左の通り

（初日）御祝儀（入豆）朝顔（市）沼津（凪光）壺坂（官枝）梅忠（良昇）寺子屋（鄉枝）太十（土呂）（二日目）御祝儀（日山）鳴門（市）太十（竹司）吉祥寺（小松）本下（寶珠）合邦（二樂）百度平（梅玉）（寄川）堀作（關玉）三味線（呂玉、熙子）

ビールの專賣はその時期に非ず

田端專賣局長語る

【東京支局特電二十四日發】田端專賣局長は二十二日夜入京したが二十四日大要左の如く語つた

ビール專賣は久しき宿題とされてゐるが今のところその時期でないやうに思はれる、今回上京の用務は樟腦の副產物並びに塗料の內地移出交渉などの用件をもつてゐるが、工業額としてはその效用の點に於て樟腦は內地側にいささか劣る點があるので賣込みに骨が折れるだらう、本日からすぐ大藏省あたりに交渉を開始するが約二週間滯在の豫定だ

煙草に關する趣味の展覽會

來月十六日から三日間

臺日講堂で開催

植民地生活の淋しさをいやし潤ひをつける趣味合に於て今回、田端幸三郎、河村徹、谷河梅人諸氏其の他の組織せる煙草同好會が生誕となり專賣局及び臺灣日日新報社の後援の下に來る十二月十六日より十八日迄、金土日の三日間に亙り臺日講堂にて煙草に關する

◇…**趣味**の展覽會を開催することとなつた、右に就ては專賣局よりは煙草類煙草及び外國煙草の包裝、煙草代用品、煙草喫煙器具類（喫煙器具共）煙草種子より煙草に至るまでの鉢植若くは標本、煙草產業及び輸入喫煙具、煙草に關する文獻、繪畫、ポスター、葉卷リング及び函、ライス・ペーパー、喫煙室、喫煙草等を出品する外臺北煙草工場の女工數名をして島產煙草の製造工程を實演せしむべく、其の他帝大土俗學部、圖書館、博物館其の他諸官衙へも關係品出陳方を

◇…**勸誘**の豫定であり、又民間人士にも勸誘して江戶時代より現代に至る間の煙草器具は勿論西洋もの支那もの及び蕃人もの全部網羅する豫定で、之に就ては各煙草喫煙人にも依賴し全島より珍品を蒐集する手筈となつてゐる。從つて一般人士も苟くも煙草に關係を持つものは何物でも宜しく又門外不出の珍寶でも出陳を乞ひたいと言つて居る、右出品に就ては臺北市榮町一丁目三十番地谷河梅人方煙草同好會へ宛て通知又は

◇…**送付**を願はしたく之に要する運賃は同會持ちの筈で來る十二月十日迄には出品物全部を會にて入手し得るやうにしたく大方同好の士の鬱つて出陳さるるやう切望すると言つて居る、尙專賣局方面にては非常な熱心で大々的に出品する旨申越して來た

トロツキー氏

コペンハーゲン着

【コペンハーゲン二十三日發電通】トロツキー氏は二十三日午後

太田胃散
實質本位
盛んに賣れてる胃病藥
本舖　東京　太田總藥房

新世界館
皆樣の渴望を滿す可く日活黃金篇の再映
天下人氣者　小杉勇、夏川靜江　主演
市川彩代
海のない港　前後篇　一擧上映
[illegible]

會葬御禮
一男　平松貞次

特別廣告
いよく
明晩より開演
天勝一座

漢文　臺灣日日新報

黎議長使問題煩雜化

卓總長憤慨協議對策

二十三日壽府電。由聯盟事務局最高首腦部。確聞理事會第二日。黎發萊拉議長大失敗。蓋因議長無視確商。致事態紛糾。事務總長卓問陶氏大憤慨。散會後與議長協議善後策。其經緯如左。

一、事務總長與英佛國代表等協議結果。一旦將問題移於總會。使小國有開口機會。後乃移於十九國委員會。或以直接的利害關係國代表。設小委員會使實質上與理事會無大差。講對策爲妥當。希於二十三日中。得自理事會將問題移於總會。與議長磋議此事。

一、然議長言詞頗劣。因求律致卿發言。任務既完之調査團。又被求新事業。於是松岡全權。乃嚴重留保之。中國調査團之發見發表。論旨固歡迎之。然理論上。委員會之意見。有無發表資格。須要決定。且其意見要調査團全團意見方可。

一、議長對理事會。求調査團再組織。調査團就律致報告書變更必要之有無。不得不答申也。

二、爲此律致卿等。二十三日午後九時開協議。二十四日午前亦續行。

二十四日理事會。顧中國代表演說後。問題不得移至總會。左記煩瑣問題。此數日間。不得不答之。

一、對律致卿等。欲公式諮問。須理事會之決議。

二、此非手續問題。而欲作實質問題時。其決定須以理事會全會一致與否爲先決問題。

三、此協議日本當壹理論追究之。

四、律致卿等有報告時。其辨理必紛議。

不許反駁我意見書

外務當局方針

二十四日東京電。律致調査委員長。於聯盟理事會發言。外務當局。

一、調査團惟報告書要說明時。可許發言。然對於報告書提出後新事態。被徵參考意見時。雖得陳述。然對我意見書之反駁。則絕對不許。

一、調査團之發言。說明以外。不得含容他意。對黎議長之意圖。頗懷疑惑也。

匪賊歸順相繼

蘇炳文結局軟化歟

二十三日哈爾賓電。匪賊頭目增再新。二十一日黎明歸順。兵匪巨頭歸順相繼。蘇炳文或見軟化也。

自稱馬占山

遭我空爆

二十三日齊々哈爾電。有自稱馬占山者。去六日在嫩江南方布氣。遭我軍空爆。急遽逃出。十五日在布哈圖。與蘇炳文會見。

宇垣朝鮮總督

啓程歸任

二十四日東京電。宇垣朝鮮總督。背一部政客期待上京後避政治的行動。用務已畢。二十四日午後一時。發東京驛歸任。

松島駐意大使

廿五日赴任

二十四日東京電。新任駐意大使松島肇氏。二十五日午後九時二十五分。發東京驛經由西比利亞赴任。

南京放送局

爲宣傳機關

月十二日開始

既報南京放送局。爲中國々民黨宣傳用。依中央常務委員令第二十八次會議時決議。設于南京。該波長四百四十米。電力七十五瓩。放送範圍。東至布哇。西至全西藏。南則南洋諸島。北外蒙古西比利亞等。稱東亞第一電音放送局。臺灣內地。勿論皆得聽取。當局頗受其所苦而日僑。凝得聽取臺北放送。今已不能。僅臺南放送。亦不能十分明瞭。顧南京放送局。自八月頃。行試驗放送。十一月十二日起。正式開始放送。其種目。每朝八時起敍說。電音體操。一時間報道。常識講座。講演孫逸仙遺教。全國氣象。上海市況。正午。時報。午後民衆教育（日本話講義每週一回）夜間。中國。西洋音樂。至十時告畢。創立該放送局目的。係利用宣傳國民黨。對報道頗注全力。演藝方面。除土曜日外。皆演唱曲盤。報道總時間。朝。晚各一時間。薄暮約三十五分。計二時半。內英語及日本語各二十分。皆取南京發表新聞材料放送。該紹介女子操流暢日本話。放送日本遊宣傳。我日本政府。頗受其所苦云。

滿洲里監禁邦人

婦女子等三十八名

安抵馬齊斯柯

二十三日哈爾賓電。小松原大佐二十二日發公電。滿洲里監禁邦人婦女子三十二名。遞內奴爾監禁中六名。計三十八名。二十一日夜。已被釋放。安抵馬齊斯柯。唯川大尉。岩野警備隊長旅行者一名。居留民一名計四名被拘於滿洲里。警備隊依然監禁中。

特別外交委員會

欲使卽開總會

致電於中國代表部

二十四日南京電。特別外交委員會。關於聯盟理事會之日華紛爭問題。決定卽時移於總會之方針。二十三日夜。打電於在壽府之中國代表部。

鼓浪嶼罷市

僅二日間

鼓浪嶼全商店罷市。至二十日。工部局一邊。不容商店一邊提案。工部局參事會員。（多屬外人）。斷然拒絕。以是互相睥睨。二十日夜間。共產黨。亦乘此機。似有何等策動。廈門公安局偵緝隊。急往嶼幸各商店。漸覺開店之不利。自二十一日起。漸見開店云。

伊崎要港參謀

訪軍司令部

馬公要港部參謀伊崎中佐。去二十三日抵北。二十四日。赴軍司令部訪田中參謀。後視察金瓜石。按二十六日。發臺北驛歸澎云。

斗六交通路

工事落札

斗六郡計畫之交通道路擴張事業甚然進步。去十一月二十一日午後一時。在斗六保甲事務所。對于斗六街爲中心之各道路。舉行入札。入札者達四十餘名。然是日僅得落札三件。其他五件。俱超過豫算。是故二十二日午前九時再舉行入札。結果皆得落札。其落札道路金額氏名如左

一、自斗六至石榴班間。金千二百六十圓也　斗六　高橋　竹雄

二、自斗六至湳子坑間。金二百二十七圓五十七錢也　斗六　游　木春

三、自斗六至溪邊厝間。金二百六十四圓五十錢也　斗六　游　木春

四、自斗六至水碓間。金百七十八圓也　大潭　康　傳房

五、自斗六至竹圍子。金二百八十二圓也　朱丹灣　石　翁

六、自斗六至莿桐間。金一百二十二圓也　朱丹灣　石　翁

七、自斗六至斗南間。金二百六十五圓五十錢也　竹圍子　曾　其身

八、自斗六至內林間。金二百九十七圓也　斗六　游　加再

資本逃避防止法

適用滙水買賣

大藏省發命令

二十四日東京電通至急報。大藏省發表。政府鑑於最近滙水情勢。本月二十二日。對於本邦之內外主要滙水銀行。二十四日以後。每日滙水賣買以海外支店之銀行爲對手之間爲替賣買時。其內容須於翌日中。經由日銀。報告於政府。發此命令。右命令乃依昭和七年大藏省令第十二號資本逃避防止法命令之件。第十三條之適用也。

欲知脫退時日本方針

美代表求見松岡代表

二十三日壽府電。軍縮會議美代表。滯在壽府之黎美斯氏。二十三日忽欲會見松岡代表。松岡全權快諾之。二十四日午前十時半將會見。會見內容。

一、聯盟脫退時。日本所當執之道。卽東洋們羅主義。

一、不戰條約及九國條約。與滿洲問題關係。

一、對於理事會經過。美國判斷。

料以此等爲主要部分也。

斗六西螺間之架橋

同街協及莿桐庄協全部

會於街役場舉郡守赴州

斗六郡下交通最頻繁之斗六。至西螺途中。因有臺南州下有數之虎尾大溪。尙未架橋。交通甚然不便。每至雨期。交通杜絕。於斗六虎尾兩郡發展上。甚有障害。是故自數年來。兩郡下之官民。屢次歎願或陳情于當局。州當局亦數次派遣技師。與專門家施行架橋實地測量。然尙未至實現。斗六郡官民覺悟決心。欲使當局來年度之豫算。計上虎尾溪架橋費。去二十三日午後一時斗六街協議會員。及莿桐庄協議會員。齊集于斗六街役場樓上會議室。請斗六郡守川尻庶務課長北島板垣兩囑臨席。滿場一致決議架橋費一部分。歸地方民負擔。並舉倉內郡守爲委員。午後二時。赴州促進。會至午後三時散會。

羅東宜蘭間

濁水假橋

及永久橋工事

羅東郡與宜蘭郡交通上之生命線。卽濁水溪假橋。客月中。被豪雨流失。現依渡船。交通聯絡。而蘭陽自動車會社。去二十一日先著手架自動車橋。豫定來月一日。可得竣功。又濁水組。現起工中之半永久假橋。亦定來年一月中可得竣功云。

羅東郡青年

記念行事

羅東郡聯合青年團。去二十二日値青年團紀念日。是日午後一時。集同郡下男女青年團員代表者六十餘名。在羅東郡役所會議室。舉紀念式。有各街庄長列席。定刻由梅谷郡守爲該青年團長。捧讀令旨並一場訓示。閉式後一同入羅東公會堂。開座談會而女子青年團員。至同四時解散。男子青年團員。是夜在羅東公會堂。開一夜講習會。有梅谷郡守田庶務課長及山下警察課長等之講話。並遊戲體操等。是夜各團員泊在同會場。翌朝開朝起會。參拜羅東神社及社前美化作業然同八時。再開座談會。

第一回米穀統制

調査會總會

二十四日東京電。第一回米穀統制調査會總會。二十四日午前十時。在首相官邸開會。齋藤會長後藤副會長以下六十三委員出席。決定議事規則後。提出諮問案。荷見米穀部長。說明米穀顧問會經過。正午休憩。午後一時再開。續行審議。

諮問案　米穀統制所關方策如何。

（說明）米穀需給之調節。從來依米穀法行之。同法雖改正三次。然內地朝鮮及臺灣之米穀需給情況變化等各般事情。尙須再研究米穀法統制方策。玆乃提出本諮問。以徵求意見。

廣東華商購買日貨

被救國會逮捕慘殺

二十三日廣東電。當地中國商人興發。買日本製魔法瓶十四箱。被抗日會救國會員逮捕。卽日慘殺。司法官及官吏不發一言。袖手傍觀。

時評

○小國望理事會速議。倡召集聯盟總會。可謂善於一籌託生。畢究效力。得有幾何。疑問也。

○以四億萬衆。地廣人稠。偉人濟々。種々歐美式之主義。續出如雨後筍。固宜其屹然獨立。內而副武昌革命後國民之期待。外爲對外宣揚國威。今外而受律致卿等調査團之指摘謂國不成國。如是則諸偉人及國民。咸有其責。與其對外之憤慨。寧先除去國中之共匪。及貪官汙吏乃至奸民之善於搗亂者。爲根本的治病之源。

○今不出此。而欲依顧氏之論辨。及南京之虛僞放送。不免有捨本圖末之譏。

○昔王孫雄答問鼎。呂東萊尚譏其徒恃口舌之雄。彌縫一時。況成效萬不可如王孫雄者耶。

○滿洲國之討匪。成績顯著。而民國諸資本家。有爭欲往而投資消息。地方不寧。則資源無由開發。軍閥攻治。及土匪共匪。幸勿始終以破壞及爭執地盤爲能事也。

○要之民國上下。誠能向國內統一。及地方安寧。傾注全力。乃爲眞愛國。內乾外強。徒致力於以夷制夷。或取遠交近攻政策。恐再蹈宋時對於遼金元之覆轍。冷靜三思何如。

將適用逃避防止法

神戶滙水急騰

二十四日神戶電。美日滙水起三十仙。二十弗七十五仙。當地滙水市場。賣手增加。期近物二十弗二分一賣。二十弗八分五賣。先物二十弗四分一賣。同八分三賣。急起八分三。而資本海外逃避防止法。又有將適用於滙買賣之說。賣手激增。買手高唱。大引期近二十弗八分七賣。買手躊躇。先物二十弗二分一賣買手不申。急遽反騰。

南投業佃協調

促進大綱

依興農致力

南投興農倡和會。自設立以來。經時已久。事業未其普及。客月主事更迭。新任香林文智氏。頗爲努力。就任未幾。成績顯著。玆錄其業佃協調促進大綱及既成事業如左。一、以各支部之創立紀念日。爲業佃參加之勸誘日。當日各支部長以下。暨囑託員總出。分擔區域。各事勸誘。本會亦派員協助。二、年定五回以上。利用青年團集會日。出爲宣傳趣旨。且事勸誘。三、支部長每年二回以上。集合五年以上之公學生。爲課外之講演。俾得普及此趣旨。四、每月一回於夜間招致地主之旣契約者於支部。開業佃協調會。授與愛佃事業之智識。並導其適當之設施。五、本會之愛佃事業。既已施行者。爲草屯李春盛氏。貸耕地百餘甲。及草屯李昌期氏以其佃人二百餘名加入本會。設有個人小作米品評會。採種組合等。又名間吳沛霖氏。近日中亦組成農事奬勵會。按來月中舉發會式。

青山王祭後聞

既報萬華青山王祭典爐主或謂蔡水念氏。或謂張維元氏。莫明誰是。查張維元氏。乃金進興之爐主。而蔡水念氏。卽現年續境所關之爐主。聞所捐緣金不足數百圓。概歸蔡氏個人負擔。同日受賞陣頭新發社。雖屬北管。其中有混南管白字。只啓義社一陣。乃純然北管。雖新製繡旗數十燦行街道。而費卻無多。北管獨啓義社受賞。又金義興石丁園之一切費用。乃陳細因氏個人負擔云。

八結分教場

申請昇格獨立

大溪街八結分教場。現二學級。四年制。該處距內櫃本校。約有二邦里。卒業後入本校就學者少。父兄有鑒及此。擬向學務當局。請增學級。昇爲獨立公校。經選出代表蔡江成氏外數名。月二十四日。至大溪郡。提出申請分教場。昇格爲獨立公校之陳情書云。

託人力車夫

持贓入質

被憲兵捕住

基隆市義重町。紺屋貿店去二十一日晚六時。有一內地人託人力車夫。持錦紗帶。貴金屬。衣類等。數點入質。被通行中之憲兵分隊玉崙伍長發見。卽拘往究問。判明右係滋賀縣人。現住蘇澳庄蘇澳東海岸路別所九。乘組員外木金治。年二十五。去月二十八日。潛入基隆署宗森高等主任宅。竊去其妻衣類等數點。價約三百餘圓。外更潛入內地人宿舍七、八處。現由小林曹長。繼續究問中。又別府九同人居室。有多數贓品。而被害宗森高等主任。去二十二日歸臺云。

臺南州於產業組合

決定實行豫算制

以杜經營當事濫費之弊

臺南州當局。邇來對於州下信用組合。時爲當地監查。而其檢查主眼。置重於經理事務。如事業費之內容與用途。莫不細加研究。蓋綜諸既往。各產組之總收益中。恒以經營事務費。開支過多。以致得利微々。就中如借款與人家存款之利子。此係既定支出。自難節減。然若旅費。交際費。諸事務費等尙多有節約之餘地者。自宜節約。以圖金利之降減如是不特組員。實受其惠則經營上亦不至有浪費之弊。更免組員論難。此際州當局。爲期其徹底。擬令各組合實行豫算制。於經營之先。逐年編成豫算現由當局立案中。不久則將實現云。

中和庄役場

籌開業主懇談

[illegible]中和庄役場。者番爲貸借耕地。並地方增進改良耕種等々。藉徵諸地主意見。以爲參考資料。

疑問死體

付警察醫解剖

臺南州新豐郡歸仁庄歸仁北七二番地賣藥行商謝孽。年四十七。去二十二日午後二時。在高雄市平和町二丁目蔡詩宅中。忽然死亡。因報出。旋後依出所赤松部長。往爲檢視死因有可疑點。取調結果死者二十日。在鳳山郡紅毛港部落賣藥行商中。被該地楊天。毆打下腹部。因是致病。在同庄陳成處療治不癒。二十二日。急乘舢舨。欲歸本居地。至高雄市平和町。竟倒在其知友蔡詩處。死亡。但死因可疑。高雄署。二十三日。受臺南檢察局指揮。同日午後二時。安江司法主任以下各刑事。檢視後由岡根警察醫執刀。解剖死體云。

墜柑樹下負傷

竹東郡新城庄人王阿添。月二十二日下午四時。攀宅前柑樹上。以身重枝折墜落。頭撲大石。流血淚々。現留治中。

拾得難船

却不見乘組員

基隆市八堵子三十六番地吳永新外二名。去二十二日午後三時。乘發動機船出漁于寶斗庄撈洞海上。發見遭難船。乃曳至同地海岸。該船長二十五尺。約十噸。風塗白之發動機船。船名不詳。卻不見有乘組員云。

虛報被劫

冀滯納小作料

新竹郡六家庄斗崙字中崙三四三番地吳阿石。年四十七。去二十三日午前二時二十分。稟報有持臺灣刀與懷中電燈強盜三名。金八十九圓。強劫去。現金手指其他。以是州刑事課乃與郡警察課協力。嚴行取調結果。始知爲欲延納小作料。而作前記之虛報云。

慰問袋特派使

上田本社記者歸北

慰問袋特派使上田本社記者。爲對在北滿曠野。討伐匪賊。艱難苦鬭之在滿皇軍。傳及熱誠。橫溢臺灣全島民之眞意渡滿。對武藤大將。述慰問辭。朗讀河村本社長慰問書。贈呈慰問袋目錄書。完了重大使命。就歸社之途。去二十四日午後四時十五分車抵臺北驛。上田特派使元氣旺盛降車。在驛廊。受州市關係者。及本社員其他出迎。旋在驛前撮影紀念。然後歸社云。

落盤負傷

全治一箇月

基隆郡瑞芳庄瑞芳基隆炭礦瑞芳第一右斜坑々口距離八百五十間地點。去二十四日午前一時。忽有落盤。作業中之同所二百三十五番地坑夫翁財來。年三十五。右肩其他頭部被壓負傷。全治須要一箇月云。

開礎商會

會場茶商公會

商工創設委員

臺北市內商人有志。爲圖中小商工業者救濟。組織臺北商工協會。發起人七十名。於發起人會席上。全部改爲創設委員。去十三日。在臺北茶商公會。開創設委員第一回磋商會各分擔募集會員。並囑陳春金氏。往南部調査貯金部詳細一節。已如前報。茲訂來二十七日午後七時再假公會樓上。開第二回磋商會。促集應募會員數彙報告貯金部狀況。及其他二三議事云。

基隆

新嘗大祭

基隆神社。去二十三日。新嘗祭大祭。自午前八時。嚴肅舉行。官民參拜者甚多。

講演盛況

基隆市郡聯合主催。去二十三日午後四時起。假基隆公會堂。開講演會。聘新日本國防青年

桃園

郡守巡視

桃園新任小松郡守。因未曾巡過地方狀況。定來二十八日。巡迴蘆竹庄役場學校派出所。二十九日大園庄役場學校警察分室。及竹圍學校警察所。三十日桃園街及龜山庄各學校警察所役場。十二月一日。八塊庄下及埔子小檜溪各學校警察所役場。二日塔寮坑牛角坡坪頂各學校警察所。三日坑子中路各警察所學校云。

監查組合

新竹州及桃園郡勸業係。自二十四日起。派勸業係員監查桃園郡下各信用購買販賣組合業務。及調査有無不正行爲。其日程如下。二十五大園。二十六七八桃園。二十九三十埔子。十二月一二日龜山。八九日竹圍。十二三日八塊。十四五南崁。

機械製磚

桃園姚瓦會社。係林本泉氏等所經營。邇來成績大佳。現下再買機械二臺。在裝置將出爲機械製磚。將用職工百名。當此不景氣。失職者多。地方得此亦有小補也。

新竹

流質拍賣

新竹市公設質舖。訂來二十五日午前九時至下午一時。將十月分之流質品。衣服類。時辰鐘。其他雜品等。計四百點。陳列于公會堂拍賣。

保正總會

新竹市保正聯合總會。訂來二十六日上午九時。由警察署召集。開於新竹公會堂。是日限河警部補。首報保甲事務之改績。次提議保甲規約改正議案。附一同討議。及後傳示保甲遵守事項。終由列席保正。吐露意見。及署長訓示。是其豫定。

逆媳宜懲

竹郡貓兒錠庄後面人曾劉江之妻許氏。素對其老姑蔡氏。加以虐待。其夫懦弱。無如之何。反被禁止與老姑言語。其姑罹病。不爲延醫。江不忍。被其妻毆打一場。鄰人聞及此事。皆爲憤慨云。

彰化

高女體育

月二十三日新嘗祭日。彰化高女。開第十回體育運動會。來賓及諸父兄母姉。參觀者千餘名。午前八時半開會。順序如左。一、國旗揭揚。二、優勝杯返納。三、開會之辭。四、運動會歌。五、演技開始。自午前十時至午後四時。競技終了。結果各賽技中一等者如左。走巾跳白鳥スミ。砲丸投江氏金鳳。ボール投リ江氏金鳳。走高跳小田敎子。三段跳林氏月雲。籠球投江氏金鳳。圓盤投平井止。其他省略同時。以優勝杯授與。國旗降納。唱校歌。述閉會之詞。三唱萬歲散會。

陳列好況

月二十二。二十三兩日。在彰化郡會議室內。開臺中刑務所製品陳列。賣上數達七百餘點。就中家具木類。爲最特色。次藤細工品。革製物。其他手工品種々云。

詩壇

秋興

李少菴

紈扇拋殘落葉天。單衣怯冷欲裝棉。
珠簾影掛梧桐月。玉檻香圍橘柚煙。
夕照秋山敲古寺。西風衰柳咽寒蟬。
無端擬續歐公賦。文思慚余欠湧泉。

蝴蝶

粉翼翩々粉彩紋。偎紅倚翠趁蜂群。
雙飛最妬佳人扇。並繡端宜淑女裙。
滕閣遺圖空逝水。漆園剩夢已飄雲。
可憐身爲憐香死。不及落花埋有墳。

頗有似香奩體處。　潤庵漫評

瀛社擊鉢錄

孤雁　七絕六魚

左鶴亭　右笑雲　選

左六右十四　逢初

橫空莫草一行書。穿切形孤入太虛。
弔影獨憐山谷句。天涯萬里恨何如。

左七　振傳

瀟關秋色雁來初。一字空々意不如。
難得客中今夜月。勸君莫歎影孤虛。

右七　子顧

萬里玉門獨送書。佳音捷報到吾廬。
勸君遮莫孤飛恨。楚水吳山樂有餘。

左八右二十　友漁

郊外幾行歸去盡。飛鳴片影甚瘦如。
寒塘獨怕逢矰繳。失伴當空咄々書。

右八　自新

獨回湘浦願難舒。帶淚双飛映碧渠。
遙想深閨公有恨。失群征戍怨何如。

人事

▲李聯榮氏四令郞振甫君。年二十二。與三峽公醫劉纘家氏姪女劉氏碧霞結婚。來二十九日將於鹿港本宅。舉華燭之禮。

英美滙水　廿四日

英美滙水　三弗三五仙一六分九

銀塊行情　廿四日

倫敦現物　一八片八分一
同　先物　一八片一六分三
紐育現物　二六仙六三分
同　先物　二七仙七七分

廿四日

大連現物　一〇五圓三五錢
同　先物　一〇五圓八〇錢

對外滙水

廿四日滙銀關係

倫敦電信買　一志三片
紐育　同　三〇弗八分三
孟買　同　八八留比
新嘉坡　同　一八七圓
爪哇　同　五〇盾四分一
上海（參考）同　金銀一六七兩二分一
漢口（參考）　六三兩二分一
福州　同　一〇八圓
廈門　同　一〇八圓
汕頭　同　一〇八圓
香港　同　一二二圓二分一
廣東　同　一二四圓二分一

摭談

催款修理孔廟

濟南訊。山東曲阜之孔廟。年久失修。頹敗已甚。前月考試院長戴季陶氏。以孔廟關係吾國文化。若不及早修葺。殊非保衞孔廟之道。遂建議國府。撥款興修。國府據呈後。乃明令派撥國幣二十萬元。從事修葺。其中十分之七由各省市政府擔任。十分之三則由國府撥給。前在許多時。不但各省市政府擔任之款。未曾匯到。卽國府擔任之三十萬元。亦延閣未撥。不見人下來。近來繕發。孔聖後裔。衍聖公因孔廟若再延不修理。勢必日漸毀壞。特於日前函電國府省主席。韓復渠轉電國府。迅令財政部撥款。以便按日動工云。

韓信行軍古瓶

浙江浦西云。淮陰北鄉朱家莊農民孫惟旺。在山間鋤耘挖出古瓶一隻。乃取檢視。復得大小古瓶共二十四隻。乃遍示鄉里。但不識。翌日攜二瓶入城。求見此瓶作褐色。呈橢圓形。光彩奪目。瓶身凸凹不平。中有兩字隆起。字係漢篆。識者謂二字曰「確造」。復持之以示某考古家。據云。瓶中二字。確係「確造」。並斷此瓶又名確瓶。乃淮陰侯韓信行軍時軍士挑以貯水米。以西漢初時。軍中用具。係確何疑。此瓶在清末時。亦曾發現一次。現已不知流於何地云。

漢文臺日案內

藥種商
李金燦參莊
電話九八六

洋服
服地と羅紗地達城
良品廉價　大和町二　電三五四五

在庫一掃大賣出
來廿四、五日、於松本商行三階

臺灣日日新報 夕刊
十一月二十四日
夕刊定價一部貳錢
[illegible]
東京支局 大阪支局 [illegible]

審議の大勢を決する 聯盟理事會の第二日

松岡代表はノートなしで 顧の演説を堂々反駁

【ゼネバ二十三日發電通】日支問題審議の大勢を決すべき第二次公開理事會は二十三日午後三時四十六分（臺灣時間二十三日午後十時四十六分）緊張の裡に開會された、傍聽者は三十分前からぎつしり詰かけ松岡帝國代表は長岡代表、澤田帝國事務局長を後ろに控へ著席、悠々たる態度で葉卷を燻らし各國理事が近づく毎に微笑をもつて握手する、顧支那代表は心持疲れた面持ち、後ろの參考出席者にはリツトン卿以下調査委員五名著席外交團傍聽席には佐藤大使及びアメリカのウイルソン公使以下多數傍聽してゐる、デヴアレラ議長開會を宣し直ちに松岡代表の演説に入る、議長に麾かれた松岡代表はやをら起ち上つてノートなしに演説を始めた

松岡代表演説

支那は僞造文書で 諸外人を欺かんとす

ボイコットの運動は 假面を被る戰爭行爲

【ゼネバ二十三日發電通】理事會にノートなしでなされた松岡代表の演説大要は左の如し

余は過日の理事會に於て支那代表顧維鈞氏がなしたる演説中の [illegible] 二三點に關し簡單に論駁を試みんとするものである、唯前に一寸顧代表の演説に就て述べたいのは [illegible] 唯斯は支那代表の所說の牽强附會の一證左として指摘せんとするものである、斯くの如き曲說は從來の支那側のステートメント中に見受けられた所である、顧代表は日本が全支那を占領せんとする企圖を有すと言はれたが斯くの如きは全く根據なき誣說である、日本の行動は既に屢次聲明せし如く不戰條約の條項に違反するものでなく余は日本は何等領土擴張の野望を有せざることを聲明せんとするものである、顧代表は豐臣秀吉の話を持出したが [illegible] 日本人は覇氣ある國民で過去二十六世紀間に領土擴張の機會を有しながら敢て之を行はなかつたのは日本が平和を愛好する國民たるを證する

ものて我々日本人は他から何物も取ることを潔しとしないものである、次に所謂田中首相の上奏文なるものは支那代表の誣ふる如く首相に於て陛下に上奏せること絕對にない、その全部が虛構の事實て我等は眞面目に否定しやうとさへ思はない、[illegible] 即ち千九百二十年當時の支那外交部長は

この僞造文書の流布を許さずと約束したに拘らず、顧代表は同上奏文の眞實性は疑問の餘地なしと放言したが斯は明らかに支那人の言行不一致である、[illegible]

議長閣下、閣下は以上に依り支那の或る人士が僞造文書を以て諸外人を欺くを勸奬せるを諒承されたであらう、[illegible] 斯は假面を被れる戰爭行爲で軍事的戰爭に劣らぬ惡事である [illegible]

認めるとせば重大問題である、アメリカ政府が曾つてボイコットに對し執つた態度を知るたら理事會に有益なる參考とならう、余は上海領事在職當時米人がボイコットを如何に解釋したるかを親しく知つてゐる、米人はボイコットを彼等の通商權に對する恐喝乃至陰謀の非合法的形式なりと解釋し斯かる行動を終熄せしむるの必要から海軍を二十四時間內に出動せしめボイコット運動を阻止したのである

閣下、之より强硬なる行動あり [illegible] 支那のボイコットは日本の軍事行動に對する報復として行はれたるものにあらず [illegible] 顧代表は支那に於て在留外人を排斥せる [illegible] 余は歷史に照し諸君の賢明なる判斷に委ねたい [illegible] 支那人の排外主義が支那の根抵に存するを申上ぐるに留める [illegible] 若し之が繼續されるれば [illegible] 世界的影響を招來すべきを恐れる、是こそ聯盟として當然研究すべき問題である [illegible] しやう今こそその危險に處する適當なる時期である支那にして之を改めねば支那は自滅するであらう

松岡代表は茲に於て再び田中首相の上奏文問題に返り [illegible] この問題は頗る重大である [illegible]

るを信ずる、支那は結果を顧慮せず他國民に重大非難を加へてゐる、然し虛構の言說も繰返せば之を信ずるに至るものである [illegible] 日本の方針は支那の秩序回復を援助するにあるが支那はこの希望を諒解しなかつた

余は繰返して云ふ日本は如何なる條約にも違反せず條約違反の責を負ふべきは支那である——[illegible] 若し日本が [illegible] 滿洲問題の如き起らなかつた [illegible]

たであらう、支那は滿洲の返還 [illegible] 諸君は極東の錯綜せる事態に對し愼重なる態度を執らねばならぬ [illegible]

斯くて松岡代表の演說は二時間四十分を費し午後五時五十分（臺灣時間二十四日午前零時五十分）終つた、松岡代表は最後の部分を英語より佛語に通譯されつゝある時席を去り澤田事務局長が代つて席に著く、通譯終るやデヴアレラ議長は顧支那代表に發言を許し、顧代表は立上つて演說す

小國早くも 痺を切らす

理事會今後の發言者 日支代表のみか

【ゼネバ二十三日發電通】小國側は理事會を速かに打切り卽時總會の召集を希望し理事會に漸く痺れを切らした模樣で今後理事會に於ける只管問題を總會に移さん事を主張するに決してゐる模樣である、而して理事會では今後日支代表の外發言者なしと見らる

に廻り會議したが、各國の意見は明瞭となつた結果次回の選擧卽ち總會に移す既定方針を變更せぬ事に意見の一致を見その上でのドラモンド總長の手續きに付きサイモン外相がドラモンド總長に相談を持ちかけたものと解さる

英外相と ド氏會見

【ゼネバ二十三日發電通】二十三日朝イギリス代表サイモン外相及びドラモンド事務總長は一時間 [illegible]

わが辯駁書の 提出を取止め

【ゼネバ二十三日發電通】我が代表部は二十一日の理事會に於ける顧維鈞支那代表の爲した演說に對し二十七頁の辯駁書を二十三日午前十時半脫稿したが顧代表の演說內容 [illegible]

上奏文の捏造は 支那人でなく日本人

顧支那代表の演說

顧支那代表の演說左の如し

余は松岡代表の議論の內一、二點然も支那代表として答辯し置かねばならぬ點を論ずるに止めやう、松岡代表は日本の平和的意圖を繰返し述べたが臺灣、朝鮮、滿洲、蒙古東に熱河地域は果して何人の手中にありや、事實は言葉より重要である、若し田中元首相の上奏文を捏造したものとすれば捏造したものは支那人にあらず日本人である、何となればそれは餘りに日本の政策を知つてゐるからである、若し日本が支那のボイコットを戰爭的なりと呼ぶなら滿洲における日本の行動を如何なる言辭を以て呼ぶべきか、松岡代表は日本が支那の再建を援助せんと努力し來たと言ふが上海を侵略し滿洲を占據し多くの支那人を殺戮せるを以て援助とするなら斯る援助を好まざる理由を諒解されるであらう

今後曲折はあらうが 我等は何等恐れぬ

散會後に松岡代表語る

【ゼネバ二十三日發電通】本日の理事會散會後松岡代表は語る

自分は討論會に出席する限りは何處までも討論するつもりだ [illegible] 無責任な言論に對し一々辯駁して行く [illegible] この問題を支那代表と論議せんとしたものではなく單に顧維鈞氏がありもせぬことを言ひ出してゐることを確信を述べただけである、リツトン卿に報告書の內容を要求するか否や今理事會が [illegible]

留保の [illegible] 後で顧支那代表が支那は調査團に感謝し居り [illegible]

る形で言つたのはよいが之は第一に調査委員一人だけでなく調査團全部の一致せる意見でなくてはならぬ、第二に調査團の使命は報告書を提出した時に終つた筈で後から意見を述べる資格はない筈である、この點に就て明確に留保して置いたことを確かにして置く必要を感ずる、之に對しデヴアレラ議長の意向はまだはつきりと判らなかつたが理事會が今後この問題に就て何等かの手段を執る場合には右留保に就き明確なる解決を求める積りである [illegible] 今後曲折紆餘々の變化が起るであらうが大和民族の確然一體の精神の前には何等恐るべきものなきことを確信しつつ有ゆる努力を致す積りである、國民諸君に於て長い眼で見て居て頂きたい

調査團の會合決定

報告書訂正か否か決定で

次で松岡代表は顧支那代表に駁論に答へた後顧代表に對し上奏文の眞實性を證明せん事を求めたがデヴアレラ議長この時リツトン卿を顧問に招き發言を促すと共に若し調査團に於て報告書に追加すべき事、又は日本及び支那代表の意見に對し言はれたき事あらば直ちに調査團員會合の上之を決定されたいと述ぶ、この時

松岡代表 は若し調査團員が全團としての意見を出さるるなら日本は之に同意するが調査團の仕事は [illegible] 報告書の提出せる時を以て終つて居るものと信ずる故に調査團として [illegible] スアートメント [illegible]

に對しその意見を開陳するの資格はない

と述ぶ、之に對しデヴアレラ議長は松岡代表の反對理由を否認し顧支那代表は議長の說に贊成を述べた、從つて松岡代表は再び本件の決定には留保を附する、而して日本代表は飽くまで調査團が理事會に於てその意見を開陳する權限なしとの意見を固持し述べて置く

と述べ、次で

議長 は 余の提議は調査團の會合を欲するや否やを決定するため調査團の會合を促さんとするものなる事を [illegible]

松岡代表 この事を [illegible]

と述べ日本代表の意見を保留 [illegible] 給ふ日本代表の反對する所である

この時リツトン卿發言し余は調査團は報告書を訂正するや否やを決するために委員會を開く權限があるトメントに對し見方の若干の講補のステー [illegible] 挾む權限ない

斯くて理事會は日本代表の留保の下にデヴアレラ議長の提議を採擇した、斯くて第二次理事會は午後七時十分（臺灣時間二十四日午前零時十分）散會 [illegible]

フ氏の會見申込み ル氏が拒絕

【ニユーヨーク二十三日發電通】フーバー大統領は戰債問題に付き過日ルーズヴエルト次期大統領と會談した後二回目の會見を申込んだがル氏はこれを拒否した

に付きては列國議會間に紛糾なること豫想しつつあるに鑑み日本側は必要あるまで辯駁書提出せず默殺態度を執ることとなつた

協力內閣組織 ヒ氏拒絕か

【ベルリン二十二日發電通】ヒンデンブルグ大統領より協力內閣組織を受諾するや否やの回答を求められた國粹社會黨黨首ヒトラー氏は二十三日午後までに回答すまいと見らるるがナチスの意向は協力內閣組織はナチスに執り不可能であり又現在の政局の行詰りを打開する所以でないとて協力內閣組織を拒否するものと諒解さる

平塚長官 今夜南下

平塚長官は豫定の如く二十四日午後十時三十分臺北發澎湖島の巡視に向かふが歸北は二十八日午前六時十九分の豫定の由

伊崎中佐來北

馬公要港部參謀伊崎中佐は二十三日來北、二十四日朝軍司令部に田中參謀を訪ふたが金瓜石を視察の上二十六日臺北發歸部すると

臺南での 時局講演

盛況を呈す

【臺南電話】臺南の時局講演會は二十三日午後六時半から公會堂で開催されたが定刻前より會場は聽衆者を以つて埋めるの盛況を呈した、定刻宮地臺南新報社長の開會の挨拶について奧村少佐の「上海問題について」安藤中佐の「北滿の近況」佐藤教授の「リツトン報告書の功罪を論ず」浦大佐の「支那事情とリツトン報告」等何れも熱辯を揮ひ滿場の聽衆者に手に汗を握らしめ宮本臺南新報副社長の閉會の辭あり十時散會した

交代歸還兵へ 記念品を贈呈

【馬公廿三日發電】本田廳長、三浦街長は去日地方官民とともに今回交代歸還する重砲兵大隊將兵百三十餘名以上の送別會を催したるは既報の通りであるが一方樂觀員に對して夫々記念品を贈呈する所があつた

神戶爲替急騰

【神戶二十四日發電通】米月爲替の暴騰、市場は [illegible] 三十仙高の二十弗七十五仙を入れ十弗一二分一 [illegible] 先物二十弗八分一 [illegible] と八分三分急騰して [illegible] 海外爲替防止法を [illegible] 用するとの說に [illegible]

紐育市況

株、爲替 【ニユーヨーク二十三日發電通】二十三日の株式市場はフーバー大統領ルーズベルト氏間の戰債協議が不調に終つた爲の賣物勝ち相場は約三週間の新安値となつたがフーバー大統領の戰債支拂延期拒絕聲明が出た後は各株を見せ稍々盛返した、爲替市場は延期拒絕確定に弗は三弗二十五仙十六分の九と今年初めての新安値、スチール二弗安の三十三弗二分の一、アナコンダ四分の一安の九弗丁度

△二十四日は休會 二十四日は感謝祭で各市場とも休會

米棉 株安その他で米棉は低落引値は十五乃至十七ポイント（邦貨換算平均一圓）安

米日爲替 米日爲替は三十仙高の二十弗七十五仙と暴騰

その日その日

○ガツチリ四つに組んだ大角力だ、而も負けると命に關する必死的の角力、水も入れられない

○この決死的緊張の空氣を緩和し聯盟の彼局を救ひ得るものは唯だ「滿洲國承認」あるのみ

○日佛同盟說を蒸返し騷がれたつて構はぬではないか、フランスなら浮名を立てられても惡くない

○米國はモンロー主義で、歐洲は國際聯盟で、東洋は東洋聯盟で行からではないか——は名案

○地理と人種との關係から言つても結局その邊が落ちやらしいぞ

○蘇聯又は密に自らをも救ひ得ぬらしい、孤立不敗の見本

○政友會よ、無理で强いのはよいが策動はよすが宜い、寧ろ不ためではないか。悲いほど擬

人事

▲武知美與子女史（婦選獲得同盟員）この程ヶ臨で來着、臺北市大正町一の四六坂口方に滯在

▲星野爾三氏（京城大學病院長）廿四日花蓮港より來北（鐵道ホテル）二十五日內地へ

▲ジヤパンツーリスト主催觀光團一行十四名二十四日花蓮港より來北（鐵道ホテル）二十五日內地へ

◇—無絃琴—◇

堀康次郎代議士といへば今は時めく拓務政務次官閣下だが、この人柔道三段の腕抜がある、日本柔道界選手大會などにも時々名をみるが、何時も名だけで試合に出ず、仲間からヒヤかされてゐたものらしいが今度といふ今度は金ピカ服を着てして満場を向へて奮闘する勇姿に變り [illegible] よいが、一分四十秒で偉くの弱さ平田四段に押へられてしまつた▲然し負けても政務次官代表に推されたくらんだから [illegible] といふものだ▲この政務次官の外に政務官、第一議員のあるのは岡田の宮川、代議士、大川本年度の武内田良平氏等、他に代議士

火の鳥

(247)

加能作次郎作
石塚連畫
（石塚君畫題）

邂逅（一〇）

「何時？」

虎夫は立て續けに尋ねた。

「確か、二ケ月程前に。」

綾子の答は簡單だつた。

「へえ、さうですか。」

虎夫は別に言ふことも知らなかつた。その理由を尋ねることなどはもとより、それをば綾子の爲に悲しんでいいのか喜んでいいのかも分らなかつた。

「驚いた？」

「ええ、一寸。何と言つていいか……」

「ですが、それはもう最初から分つてゐたことですの。私が日本へ歸つた時から——」

「ではあなたはその積りで……？」

「いいえ、私は決してそんな積りで歸つて來たんぢやありませんけれど、新城の方では、明かにさう

「で、あなたは承諾なすつたんですか？」

「承諾するもしないもありませんわ。もうお前とは夫婦になつてるのが嫌だから別れようと言はれれば、私として、どうして見ようもないぢやありませんか。」

綾子は實に簡單に、事もなげに言つた。

「所詮二人の愛の問題ですもの。」

「……？」

虎夫は驚いて綾子を見つめた。

（ではあなたも、新城君には愛を感じて居ないんですか？）

からその眼が尋ねて居た。「二人の愛の問題だなどといつて、けろつと澄まして居られるところを見ると、たしかにさうと推察するの外はなかつた。結婚問題や夫婦生活に關して、如何に自由な思想を抱いてゐる者でも、形に一方のみ

の愛の消失だけで、さう簡單に無雜作に、長年の夫婦關係が斷たれるものではあるまい。さう虎夫に考へられるのであつた。

するで綾子はそれを否定するやうに言ひ續けた。

「それにもうお互ひに、生理的にも行詰まつて居たんですからね。それが私も、あつさり諦めて了つたんですの。」

「さうですか。」と虎夫は大きな溜息を洩らして「僕はそれについて何と言つていいか分りませんが……」

「そりやね秋山さん、如何に私みたいな不評の者でも、長年連れ添うて來た新城だと思ふと、流石に無闇に、悲しいやうな氣持がないでもなかつたわよ。けれども、結局やはりその方が、新城の爲にも幸福なんだと思つたもんだから……ただねまり子のことを考へると……」

綾子はそこで急に聲を曇らしながら、眼切でもしたやうに、若しさうに兩手で胸を押へた。

いと思つたんですの。許せば私が日本へ歸るのをいい幸ひに思つたやうなわけなんですの。それはあなたにも、略想像がつくでせう？」

綾子はさう言つて、虎夫の顏を揆合から覗き込んだ。

「……」

虎夫はうつむいたまま默つてゐた。何かしら、彼自身がその事件に重大な役割を演じてゐるのだ、と感じさせる位彼の爲にさうなつたのだ、と飜刺されたやうな氣がして、一寸顏も上げにくかつた。綾子の歸朝が彼の後を追つてであつたかのやうに、新城自身にも解されてゐるらしく思はれたからだつた。

やややあつて、彼は恐る〳〵のやうに尋ねて見た。

「御離婚なさつたんですか、あなたは」

「どう思ひなんです？」

「どう思つて？」

綾子は暫時の沈黙か分らかねるやうに聞き返した。

「……」

「ええ、その通りです」

愛兒のために ぜひこの附錄をお備へ下さい

子供の病氣一切の豫防法手當法

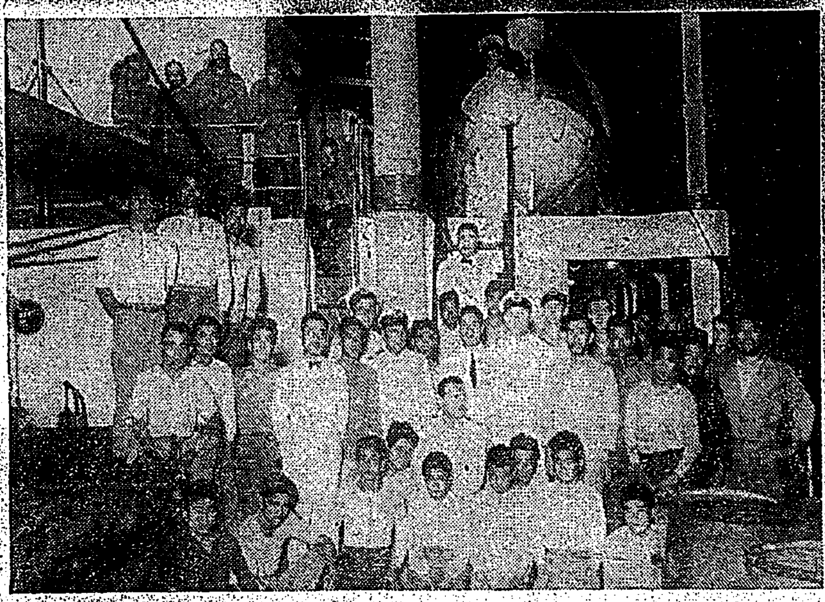
小兒科の權威 三大博士監修
醫學博士 竹內薰兵先生
醫學博士 內村良二先生
醫學博士 小田正曉先生

●腹痛を起す病氣
●浮腫を起す病氣
●麻痺を起す病氣
●痙攣を起す病氣
●下痢を起す病氣
●嘔吐を起す病氣
●不具になる病氣
●發疹を起す病氣
●咳を起す病氣
●口、耳、眼、鼻の病氣
●身長の伸びぬ病氣
●急に死ぬ病氣

等々、愛するお子樣方のためぜひ御備へ下さい

これが婦人俱樂部二月號 第一附錄（題名）です どこ迄も親切な本當に爲めになるよい本です
第二別冊附錄は 日常家庭料理講習 [illegible]
附錄と三册で五十錢 ぜひ御早く [illegible]

新王丸の救助



上、フリデルン號事務長スタイン氏の撮影した發見當時の新王丸（右側はフ號の船尾）下、フ號甲板の記念撮影 中央無帽の士官がエンゲルス船長、その左に立つ士官がバルテルス一等運轉手、その次が五味新王丸船長、次に杉山書記生

漁船新王丸の救助前後

颱風で遭難の漁船を危險を冒しつつ救助

乘組員二十四名の命の恩人

海の勇者—獨汽船フリデルン號

【マニラ通信員特派（一）】去る十月廿三日基隆高雄港を出帆して支那海南方、比律賓群島西方に位するパーセル・リーフ方面の海面に高瀬貝及び海草採取に赴いた西洋型發動機船新王丸（總噸數廿一トン四二、船長五味俊平外乘組員廿三名）は廿四日午後四時高雄を距（西方九十九哩の海上で豪雨を伴ふ颱風に遭遇し、萬一の危險を感じた五味船長は船首を東に向けて基隆に歸航を急ぐ中、山をなす怒濤のため舵を折り、左舷・船尾「蚤取り」及び機關油、水タンクを破壞又は破損され航行にさへ不便を感じたが夜に入つては汽走を止めて船首又は船尾よりシー・アンカーを曳航して漂流し日中は

油と水の　あらん限り

帆走したが、激浪のため帆綱は二回に亙つて切斷され、破壞されてしまひタンクは二十六日を限り汽走を不可能とした、不撓不屈の船員は寢臺等を以て帆を作り、船もろ共高雄に向はんと帆走し續ける傍ら、破損個所から入る海水の排除も晝夜兼行で努力を行つたが、船は天候の變らぬ二十七日に今は命の綱である帆及び帆柱を荒れ狂ふ颱風に吹き折られ、茲に萬事休すの有樣とはなつた、不幸は之のみに止まらない、淡水タンクを二十四日に早くも破壞された新王丸は二十六日に汽走を停止するの止む無きに至り、二十七日夜には飲むに一滴の眞水さへ無いまでに陥つて困たのである、足掛け四日の其の間狂暴な大自然に抵抗し、人事の限りを盡して生を爭つた新王丸の乘組員が此の日口にし得たものは僅か一椀宛のお粥だけだつた未だ用ふるに足る米も味噌も醤油もあつたが破れたタンクの底には錆、釜も失つた後の船尻で炊くに足る淡水しか殘留して居なかつた

「最期だ、覺悟しろ」との恐怖すべき絶望感は期せずして一同の腦裡に閃いた——絶食の日は翌二十八日から開始されて十一月の二日まで滿五日間續いたが

涙は依然　高く海水は

益々烈しい隙に勞作は一刻と靜へども休むを許されない、疲勞と眠慾と絶望の五日は過ぎた、十一月二日午前九時、南へ南へとあてども無く漂流して居た新王丸の前方を東へ向けて航行する一汽船の影を認めた一同は狂喜りして狂喜した、全員甲板へ！日の丸の旗と赤旗を振り廻して救助を叫んだ甲斐あつて該汽船は一時間の後は救助の位置に到着したのである、荒天は拭ふが如く晴れてはゐたが波頭はビールの泡の樣に白く嚙み碎け到底ボートは降せるコンディションでない、それと知つた新王丸の一乘組員は五日間の空腹と死の樣な疲勞を物ともせず綱を銜んで激浪中に躍り込んで大膽にも救助船に連絡をつけ、作業實に四時間の後午後二時全乘組二十四名及び若干の食糧及び身廻り品の本船移乘に成功した

「最後に私が新王丸を去つた時には船底の浸水三尺に及び船體は著しく左舷に傾斜して居りました」とは五味船長の追憶である、一週間に亙る漂流中全力を傾けて東向したにも拘らず新王丸の發見救助された位置は思つたより南の方で東經百十五度五十二分、北緯十九度四十分香港を距（南々東百八十マイルの海上であつた

『難破船を救ふのは海員相互の義務』

エンゲルス船長の謙遜に

邦人漁夫一同の感激

此の日、十一月二日、我がマニラ總領事館には發動機船新王丸の代理店から數本の至急電を受取つた曰く比島東海岸沖を通過してニューギニヤに赴く北獨逸ロイド會社所屬汽船フリデルン號より香港ドイツ領事館宛の報告に依れば同號は香港沖に漂流中の日本漁船スン、ウォン、ユアン號乘組員二十四名を無事救助して航海中、貨物より同號と無線を以て交渉の上、遭難邦人を比島內の便宜の地に下船取計はれたしマニラ總領事館では直ちに同號と無線交換の結果、同號は豫定のスケジュールを變更し三日夜十一時半マニラ港外に到着し、出迎の汽艇に二十四邦人を引渡しの上出港する手筈となつたが、スピード・アップしたフリデルン號は三日夕六時には早くもマニラ港防波堤外に假投錨し出迎への杉山書記生に

無事引渡　して同十時半再び港外に姿を消して行つた。

フリデルン號は香港—ニューギニヤ航路の半客船で船長エンゲルス氏以下ドイツ人船員十二名、東洋人船員四十二名、外に旅客十二名を搭載して居たが、救助に當つて示した勇氣と好意及び救助後の親切を極めた待遇は眞に海員の模範とするに足るものであり、杉山書記生及び本社通信員の感謝の辭に對しても謙遜な態度と流暢な

英語を以て　エンゲルス船長は左の如く答へた

『難破船を救ふ爲めに全力を盡すのは海員相互の義務である、それが感謝を以て酬いられるとすれば我々の滿足は蓋し望外と云はねばならぬ、若し我々と邦人とが言語不通で無かつたなら充分なお世話も出來たらうに……』

エ船長外高級船員一同は感激の涙を以て去り行く邦人漁夫一人々々に握手と笑顔を交しつつ舷梯まで見送り、邦人等は帽子を高く打ち振りつつ「ボン・ボヤージュ」を絶叫して世にも美しい日獨親善の實を結んで別れを惜んだ（十一月四日）

救助された漁夫の氏名

新王丸の船主は基隆市大正町六三號陳勇、チャーター主は鹿兒島縣人田中米吉、一行の氏名左の如し 船長五味俊平（四〇）機關士石且信英（三三）油差、田石三郎（二〇）永夫山田只太郎（二〇）川瀬三郎（三〇）盛原弘（二九）內原榮吉（二五）（一行中の最年少者）荷川取加那（三五）荷川取山（三〇）川瀬眞津呂（三三）名加眞武佐（三三）洲（又は淵）錢眷信（三〇）桓花德一郎（二三）知念宇戸（三〇）下里榮次郎（？）川端松（三五）吉岡厚吉（三〇）知念浦戸（三三）外間松（一七）長崎浦戸（一九）島山勇太郎（三三）池間浦（三〇）渡具次宮榮（二一）チャーター主田中米吉（三九）以上二十四名

因みに一行は四日朝檢疫を濟ませて市內の邦人旅館に引取られ七日マニラ發の大阪商船シカゴ丸で基隆又は高雄に保護送還の手筈である

滿洲里監禁邦人婦女子等三十八名

マッエフスカヤに到著

【ハルビン二十三日發電通】小松原大佐二十二日發公電 滿洲里監禁邦人婦女子三十二名ジャライノール監禁中の六名計三十八名は二十一日夜マッエフスカヤに無事到着釋放さる、塚田大尉、丹野警備隊長、旅行者一名、居留民一名計四名は滿洲里に拘留中、警備隊は依然監禁中

自稱馬占山が命からぐ逃出す

わが軍の空爆で

【チチハル二十三日發電通】馬占山と自稱する人物は去る六日滿江南方布氣にて我軍の空爆に遭ひ命からぐ逃げ出し十五日布哈圖で蘇炳文に會つたと

匪賊が歸順

相ついで　蘇炳文も軟化

【ハルビン二十三日發電通】匪賊頭目郭再新は二十一日部下を率ゐて歸順を申出た兵匪巨頭の歸順相次ぎ蘇炳文も結局軟化すべしと見らる

尼崎汽船に罷業起る

北九州在泊船で

【門司二十三日發電通】尼ヶ崎汽船に對する海員組合待遇改善要求に端を發し門松入港中の同社琰花丸、第一太湖丸、下關の玉榮丸、船河丸等の乘組員は本部指令に從ひ各支部と連絡し二十二日午後六時の出帆命令と共に罷業に入り二十三日午後二時罷業に入つた、一方海員組合門司支部は右決議と共に九州各港の乘組員統制のため門司に統制本部を設け對抗のこととなり北九州各地より應援を求め會社側も監視員を派す等形勢險惡化し關門兩水上署は警戒してゐる

コロンスの罷市

タッタ二日間

共產黨も一時は策動

【廈門本社特信二十一日發】鼓浪嶼の全商店ストライキ（罷市）は二十日になるも工部局側で商店側の提案を容れず、工部局參事會員（多くは外人）も斷然拒絶の態度を執つたので睨み合ひとなり、二十日夜間は共產黨員が此の機に乘じて何事か策動し居る模樣もあつたので、廈門から公安局偵緝隊も來嶼、工部局に應援する等不祥事發生の懸念あらしめたが幸ひに間もなく、各商店も門戶の不利を覺つて二十一日からウヤムヤの裡に開店した（二十一日）

東洋の空を翔け廻る

XGOA—南京放送局の正體

國民黨が宣傳用として設置

十一月十二日から正式に開始

（廈門本社通信員二十日發）XGOA、魔物が東洋の空を翔け廻る。XGOAとは中國國民黨が宣傳用として、中央常務委員會第二十八次會議の決議に依り南京に建設されたラヂオ放送局のコールネームであるのだ、波長四百四十米、電力七十五キロワットで、同放送が東はハワイ、西は全西藏、南は南洋諸群島、北は外蒙古シベリアに達する東亞第一のラヂオ放送局と稱するだけあつて、其の力は臺灣や內地で

魔物扱　にされる程だけに却々強力、對岸地方では、從來[illegible]にして[illegible]北放送局の分は[illegible]、辛うじて[illegible]放送局の[illegible]いて居るが、それより[illegible]すれば恐され勝ちである。八月頃から試驗放送を行ひ十一月十二日正式に開始されたのであるが、既に日午前八時から放送、其の放送種目は「朝の御挨拶」や「ラヂオ體操」等はなく、初頭からニュース一時間、常識講座、國際情勢の[illegible]があつて全國氣象上海の市況、正午の時報等日本と同じく、午後は民衆教育（日本語の講義が一週間に一回ある）夜に支那、西洋音樂を主とすることも日本と同じで、十時に終ることになつてゐる（時間は臺灣時間と殆ど同じ）あるので、ニュースには最も力を入れて居る代りに演藝は土曜日を除けば大概レコード放送である。ニュース放送の時間は、毎晩一時間宛夕の六時に三十五分乃至一時間半位、それに英語のニュースが二十分、日本語のニュースが二十分ある。此のニュースの

放送た　るや日本のそれとは全然異なり、日本の全民衆的なのに比し、之れは全く地方新聞社用なので南京で發行される新聞の朝刊、夕刊の主なる記事をソックリ放送し加之評記に都合よいやうに二三回繰返へ字數文字の[illegible]き方等も說明して與る。だから地方新聞はラヂオのセット一臺を買つて置けば全く電報料不要で新聞が出來る譯で大喜びである、目下に「東北義勇軍」の[illegible]報が大部分、國聯関係や國民軍では[illegible]と報道される、此[illegible]多少の影響はあると思ふ、日本語のニュースも勿論逆宣傳多く、例の婦人アナウンサーで、日本人ともいはれ支那人ともいはれて居るが、更に角流暢な日本語、しかも女教員口調で抑揚も宜しく『滿洲國とかの外交部長などと言つてゐる濫介石が……』とか日本政府の人々よ、早く反省して……とか頁色い

氣焰は　惡る可からずである、毎晩六時半から二十分となつてゐるから、五球のセットなら臺北でも聽えるであらう（尤も支那のことであるから、日本の樣に時間は正確でなく十分や十五分の遲速は免れぬことを豫め知顯ひたい）前にも言つたやうに、此の放送の目的が大部分地方新聞や黨部、官衙用なのであるから、而して古いニュースやレコード放送が主となつて居る所から、上海邊の新聞は演奏の番組等は一行も掲載しない、日本の樣にラヂオ欄など夢にもない、唯蔣介石系の新聞『晨報』に每週一回一週分の演奏種目が廣告欄に掲載されてあるばかりで

支那の　ラヂオは目下の所民衆的のものでない、殊におかしい事には、一般民衆はラヂオの聽取者は國民政府の許可がなければ出來ない事になつてゐる、だから愛讀から知らずにセットを持込まうとして、支那稅關から沒收の憂目に遭つた人は幾らもある、しかも一旦持込めば、高いアンテナを張らうが、大々的に擴聲しやうが何處から何の苦情もなくお役所から何等のお叱りも受けない所は倘く支那式である、此の許可制が無くなれば日本のラヂオ界は支那に大なる販路を見出すであらう

陸軍下級將校

來年度から補充

【東京二十四日發電通】陸軍では滿洲事變以來下級將校の不足を告げてゐたが今次の事變で不足益々を高めて補充の必要に迫られ、來年度より幼年學校、士官學校豫科の兩校を通じ百五十名の增員を決したが將校となるには、五年を要するのでそれまでの急場しのぎとして從來の制に依り一年志願の在鄉將校を一時的に現役に採用不足の一部を補充することになつた

劍道爭霸戰

榮譽の日本刀

山下氏が獲得

臺北劍道同志會主催第三回劍道試合は二十三日午前八時半から臺北市武德殿で舉行された、出場者數十五を數へ、當日は清水教士の來臨があつて劍士も皆緊張し決死の勇を鼓して日頃練磨の腕を振つたが、個人では南署の山下氏、團體では練習所の弘武隊が優勝し、榮譽の日本刀は個人優勝の山下氏に授與され、次日賞は山下以下十五氏に贈られ、午後五時盛會裡に散會した

二木博士女子學院で講演

臺北女子高等學院では二十九日午後二時より臺北在住の名流夫人二百名を同校講堂に招待し來臺中の玄米一食主義の提唱者二木東大教授の講演會を開催する

東本願寺で報恩講

市內壽町の東本願寺別院では[illegible]聖人の報恩講を二十四日夜より二十八日まで行ふ由

新竹で庭球爭霸戰

二十七日開催

【新竹電話】新竹體協支部主催秋季庭球爭霸戰は二十七日午前八時半から公學校グラウンドにて舉行さるべく二十四日抽籤の結果A組新竹郡、苗栗、軍隊B組中學校、竹東、新竹市C組竹南、中壢、同好團の組合せとなつた

落盤で重傷

【基隆電話】二十四日午前一時頃基隆郡瑞芳庄[illegible]瑞芳第一石炭坑坑口より八百五十間の點で採炭の爲作業中であつた同所二三五坑夫[illegible]は右膝頭骨下端その他頭部に治療一ヶ月を要する重傷を負つた

商況（廿四日）

米況

正米市場

	公定相場	出來高
蓬萊 先中當	[illegible]	[illegible]
丸糯 廿五日限	七、二八	[illegible]
三十日限	七、三九	[illegible]
五日限	七、三三	[illegible]
十日限	七、九五	[illegible]
十五日限	八、〇〇	[illegible]
二十日限	八、〇〇	[illegible]
總出來高	[illegible]	[illegible]

正米市況

[illegible]

三期米

	三四	三五
二期丸糯米		
七、九五	九四 九五 九六	
十一月二十五日限	八、〇〇	十一月三十日限 不申
十二月五日限	八、〇八	十二月十日限 八、〇八
十二月十日限	八、〇九	
十二月十五日限	八、一〇	八、一〇
十二月二十日限	不申	不申
一月五日限	不申	八、一〇

休日明け株式安に期米下押を入れ場外は安氣配であつたが農家の賣惜しみに底意手堅く立會へば臺灣當限四円高、中限六円高、先限二円高を告げ丸糯は二十五日限の納會にて買方加勢の一部利喰に頭重く七四九四錢あつて七四九六錢と打止め高納會となり受渡高は一萬一千袋を能せられ受方は大部分加勢である、五月限は三丁高、十日限五丁高、十五日限九丁高、出來高當限十車、中限八車、先限六車、丸糯二十五日限三十八車、五日限七車、十日限十四車、十五日限七車、二十日限一車、引跡丸糯気配強く十日限八円一五錢唱、因に二十三、四兩日共臺到着米四九七車、丸糯在庫六萬五千六百十六袋と更に一層增加す

大阪期米

▲前場

節	當	中	先
一	二二八〇	二三一一	二三七〇
二	二二七四	二三一四	二三七〇
三	二二七〇	二三一一	二三六七
四	二二六〇	二三一〇	二三六三
五	二二六六	二三〇〇	二三六二
六	二二六七	二三〇四	二三六四
七	二二七一	二三〇九	二三六九
八	二二六五	二三〇六	二三六六
九	二二七〇	二三〇九	二三五九
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米

▲前場

	寄	引	高
當	二二九〇	二二八〇	二二九〇
中	二三一〇	二三〇八	二三一〇
先	二三七一	二三七六	二三七六

株式

神戸期米

▲前場

	寄	引
當	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京短期

▲前場

	寄	引
東新	一七五、一〇	一七六、七〇
同新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
明新	[illegible]	[illegible]
淺野新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]

東京長期

▲前場

[illegible]

大阪短期

▲前場

[illegible]

大阪長期

▲前場

[illegible]

天氣概況（廿四日）

本島は臺東と臺中が曇り他は快晴であります

▲天氣豫報（廿五日）

一區（北部）北東の和風曇後晴一時小雨

二區（東部）北の和風曇

三區（西部）（南部）北の和風晴

臺北地方　北東の和風曇時々小雨

（廿五日）

	淡水 滿潮	淡水 干潮	基隆 滿潮	基隆 干潮
前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

生徒募集　晝間一月十日夜間[illegible]十日開始

活動寫眞應用自動車解說フィルム（全十五卷）

公認　東洋自動車講習所

臺北市泉町三ノ二一番地（電話四〇六九番）　所長　工學士　[illegible]

青春の惱みは解ける！

淋病　消渇　こしけ　根治の治療に

[illegible]

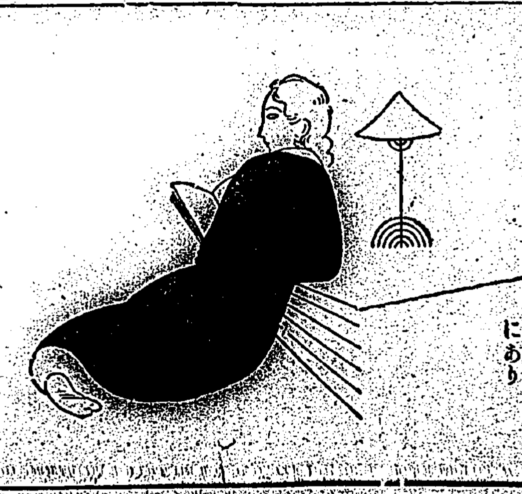
メンソレータム

美しく
朗らかに
健やかに
冬のあなたを
守るものは
メンソレータム
です

價　二十五錢　四十五錢　九十錢　一圓八十錢

特効　秋の脂やけ止　肌あれ　吹出物　皸　凍傷　外傷一切　やけど　頭痛　腫物　靴ずれ　痔疾　お化粧下と　髭そり後に

本舖　近江セールズ株式會社　近江八幡町



Mentholatum Diary 1933

メンソレータム本舖發行

昭和八年度　家庭日記

最廉價奉仕價　一部二十錢

裝幀の優美
編輯の特長
四六版にして
實に二百二十頁
斷然光る日記

全國の書店にあり

續殘月譜 (51)

志乃田迪司作
清水三重三畫

變らぬ山水（二）

編笠を深く、かぶつた武士である。

金華山、錦を、いつまでも、いつまでも、眺めて立つて居るのだ。

傍から、太つた男が袖を引いた。

「旦那！旦那さま！」

武士は、無言である。

溜息のみを、吐いて居る。

「いつに變らぬ！」

と感慨深げな一語が洩れた。

「旦那！」

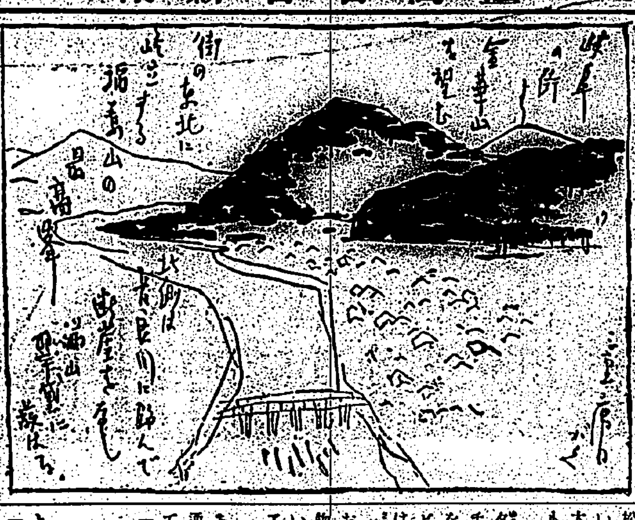
詰まらないやうに、供の者が云ふ。

「ふた昔ちや、ふた昔ちや、思ひ出は、何もかも變らぬ、ただ一つ、變つたは此の身一つぢや」

誰でもない、これは、絶えて久しい大家稲之助であつた。

「旦那、旦那様、ええ、一體、私は、何が樂みで、此の土地迄來たと思ひなさる」

相變らず、三子ヶ浦、きよろきよろ邊りばかりを見て居る。



「一體、お武士と云ふものは、山や川ばかり眺めて居るものだなあ——へん、山や川に、美しい顔が、のぞいては居やすまいし——」

ええ〜不平だ。

そんな、三子ヶ浦の呟きなどは稲之助の耳には入らないのだ。

幼ない時の記憶か、いーや、つい、ふた昔前の出來事が、現實のやうに頭腦を刺す。

「稲之助と云ふ男は何と云ふ男であらう、自分が生きたい爲めに、我が子を他人の軒下に棄てて去つたのだ。しかも、その棄てた子の一人は、態々と、江戸へ親を訪ねて來ての上に、苦勞を重ねて一人前の武士となつた、が、それは、そんなに懷かしくない。會ひには來ない今一人の子が何處にも忘れられなくて、かうして、訪つて來たのだ

しかし、しかし、しかし」

と、稲之助は眼を閉ぢた。

「棄てて二十年、はい、私が其の父です、と名乘つて會はれやうか？」

昨夜も、昨夜も、館の泊りの宿に、考へあぐんで來た問題が、又もや、事新らしく頭を擡げるのだつた。

貞淑殿も無事か知ら、吉次が出奔して以來、あの嘉衛が引取つたと聞いたが、そして、あの、佛のやうな大百姓庄右衛門殿は無事なのか知ら。

風が、さあーつ、と吹いて、田の稔みが揺れた。

「こちらの山々は、矢張、いつも變つて居る、人の心は、はかられぬか——」

あの時、代官の時、もしも、百姓達が、素直に金を返してくれて居たのだつたら、おお、今でも自分は此の土地に、時折、姿を見せたであらう。

そして、かうした世の中の、勤王の、佐幕の、渦巻きの中に、もまれもまれなくても、平和に、吉次も嘉衛も、役江も手許に置いて暮して居ることだつたらう。

思へば。

「姫路藩の最後の一本の柱となつて下さい！」

と叫んだ、おてるさま、いや、清光院の聲が耳に蘇る。

藩公自身が、かたまりに固まつた、佐幕の柱石であるのだ。

時勢が、どうであらうと、かうなると、最後の德川の一僕と任じて居る主君を頂いて居るのだ

その下で、佐幕に充ちた一藩の空氣の中に、勤王派と目されたもの達が、文字通りに孤立してしまつた今に於て。

一本の柱、ただ一人の勤王、

それで、他日の賊名を免れよ——

とは、稲之助に取つて、あまりに重大な任だ。

童話　チビ助旅日記

茨木春夫

チビ助は背は普通の人間の半分しかないが、とても〜強い子供です。力と云つたら、底ぬけでいくらあるかわからない。お父さんに叱られると、大きな自分の家をガタガタとふるはせる程の大力、この腕白者にはほと〜困つてしまつて、武者修業に出しました。そこで大喜びのチビ助は、勇んで家を出かけました。

× ×

行く先々の劍術道場では、弟子も先生もメチャ〜に打ちのめしてしまふ。行く所敵なし、相手の劍術の先生は、おでこにいくつも大きなコブを出して「參つた〜」

× ×

いくら力があつても、長い道程を歩くうちにはつかれてしまひます「くたびれたなあ」と、路傍に腰を下してゐると、どこからか馬のなき聲。フト見ると、野飼しのやせ馬一匹がすててあります「これはいい拾物」とばかり、このヤセ馬にまたがつて道中をすることになりました。

× ×

「コリャ〜小僧、ここは關所であるぞ」

お關所の役人が恐ろしい顔をして云ひました。

「ヘエ、お關所つて何か喰るのかい」

「默れ、小僧、手形があるか」

「そんなものはない、ノズ〜云ふとおこるよ」

と、その關所のお家を手でおさへて、上へ放り出してしまひました役人もろともお關所は、高い〜松の木の上にのつかつてしまひ、いち恐い役人がゐないので旅人は大喜び「チビ先生々々々」と大もて。

× ×

夕やけ小やけで日が暮れました。チビ助はヤセ馬にのつて矢張り旅を續けてみますと、ドロ〜とチビ助の前に大きな一ツ目小僧が現はれて「お化けだア、どうだチビ侍、恐くないか」「なまいきなお化け目」とチビ助はいきなり怪物の足と胴を押へてコマ結びに結いて了ひました。するとおばけはアーン〜と泣き出しました。

× ×

ある日ある大名屋敷の長屋の下を通りますと長屋の窓から首を出してゐた侍が、チビ助に向つて「こりやあ珍らしい、小さい侍だ、それに馬はヒヨロ〜〜のヒヨロ〜だ、馬と人間、よく似合ふ、道化そつくり」と二人三人と上つてからかひます「うるさいね」とチビ助はいきなり兵奴のほほにさわつたのです。すると顔が平たくなつて格子戸からぬけなくなつてしまひました「お同役、首がぬけません」

× ×

都へ入つたチビ助は早速、珍戰組へ出かけました。珍戰組の隊長はゴーマンチキも甚だしい、[illegible]都の人々は、珍戰組の横暴に夜となく晝となく苦しんでゐるのです

それでチビ助は、これを退治しやうと出かけて來たのです「なぐりこみだ」と珍戰組では、大ろうばい。めいめい長い刀や大砲をもつて、チビ助をかこんでしまひました「エエーイめんどうだ」とチビ助は刀をあめのやうに曲げてしまひました。

「コリヤかなはない逃げろ〜」

珍戰組の隊長大鬼武勇は大刀ぬいてかかりましたが、チビ助の大力で、首を胴にめりこめまされてしまひました

× ×

そこで都の人々はチビ助のごほうびをおくりました。チビ助はそれ等を大車につんでお父さんやお母さんのゐる村へかへりました（をはり）

▲日活新入社の藤澤佳子孃▲　本名は藤澤迦子年齡十八歲、身長五尺三寸、體重十三貫府立家政女學校を卒へて三越へ入社庶務課に勤務、趣味はスポーツなら何でも其他和洋音樂

公開欄

本欄は讀者の自由投書欄　中傷は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

本島人と徴兵稅賦課論

一本島人

◇吉田氏の本島人に對する徴兵稅論は吾々本島人に徴兵義務のなきを不當としてゐる様だが徴兵義務は徴兵稅に先行すべきで氏の論は過つてゐる本島人も內地人も同様に日本臣民であつて大元帥陛下の一視同仁の御愛撫の下に安寧境に生存してゐる。そして納稅、公務、任官の平等を得て人間勞働の役に立つてゐる しかも世界三大强國の一たる高尙な地位的存在である。依て吾等は國や社會に盡すことに敢へて躊躇しないのみかその方法の餘りに微弱にして範圍の餘りに狹小なるを歎いてゐる

◇日本が國民皆兵主義である限り誰しも之に服すべき義務がある內地人だとて此の義務を果さぬ者には之を課すべきではないか余は徴兵稅の妥當を認めるが吾等本島人にそれを課するの妥當を認めない。もしその妥當を認める時は徴兵令に服するの自由權利義務を與へられた時であるべきである。

◇吉田氏は男子の服役期に際し、內地人は服役し本島人は社會に出る。ために本島人は內地人より早くより社會に出て從つて早くより地位を得て進步發展の時期が早い。だから本島人が利得するといふ意味の事を說いてある吾等本島人はかかる利己的な存在ぢやない筈である。國のために殺すに何ぞ生命の如何を問はんや、まして利慾的な段階的な左様な考は持たない、兎に角吉田氏の心底を吾人は洞察するに難くはない。即ち氏に餘りの差別的觀念を懷いてゐるやうである。兎に角、徴兵稅を課するもよいがそれは吾々本島人に徴兵令による義務を行はしめて上のことであつて等しく帝國の臣民としての義務を果し得ない者に對し內地人と同様一定の徴兵稅を課すといふことでなければ論旨が徹底したとは言へぬであらう

俗謠雜感

林熊王

近頃、ドイツで發行されてゐる種々の左翼雜誌を見てみると、俗謠とでもいふべき形の詩や、繁語のついた詩が載ツてゐるのを、しばしば見る。これはドイツでもさうした唄ひよい詩が勞働者の中で強く必要とされてゐることを如實に物語るものである。かうした詩は同じやうに我國でも大變要求されてゐるのである。僕は今までたび〜「短かい讀み物」に就て、つまり「掌小說」とか、「勞働エピソード」の表現の技術的方法とか、いろいろとか、總て勞働の中で直接力となり役立ち、同時に工場の中で發展せられねばならぬものについて書いた。それで、ここではさうしたものの一つとしてこの俗謠について少し書かうと思ふ

×

江東地帶の夜は更けて
有明月の影悲く
霧立ちこめる工場の
中なる機械の音絶えて
目覺め勝ちなる資本家の
膽冷かすストライキ

これは御存知の俚歌の第一聯の戰爭な作り代へである。これは確かプロ詩人永嶋直君が試みたものだつたと記えてゐる、が、かうした代へ歌が、ひと頃勞働者の間に、殊にストライキの時なぞにしきりに試みられたのであつた、

「桃太郎」や「もしもし龜よ」が作り代へられるのはもちろんのこと、一切の流行歌が作り代へられやうとした、その結果は革命節も佐渡おけさも東京行進曲も、總て、の人々に膾炙した唄が、その同じ節で、だが內容の文句はプロレタリア的に改められて勞働者自身でも作られた、工場の中でも、風呂のかへりにも、勞働者に口吟まれ口から口へひろがり歌はれるやうに、そして、勞働者の多くもかうした代へ歌の出現に興味を持ち、持つてゐた

×

所が、現在ではさうした代へ歌の試みは次第に根も絶つやうになつた、にも拘らずさうした組織の歌に對する要求は、反對に、益々勞働者間に高まりつつある、かうした要求の問題は、僕なんかが一人で所興的にけりをつけるのではなく、プロレタリア詩人の間に新しい一つの課題として充分討究される必要があると考へるのだ、代へ歌の試みが衰へた理由は簡單である、その出發點からして誤つてゐた、單に言葉を入替へるだけの代へ歌は、いふ平易さ故にその代へ歌は盛んになつたのだが、そのブルジョア的節廻しとプロレタリア的內容との甚だしい不調和に代へ歌故の弱さと醜さと獨創のみの持つのび〜さの皆無が勞働者の本當の要求からはひどく縁遠いものになつたのだ要求、それは一口で盡せば「歌ひ易い詩」なのだ、齒切れのいい句調の整つた平易な勞働者の心をぴつたりつかむ、出たら目の節でも唄へる詩（僕は假りに俗謠と稱ふ）である、これは同樣に農民にもいへることだ

×

ここに一つ二つドイツの例をあげやう

ヒルデ・ミラーは勇敢な娘だ
けれど氣になる惱みが一つ
どうして日毎にやせるのか
細糸みたいにやせ細る

といふ書出しの、自働[illegible]器の發明を野次つたのや

二六時中働いて
出るのはびつしより汗ばかり……

云々の農民の歌がある、我國でもかつて二、三かうしたよい詩が作られた、が、それも、個人的にであつた

×

今日、我國のプロ詩はやはり一般的な方向として、これとは反對な方向を目ざしてゐるやうに思はれる、さうした詩歌は、適當な他の人に讓るとしてただ、僕は、ここでは、プロ詩人諸が、もつと組織に、直接鬪爭に役立つ、かうした形態の詩を研究し、製作する必要があるのではないか、といふ要望を提案することに止どめる（完）

臺灣日謠

葉書、句數無制限、何人も投書し得、宛名は本欄係

△樹の一葉も風情の一つ秋も泣かずに朗かに　新竹　人間

△今日は入船明日が招きや船が出るとて鳴く千鳥　基隆　鳴月

△釣瓶落しに秋の日暮れて二人して見る月が出る　臺北　芽作

△雨の基隆入船出船泣くも笑ふも[illegible]　基隆　張秋

△君の御幸に平野の秋も晴れて照る菊日和　嘉義　伊地知

一選者より　從日新年文藝聖藻は別途の通發表されました、本年は揃つて投吟を願ひたい」

家庭メモ

ベルツ水の作り方

これから寒くなるとヒヤアカギレが出來る方がありますが、この豫防とお手の荒れ肌の荒れを防ぐにはベルツ水をつけておくことはご存じのことと思ひます、その處方を申上げますと

苛性加里〇、五グラム、アルコール五〇グラム、リスリン四〇グラム、蒸餾水二〇〇グラム

右の四種とも藥局にありますから前記の分量だけ測つてまぜてふりますとベルツ水が出來ます、アルコールとリスリンの分量は隨意に銘々へ各自の肌に合ふやうにします、香ひは出來てゐる香水を少しお入れ下さい

林檎ソースの作り方

林檎のしんをとつて皮ごと細かにきざみ殆る程水を加へ、數分間煮て裏ごしにかけそれと同量の砂糖をまぜ弱火で煮詰めます。これにコーンスターチをまぜたものが林檎ソースですが、これを食パンにかけてたべるとおいしいおやつが間に合ひます

人の精力はどんな時上るか

人が立つてゐる間は座たり腰かけたりしてゐるときより一〇パーセント餘計なエネルギーを消費します、人によつてはそれが四〇パーセントまでもあがることがあります、一體エネルギーは體勢の變化に從つて增すものなので腰かけて狙擊でやや飛手の縱と同樣片手を頭へもつてゆき、次に之を徐に很する運動を一分間に一度行ふと、熱量一パーセントだけ埋ります、人間が最大の努力を發揮したら普通の熱量を一〇〇〇パーセントまでは增すことが出來るさうです

シネ・ゴシップ

東亞で鳴らしたミドリ雅子今度新興キネマへ入社して大いに又お涙をしぼることになつたが相三四郎「雅ちやん、何を食べてたんだい一向大きくならないぢやないか」に」ミドリ負けてゐず「相さんだつて何をたべてゐたの少しも大きくならないぢやないの」に相「ませた娘にやカナワンよ」

◆

新興キネマが時代劇のスターとして大いに賣り出さうと馬力をかけてゐる嵐幸三郎素顔の寫眞をセットの一隅で撮つてゐると側から見てゐた現代劇の水原洋一と高原直正「ウム仲々いい男だなあ」「マゲをつけさすには惜い樣ちや」、「あれで娘達が騒がねば騒がぬ方が無理ちや」に幸三郎マア〜と食堂でコーヒをおごる。後で水原と高原顔を見合せて「この手を用ゐると隨分コーヒには苦勞しない」と舌をペロリはお人の惡い

◆

新派劇俳優は氣の早いもので、寶塚キネマの片岡左衛門や阪東次郎等近頃に毎日松飾り等を立てたバックの前で正月向きのスチールを撮つてゐるが御兩人つく〜紋付羽織姿の自分達を見て「早く懷中も正月氣分になりたいものぢやな」

噂と話題

メトロ、日活の提携以來、なんと云つても武藏野系は影響も大きく、宣傳力も押され氣味、フォックスも自社配給會社を確立してからないのが興行上の不偏

×

フォックスとしては自社映畫の消化と常設館本位のヂレンマに惱んだ揚句、フォックスサーキットを擧げて日活洋物興行へ結ばうとの目論見果したてどうなるか

×

日活はメトロ映畫を喰ふところかトオキイ製作は當分中止するさうだ目下はそれもよいが、混合プロ方針が永久のものでない以上切角手をつけたものを放棄するのも考へもの

×

一人二人のスター引拔を止めて海の彼方のスタア集中ぶりを見たらどうだ、誰か集めなきやスタアと聯ら怪しくなつた

新刊紹介

◇雄辯（十二月號）　十二月號は暮れ月をめがけて出るのでどこの雜誌も內容は敢斷だなどの說を一掃して斷然景氣のいい新年[illegible]を發してゐるのは雄辯だ「日本若し孤立せば」といふ表題を掲げた座談會がまづ先に眼立つ、凡そこの問題の解決ほどわが國の全てから要望されてゐる問題はない、ただそれだけの理由でもこの座談會の價値が光る、殊にその顔觸れ內容に於て少しも間然するところがないやうだ

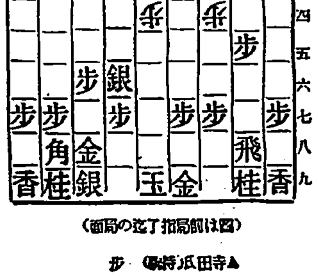
◇現代（十二月號）　「議會主義に依るファッショ」（五來欣造）「リットン報告書を吟味する」（町田梓樓）「松岡洋右を語る」（三名士）「當面するジエネバの問題」其他、論說に相當センセーショナルなものを集めてゐる「現代」十二月號では何といつても氣の利いたものは特輯の「非常時日本の百人物」「發明工夫自力更生金儲け實話集」の二つだ

名家敗退將棋（其三）

（小泉氏三回勝四人目）

平手　△六段　小泉兼吉
先　▲六段　寺田梅吉

△小泉氏（持駒）歩



（圖は前局指了迄の局面）

▲寺田氏（持駒）歩

△四一玉▲二四歩△同歩▲同飛△二四歩▲二八飛△五二金▲六九玉△六四歩▲六八銀△七四歩

▲小泉六段曰く　四一玉は三三角と出て二筋を守る手もありましたが玉と納まるとは何れがよろしいでせう實は敵の方が變つた趣向を狙つて居るので何となしに心配です寺田六段曰く二四歩は最早時ひを殺してゐては三三角と出られていけない歩を多く持つて居れば總ての味が濃くなる

▲寺田六段曰く　二八飛は二六に位を張る手もあつたが大六銀と上つた形では此の運びが本手です

▲小泉六段曰く　六四歩及び七四歩は敵の六六銀を睨して變化を求めないと五筋が厚くては攻めに困難である

▲大崎八段批評　小泉君の四一玉は直ちに三三角と出て二筋を守るべきで君が惑心に敵の策戰に心配して居るが要は讀みの足りない爲で無理にさへ會へば位を張れば得である寺田君の二八飛は當然で二六に位を張つては飛が孤立して却つて敵の攻擊目標となつて不利である

臺日案內
料金 [illegible]
書籍 [illegible]
藥種商　月やく 世界に誇る安全藥 臺北川端町 [illegible]
醫院　血液型 毎日檢査施行 臺北本町三 [illegible]　內科花柳病專門
藤井齒科醫院 鐵道ホテル裏通り
ラヂオ器械　日の丸電氣 ラヂオ直營販賣製作改造修理
ラヂオの御用は中川へ　超遠距離用六式受信機 大特價五十八圓 臺北市本町 分割完全納付責任付
菓子商　クルミ羊羹 特製カメヤ 臺北カメヤ電二七〇三
履物　履物荷揃 武藤商會 臺北榮町
下宿屋　高等下宿 臺北本町三 [illegible]
染物洗張　入營旗 [illegible]
紙文房具　萬年筆大勉強 [illegible]
雜件　[illegible]スポート
メガネ專門は和田
電燈看板廣告燈
廣文堂印舗
ガラ木炭は電四四〇七番
毛皮なめし
駄毛生液ペトロール
金言マッチ　圓がたゞか マッチがたゞか
滋強飲料 カルピス
便所くさみ止 專賣特許 イマヅ芳香油
內田式水壓療眼器　トラホーム 近視 亂視 眼病治療に [illegible]
乳兒に　大印滋養糖
安產のために ワダカルシユーム錠 母體胎兒を保護し分娩時に安產せしむ 發賣元 大阪 和田卯助商店
●頭痛はノーシン……一服で充分です●
牛乳石鹸

タバコのみの
歯磨スモカ

SAY IT WITH [illegible] MARY
レートメリー
洋裝に調和する新感覺美容料
一二分で液化性完成のクリーム白粉

漢文　臺灣日日新報

小國希望理事會速罷
即時召集聯盟總會
將問題脫離理事會

二十三日壽府電。小國希望理事會速行裁止。即時召集總會。今後雖開理事會。亦主張只管將問題移於總會。而理事會。今後日華代表之外。想無發言者也。

中國亂暴演說草藁
係聯盟某部長執筆
外人多議其不愼重

二十三日壽府電。由聯盟內部最可信方面。確聞二十一日理事會。稱中國亂暴演說原稿。係昨秋來。在上海作種々怪行爲。今受注目之聯盟事務局保健部長波蘭人來希曼氏之手所作。而顧維鈞顏惠慶略爲修正者。夫居聯盟要職之人。自作日本攻擊文書。恐致日華紛爭。爲日本對聯盟自身紛爭。實危險不謹愼至極。不獨日本。而外人方面。亦爲物議云。

勿徒觀望形勢
實行脫退聯盟
外務省少壯派決意

二十三日東京電。聯盟理事會一部反日的策動。早有上暗礁之概。外務省少壯派對此。高唱聯盟不肯率直容允日本之純正要望者。實因日本無脫退聯盟之決斷。總會若強壓之。則日本必不利。日本此際宜棄觀望主義。當以不言實行脫退聯盟。於我對滿國策。雖遭如何障碍。亦不動搖之事。明示於列國。省內漸次得共鳴者。形勢頗集注目。然此脫退論。非僅務論。立脚於去記純理及政策上見地之點。外務首腦部亦注意。依聯盟今後形勢如何。右少壯派之主張。或具體化亦未可知。

一、今日之國際聯盟。非普遍之精神。實立脚於歐洲諸國之勢力均衡思想。美國及俄國不加入。事實上不過歐洲聯盟。然昨秋以來聯盟之言動。對極東問題。露骨無發言資格。

一、日本關滿洲問題。不許他國容喙。雖有此傳統的國策。然昨秋以來。爲聯盟容喙之謎所惱者。實因從來交際的聯盟加入所致。日本此際不可不清算交際的政策。

一、既如滿洲國既獨立。事態與昨年有異。已有求聯盟勿干涉之根據。若許聯盟再審議滿洲問題。受其強壓主張妥協。則將來我對滿國策遂行上。自開受聯盟掣肘之端緒。絕對不可也。

一、故今宜離脫聯盟。爲極東平和。以獨往決意。確守政策也。

問律敦卿固可
然非調查團總意見
松岡代表談

二十三日壽府電。本日理事會散會後。松岡代表語左。余不欲出席討論會。對無責任之言辭。一々難以論駁之。特希注意者。乃田中首相上奏文。斷然否定之事。此問題不欲與中國代表論議。乃顧維鈞將不實之事提起。故余答以無此事實。述此確信而已。理事會對律敦卿。問報告書內容有無變更之點固可。然第一調查員不止一人。非調查團全部一致意見。第二調查團之使命。於報告書提出時已終了。後來無述意見之資格。此點明確留保。有確言之必要。對此黎孝瓦議長之意向未明。理事會就今後此問題。如有何等手續時。將求該留保之明確解決。中國代表。謂感謝中國調查團。報告書提出後。有意見發表聽聞之事。感情的雖十分同感。然問題非此點。此有無合法的乎。顧代表之言。宛然自己已與調查團解決。對調查團阿諛。實屬不快。右權限問題有明瞭決定必要。想今後尙有迂迴曲折也。大和民族之渙然一體精神。固無何等恐怖之事。當盡努力。希國民諸君鎭靜達觀之也。

基郡下七庄
籌造基本財產

基隆郡當局。欲充實各庄財政。前日招集七庄々長。對郡指示案。俾各庄長應其財源。作製財政計畫書者。希全部提出。目下在郡役所整理中。近將能得發表其計畫細案。此財政計畫主旨。欲造成庄基本財產。爲根本目的。以財產收入。充役場費。使稅金輕減。且又不影響及諸稅金。該事業皆屬遠大之計。依各庄財源。至完成期。須費十年或二十年之久云。

陸軍下級
將校補充

二十四日東京電。陸軍自前卽下級將校不足。今次事變。不足愈甚。須再補充。來年度起。幼年學校士官學校豫科兩校。決定增百五十名。至成將校。須四、五年。如有急用。乃依希望。將一年志願在鄉將校。一時的採用爲現役。以補充不足之一部也。

彰化公會堂
位置八卦山麓
按百餘坪

彰化街。從來無公會堂。集會時。多借公學校講堂。一般甚感不便。今回融通二萬五千餘圓。擬延築于八卦山麓。卽現助役宿舍。建坪按百餘坪。現由街當局。設計中云。

恙蟲病率
邦人占多
本島人較少

臺灣醫學會總會。十九二十兩日。開於臺北醫專一節。已如前報。內地。朝鮮。爲來賓。於十七日來臺者。有權威者十二名。在此番總會。主論議者。爲瘧疾。恙蟲病風土病。及腸病。砂目等。瘧疾。有關於森下中研技師媒介之新研究。恙蟲病。有澎湖島不明熱之臨床報告。腸疾有督府下條博士之菌形研究。砂目有茂木醫專教授之微生物發見等。殊堪注目。尤如關于恙蟲病。乘此機會。欲大喚起當局及世人之注意。卽恙蟲病現尙未發見有適應藥。及治療藥。死亡率。內地百分之三十。本島百分之十三。視在罹病數。比較稀少。不成問題。然將來東部海岸地方。或中南部山間地開發進步。自然有化爲問題之性質。且恙蟲病罹病率。番人殆無。本島人較少。內地人居多。將來山間地開發之時。立在指導地位之內地人。自然斯要覺悟斯疾之危險。是故宜未雨綢繆云。

各國意見略已明白
來週將開總會
蔡文卓問陶兩氏會談

廿三日壽府電。二十三日朝。英國代表蔡文外相。及卓問陶事務總長。會談一時間。各國意見。略已明瞭。來週將移於總會。既定方針不變更。意見一致。其具體的手續。蔡文外相。與卓問陶總長商量也。

顧代表演說詭辯
暴露於識者之間
我辯駁書提出中止

二十三日壽府電。我代表部。二十一日理事會。顧維鈞中國代表所演說。十七條辯駁書。二十三日午前二時半脫稿。顧代表演說內容。暴露其詭辯於列國識者間。日本取默殺態度。俟有必要。乃提出辯駁書也。

樹人文昌祠
落成式

臺北市大龍峒樹人書院文昌祠。經工事完竣。卜來二十六日。卽舊十月二十九日午後二時。舉行落成祭典。已由管理人發柬招待各界臨席云。

厦門最近情報
中山路市街戰續誌
兩地勢力者斡旋和解

對岸厦門中山路。去十九日午後三時。本島人與草子鞍派市街戰一節。已如前報。查中流彈者。爲中山路二百二十八號吳服商主人林文瓚之子林有賜。年二十。雖急舁入醫院療治。終無效。於同夜八時死亡。其他三名。幸輕傷不致命。聞原因爲前月間。有草子鞍人通稱五庚。年三十。與同地通稱美女。有密接關係。妾女不知何故。逃匿在其友卽本島人李潤嘴宅中。被五庚查覺。互相口角。其後五庚。在草子鞍方面。被人毆打。負傷死亡。於前記時日。舉行葬式。葬後行列。至中山路之時。李潤嘴。因與草子鞍派相遇。乃急糾集東南旅社李良溪。啓記洋行楊麗水。永記洋行陳龍江各路場本島人。與草子鞍派。放射短銃作戰。本署及分署接報。乃與公安局協力。將李外三人。召至分署拘留。臺僑公會長曾厚坤氏。到署保釋。翌二十日。本島人曾厚坤吳萬來。柯潤嘴外六名。中華一邊數名。集在厦門思明南路海陸春料理店三樓悅藏俱樂部。和解結果。議定本島人。及中華人勢力者各二名。向死傷者家中慰問。至午後四時。散會。

厦門臺僑被執
領事抗議乃釋

臺北州七星郡汐止街三百八十番地吳友諒。年三十三。前月十二日。往厦門寄居南普陀巷門牌五十五號蔡石之家。販布爲業。月之十五日。下午一時。携帶烏羽絨三匹。花絨數十丈等。價約二百圓。至厦港關子內附近販賣時。偶遇一靑年。中有一人。身帶短銃。强爲拉去。乃備小船。載過嵩嶼。監禁在該地抗日會內。因連日不歸。本國領事館接報。立向抗議。十八日午後三時。本人受抗日會罰金四十圓。始得無事歸厦。

厦門設臺僑
商工協會

近來不景氣。披靡全世界。臺灣尤甚。是故往謀生者日多。然每受抗日會阻碍。致諸多棘手。是以海南洋行陳學海。東西洋行陳作模。吳萬來等。出而發起組織厦門臺僑商工協會。去二十日。在海南洋行陳學海氏宅上。開發起人會。是日出席者四十二名。而日本領事。監督官平山特務亦出席云。

臺北文昌祠
徵聯揭曉

臺北市大龍峒樹人書院文昌祠徵聯。經謝汝銓先生選定如左。

▲文昌冠首

正取一、臺北丐叟。二、同黃春潮。三、澎湖鮑梁臣。四、臺北黃翔鶴。

備取一、臺北杜冠文。二、同周咸熙。三、宜蘭林時香。四、臺北陳祖香。

▲樹人冠首

正取一、臺北黃石衡。二、同陳曉綠。三、新竹西河逸老。四、臺北賴子清。

備取一、同人。二、黃選青。三、新竹郭仙舟。四、同林珠浦。

但丐叟及西河逸老二氏。希望至急將氏名住所。寄到臺北市大龍峒町黃贊鈞處。以便發送贈品云。

諸入選聯文錄左。

文昌聯

一　臺北丐叟

文運天開近聖人居而立廟猗盛哉龍峒永留俎豆
昌明日進與官幣社爲望衡信休矣淡水遠接源流

二　臺北黃春潮

文獻足徵念先輩經營尙留尺土
昌明可望願後人承繼共秉寸心

三　澎湖鮑梁臣

文運趁潮流美雨歐風互聯聲氣
昌明儲瑞氣象圓山淡水永壯觀瞻

四　臺北黃翔鶴

文章師道義及第登科冥々中吾皆主宰
昌運際國家高官厚祿默々裡神實把持

樹人聯

一　臺北黃石衡

樹德毎降祥此多少儒生榮題雁塔
人材常拔萃知英靈神聖默相龍峒

二　臺北陳曉綠

樹陰擁護龍峒瀛北思潮總賴神檢點
人世趨求蟹字泰西學派敢期帝北評

三　新竹西河逸老

樹建文祠風追鹿洞
人瞻聖像廟鎭龍峒

四　臺北賴子清

樹木青葱瞻仰龍峒新殿宇
人材蓄萃蔚成鯤島大文章

南京放送局
反日虛僞放送
爲後日證據留住於曲盤

中華南京放送局。以日本語。爲虛僞之放送。擾動全島一節。已如前報。中華如此不當行動。輿論亦漸沸騰。當局嚴爲監視中。乃將該日本語放送。留住於曲盤。以爲後日之證據。南京放送局。因爲七十五基羅之東洋一大放送局。故不特臺灣。九州之福岡一邊。亦得明瞭聽取。就此。某方面談曰。南京放送。本島。新竹與嘉義間。聽取最明。臺北附近。因有十基羅放送。聽取稍難。在一定時間。以日本語。由放送女放送。臺灣。警務局。亦注意調查。對重要者。留住於曲盤。雖屆後日。亦得明瞭。顧其以日本語。作反日本種々宣傳。實混亂他國民思想。於理實不該云。

對岸警備艦
來月交換
按四日抵馬公

二十三日馬公電。軍艦北[illegible]。二十九驅逐隊。[illegible]後對岸警備。來二十七日發馬公。赴對岸任地。按來月二日歸港。五日發馬公。歸還內地。又交換軍艦五十鈴。第十五驅逐隊。按來四日抵馬公云。

桃園大園間
乘合自動車線
新停車場

桃園軌道會社。經營之桃園大園間。其乘合自動車路線。因此番爲圖乘客搭乘之便。將舊設停留場廢除。新請改設之停留場者。卽桃園。大廟口。埔子。星見橋。八角店。八股坡。新庄子。大坡脚。水斗。埔心。大園各處。

山上庄蹴球俱樂部
創立總會後開場式
知事及明糖加沼氏始球

臺南主要官民倡設之蹴球俱樂部。如既報。於去二十三日。在新化郡山上庄水道水源地域內。開創立總會。是日至者今川知事。[illegible]糖業試驗場長。藤村警務部長。森市尹。州各課長。荒卷。宮本。黃欣諸氏。比屆定刻。先由森市尹致開會辭。報告創立經過。竝出席會員數畢。衆推其爲假議長。討論會之規約細則。並定理事。監事等役員名數。乃先推今川知事。爲名譽會長。後由知事指名諸役員。再選委員。報告創立費會計。於是總會告終。遂舉該蹴球場之假開場式。於第一場。由杉田神官請神。獻饌。修祓。今川知事。森市尹。豐田技手。用逸諸氏奉玉串。後今川知事。並明糖加沼氏。行始球式。式終。午後明糖加沼氏。就蹴球打法與要領。實地指導。該會現有會員七十七名。就中州下六十名。他州十七名。而球場。九處之中。惟第五第六兩處未成。餘均已竣成矣。

海山運動會
板橋靑團優勝

既報海山郡教育會主開之小公學校學童及男女靑年團聯合大運動會。初定去二十日。是日因雨所阻。乃延至二十三日午前九時起。開於板橋街紀念運動場。是日天淸氣朗。最適競技。開會前煙火三發爲號。選手整齊入場。唱君代歌。揭揚國旗。首由聯合會長松野郡守。敍開會辭。後開始競技。是日郡下各小公學校。計十五校。男女靑年團十三團。各團對抗競技回數。共三十七回。午後四時許競畢。成績發表。歸板橋靑年團優勝。後松野郡守。對優勝團授與優勝杯。畢。降下國旗。合唱國歌。再由松野郡守。高唱三聲萬歲。一同和之而散。

爲郵局水道諸問題
新莊街民大會詳報
前後不過二十分閉會

既報新莊街民。爲憤慨現街長。與郵便局長之阿久根鑑氏。對新莊郵便局新築之寄附。及水道事業之人事問題等所關之事。訂去二十三日下午六時五十分起。假媽祖宮。要開街民大會。藉資街民政治的訓練。先受過郡當局之[illegible]人會。欲申印刷物之[illegible]。要三日前報出。若用銅鑼。亦屬樂器之一。不得使用。因是該大會同人等。乃以一旒之宣傳旗。竝敲打石油箱。鳴之於衆。定刻前。卽見當街管內各部落民衆。紛與近街庄民。絡繹于道。而會場之媽祖宮口。擁擠難退。又[illegible]時之巡查。把守在廟門各處。欲入內者。必須丁年以上。如壯丁團員。亦不許之入。又非先檢查其身中有無携帶不穩物件。更要報明氏名。及生年月日。方許其進入。因是善良街民。恐惹出是非。不敢前者有之。至開會時。既數百名。在外者。亦有千餘人。會之次第。先由鄭應魁氏。宣告開會。次由司會者。謝文程氏。述開會之辭。旋爲議長之推選。衆囑謝氏之指名。乃指定李賢忠氏爲議長。繼有洪金益氏起立。對諸參會者。爲議事中種々之注意。後李氏方登壇。就議長席。簡略敍禮畢。卽有洪金益氏。述我國各等郵局之由緒。至於前街長黃淵源氏之名。未審何故。卽被中止。其後則由謝文程氏登壇。陳說水道所關。街民自夙知爲必要。已向督府當局申請批准。經費十五萬圓。此于同街豫算。爲未曾有巨款。然須藉督府補助及起街債。斯時臨席官促辯士注意。旋命辯士中止。繼街民有志林榮松君。關郵便局問題。欲起述所感。而臨席官以爲不先屆出不許。于是議長以不能遂開大會目的。對一般道歉。容後有機會再開。本夜以此閉會。時正七時十分。開會時間。前後不出二十分解散。又是夜同街。有開演歌仔戲。然同街向來以歌仔戲。易于敗腐風教。絕不許開演。[illegible]可之云。

彰化社司宿舍

彰化街當局。擬于八卦山中山。神社邊。建築社司宿舍。建坪按三十坪餘。豫算四千圓。有爲準備將來申請爲縣社云。

乘自動車
觸傷少女
速水運轉課長

鐵道部速水運轉課長外一名。去二十三日午前十時十五分。乘自動車六〇〇〇號。赴淡水山球場。駛至七星郡士林庄士林二十四番地前道路。撞倒同庄人吳楊氏梅桂。年十二。梅桂負後頭部外數傷。卽時受士林公醫治療。全治要二週間。治療費由速水技師支出云。

淋病服蟾油
中毒斃命

臺南市安平街人姚灶。年四十六。販鱗爲業。久罹淋疾。百計求治。苦不得愈。因聞人言。蟾蜍油可理斯疾。乃於二十二日。求得服之。至是晚深感痛苦。延該地張醫師爲之診治。不少愈。乃急舁入臺南白金町回生醫院醫治。亦終無效。卽於同夜死該院中。署堀籠警部補接報。直赴檢驗。知係服油過多中毒云。

啞子攘鷄
庄衆四五十人
執棍棒等追去

南投郡名間庄赤水字下竹圍人陳木夏家。去二十日夜七時許。忽聞門外有鷄聲。知爲攘鷄賊。木夏之妻急出。見鷄死三頭。遠處有二三人正逃奔中。卽大聲呼賊。隣人一時集得四五十人。或執棍棒。或執刈刀。急行追去。見一人在前奔走。餘已無蹤。前奔後追。去庄已遠。聲猶聞及。至三條崙。奔者避入蔗園。追者不敢入。只伏其周圍待捉。一面差人到赤水派出所。告於巡查。旋有李巡查。率領十餘人馳到。斯時方有人入園追捕。賊人知難藏身。將出走避。豈知伏於其處者。見一黑影奔來。衆棒便打。其人縮身退跳丈餘。背後見之者。舉刈刀便斬。賊又向前跳去丈餘。因在夜色昏暗之際。遂疑神疑鬼。心怯不敢捉之。嗣有李巡查追到。方將其人提下。舉火一照。識爲同庄人藥福之弟啞子也。衆人不禁失笑而去。

本島高山茶園
增產夏茶
有研究餘地

三井合名製茶工場鈴木技師長。曾視察印度及錫蘭方面茶業。最近歸臺。據所談如下。印度方面。最高級茶產地之亞薩姆。與新竹氣候無差。而茶業亦大同少異。然自四月至十二月採茶。春夏茶皆得五成。而本島採茶。新竹方面。價賤之春茶七成。夏茶僅有三成。於是製茶工場能率及價格。皆不利。現在水流東工場。在夏秋茶期。不過運轉一部機械。若研究下肥方法。使春茶減產。夏茶增加。諒無難事。更受督府當局指導。努力研究。若得告成功。貢獻于臺灣茶業不少。且多得利益。又茶園。山地比平地較好。而高山茶園。水流東山面。不過栽至千尺高處。亞薩姆方面。皆栽至七千尺。且得最高級茶。本島雖在新竹頭山試栽。其結果尙未明。該高山茶園。亦有十分研究之餘地云。

瑞芳

增變壓機

瑞芳變電所現在之電氣。皆由天送埤送電。總電力七萬五千基羅。目下在該所有加變壓器。每時間向金瓜石礦山送電二千基羅。基隆炭礦每時約五百基羅。其他採用種々關係。事業革新。訂來年春。欲再加該器。擴大一倍云。

國語募員

瑞芳公學校北島校長。前向當局。提出國語講習所設立願書者。番得當局認許。該講習所。欲教授不解國語之男女。傳習國語。入所年齡。自十二歲至三十歲。人員定七十名。入所者。須速向該所申明也。

車道消息

瑞芳基隆間之自動車道。爲龍潭堵鐵道路門。及排子頭一部分。狹隘。受檢查時。不見通過。致延至而今。者番[illegible]山氏之代表者謝樹源氏。向前記二處營工改修告成。訂來二十五日頃。欲仰當局到場檢查。若無事故通過時。則按來月十日頃。欲開通之云。

臺中

記念映畫

社會事業紀念日行事。講演及映畫之夕。第三夜。卽去二十二夜。開於臺中公園廣場。觀者尤多。新講師。就臺中市社會事業之概要。與市民之援助。爲一場講演云。

舉地鎭祭

臺中郵便局。新築著手工事中。去二十三日。午前十一時半。舉地鎭祭。

保正選舉

臺中市內各保正。任期已滿。因大屯郡北屯庄一部。編入臺中市。諸派出所。對於保甲戶數編成。改編後。申請認可。結局臺中市新增六七保。來月上旬。將行保正選擧云。

南投

增機動車

既報南投二水線。欲增設機動車。久已懸案。此次聞將實現。其車體機械似已完備。其機械聞爲ブダーエンゲン係五十馬力之高級品。構造亦近似本線機動車。有六處昇降口之重油式。兩頭裝置發動機。可免換頭麻煩。體裁優秀。車體堅固。室內寬綽。可容多人。實爲島內私線中之出類者。訂來月下旬開始運轉。通行區間。自南投至二水。車資與現在之三等貨金同。屆期旅客當增許多便利云。

農懇展期

前報來二十六日。將開爲農家之懇談會。因郡當局有事。便宜上改爲來三十日。

又有密釀

去二十二日。有臺中專賣局員徐永菜來南。在司法係。訊問老婦人四名。聞爲密釀者。婦人爲內[illegible]人。衣服襤褸。似窮至微管。村婦不自安分。偏好犯法。實可憫云。

禁甘蔗戲

南投郡名間庄大庄明魏駐在所。因欲禁人盜食甘蔗。特於去二十二日在赤水。二十三日在大庄。斷續嚴禁演戲。且將此旨發送請演云。

撒防火單

前報防火宣傳事。果於去二十二日。由警察及壯丁。極力宣傳。且以樂隊及宣傳員。分乘自動車。巡迴市街。散布一萬餘枚之宣傳單。是日名間庄。亦以[illegible]會員。[illegible]宣傳單。傳知火事宜防。頗覺周到云。

嘉義

農組發會

嘉義郡民雄庄好收地農家四十名。爲圖蓬萊米獎勵。及共同耕作。治產改良。謀事業視察等。創設農事改良組合。月二十一日午後一時。在陳賓章氏家。舉設立發會式。先規約制定。事業實行。諸案項議畢。選擧役員。結局組合長陳賓章氏。幹事賴將辰氏外三名云。

公質賣出

嘉義市公設質舖。今回流質品。於月二十四日正午起。至午後三時。在公何當公賣。有時計貴金屬品八十八點。價三百四十圓。衣服類九百二十五點。價四千百五十五圓。計一千九十三點。價四千四百九十五圓云。

醫博講演

東京修養團本部理事二木醫學博士。以嘉義市役所後援。二十三日午後七時。在嘉義公會堂開講演會。講題爲社會教化方面。及食料教化方面等。

嘉社近況

嘉社事務。於日前理事會改選。以蘇櫻卿氏。與其後任。去二十二日。事務引繼。同社員蘇友讓氏。定近日中。來邀二市六郡下。各吟社理事。在[illegible]商行。開聯吟會。並提議改正社則。提案如左。

一、從來常務制度。改爲社長制。設社長一名。幹事長一名。理事顧問各若干名（理事由各吟社選出）

二、從來新加入社員。入社金三圓。改爲一圓。

祭聖磋商

古曆十一月四日。乃孔子誕辰。例年均於是日。舉行祀典。去二十二日午後三時。廣谷市尹。召集各關係者。在市役所會議室。開磋商會。妥議一切事宜云。

沙[illegible]茱中。爲收房租。毆傷乙妻。鬧至警所。該地有和事老。欲爲和解。宜從之也（和爲貴）

商務尺牘中。有一人邊合一品字。國何者。作何解說。所大方示教。（一初學者）

西嶼每做歌仔戲時。卽有區公方面不良少年。並一張餞班。對婦女亂來。如某甲所用人夫。實太無禮。望當局嚴爲取締之也。（庄民之惑）

西嶼此回要建保甲事務所。萬事須期於公平。不則惹人反感。（告密者）

會事

▲臺中州主催。州下小公學校兒童。學齡別競技會。訂來二十七日。開於臺中師範學校運動場。又鳳山公學校。亦定同日。在該校體操場。舉行學藝秋季運動會。

▲高雄第一公學校長秋本彌氏。自明治三十八年。投身於臺灣教育界。于茲有三十年間。對人平和。對一般生徒父兄。甚爲親切。此番退職。奏任待遇。該校生徒父兄有志者。行將來二十六日午後六時。在旗後所福樂樓。爲開大祝賀會。

▲大甲郡下大安信用利用組合常務理事黃民[illegible]氏。日前參加臺中州產業組合。主開內鮮視察團。近經歸來。定來二十六日午後一時。在大安庄役場。欲開內鮮視察談發表會。歡迎多數往聽。

▲目下於各地開催中之時局大講演會。月二十四日午後七時。開於嘉義公會堂。爲在鄉軍人嘉義分會主催。以臺南聯隊。三新聞社後援。講題及講演者如下。▲我等之亞細亞　步兵少佐谷下[illegible]一郎氏▲[illegible]報告之後來　高[illegible]教授佐藤佐▲支那事情及立場　[illegible]高級參謀福泗江路氏。

人事

▲海山郡板橋街板橋實業家江水永氏之令郎江奠利。者番邀媒撮合。與同街林金森氏令妹瑞娟女士聯婚。去二十三日納采。訂來二十九日迎娶。

▲士林林[illegible]富氏之姪孫林金龍君。此回與同庄人郭邦光氏之次女訂婚。訂來二十六日迎娶。

▲臺北市內日新町人林錦全氏。此次經營武相新報臺灣支社。

▲大甲郡大甲分室高等特務擔當宮本氏。前月爲其父在內地逝去。卽速東渡奔喪。諸事完畢。去二十一日歸任。

▲臺北稻江昌商行張宗氏令郎日昌君。此次與板橋港子嘴黃番氏令愛[illegible]蓁聯婚。訂來二十九日舉結婚式。